

5 特定課題

県職員の意識改革

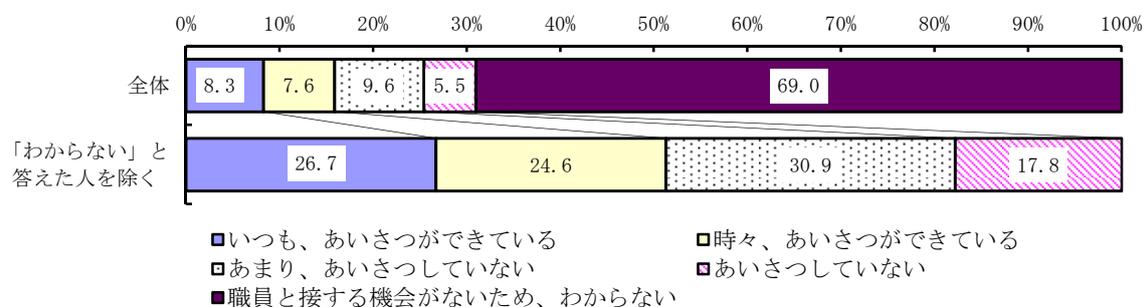
問29 県職員のあいさつ

あなたが、愛媛県の庁舎（県庁や地方局庁舎など）に行ったとき、県職員はあなたに対して、あいさつをしていますか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。
(%)

1	いつも、あいさつができています	8.3
2	時々、あいさつができています	7.6
3	あまり、あいさつしていない	9.6
4	あいさつしていない	5.5
5	職員と接する機会がないため、わからない	69.0

県職員のあいさつについて聞いたところ、「職員と接する機会がないため、わからない」と答えた人の割合が69.0%で、「いつも、あいさつができています」が8.3%、「時々、あいさつができています」が7.6%、「あまり、あいさつしていない」が9.6%、「あいさつしていない」が5.5%となっている。

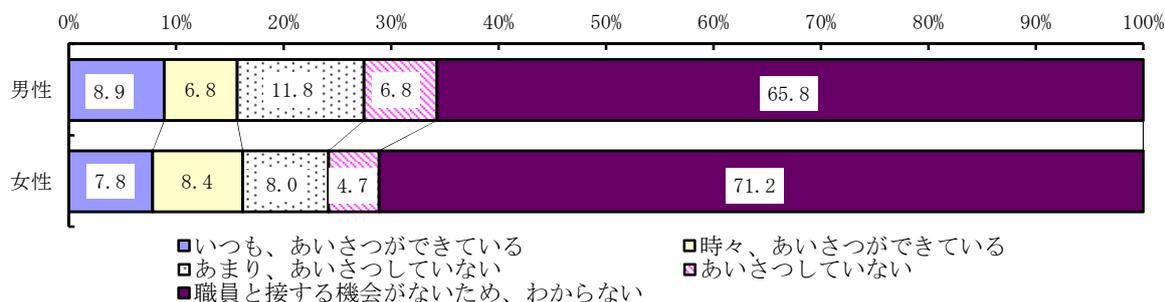
また、「職員と接する機会がないため、わからない」と答えた人を除いて再計算すると、「いつも、あいさつができています」と答えた人の割合が26.7%、「時々、あいさつができています」が24.6%、「あまり、あいさつしていない」が30.9%、「あいさつしていない」が17.8%となる。



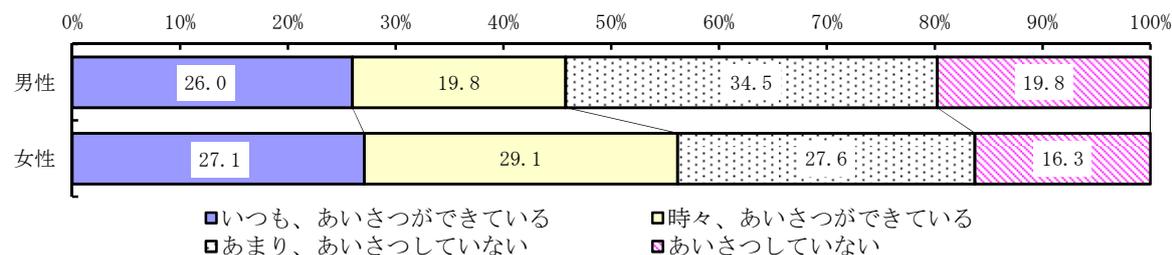
【性別】

性別にみると、「職員と接する機会がないため、わからない」と答えた人の割合が、男性で65.8%、女性で71.2%となっている。

また、「職員と接する機会がないため、わからない」と答えた人を除いて再計算すると、「いつも、あいさつができています」と答えた人の割合は、男性（26.0%）と女性（27.1%）でほぼ同じ割合であるが、「時々、あいさつができています」と答えた人の割合は、男性（19.8%）が、女性（29.1%）より9.3ポイント少ない。

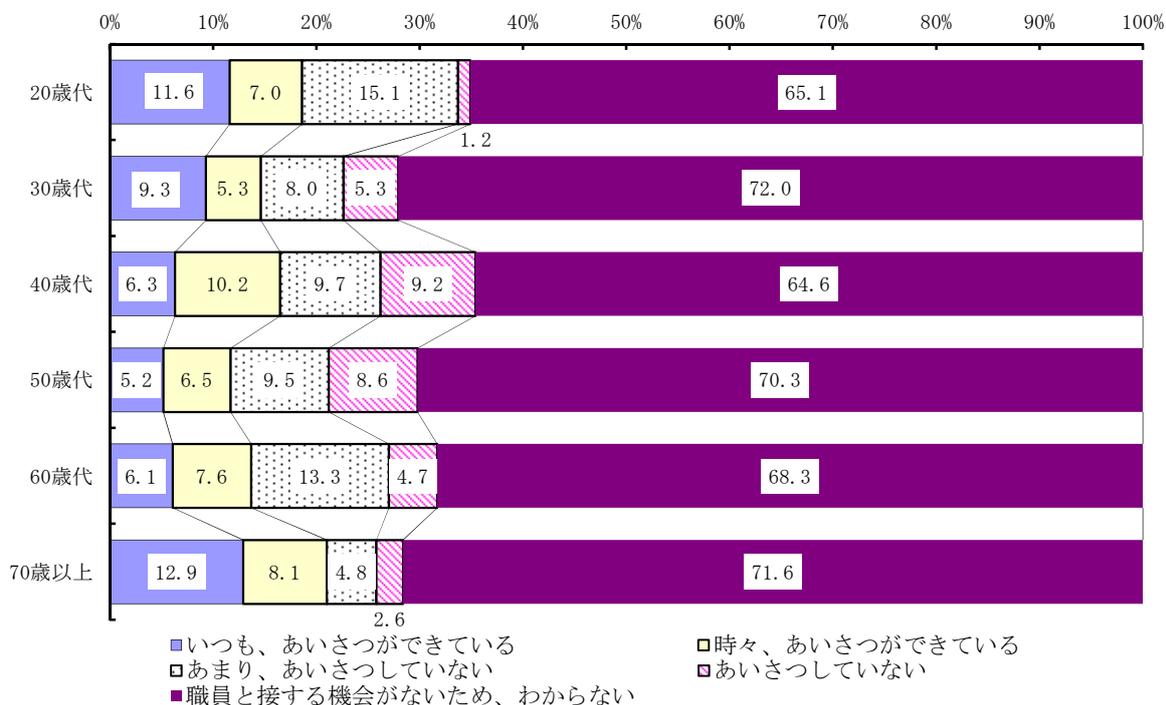


<参考> 「職員と接する機会がないため、わからない」と答えた人を除く



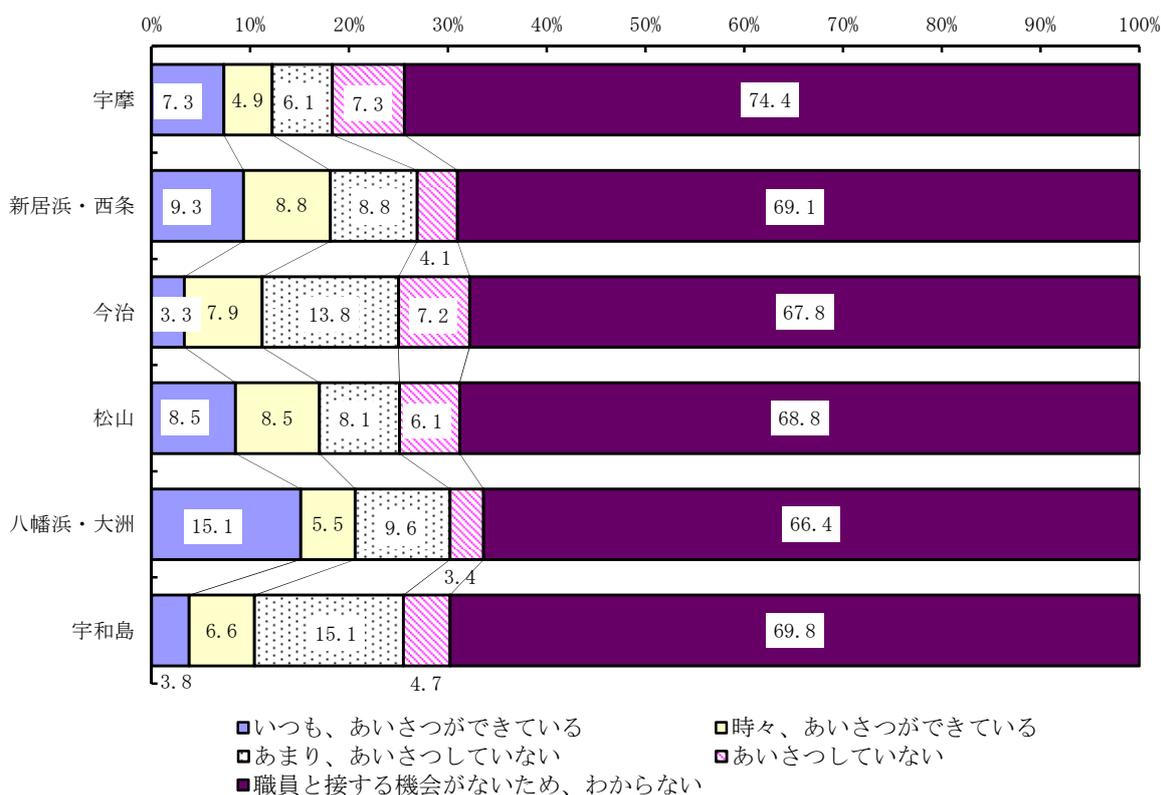
【年齢別】

年齢別にみると、「いつも、あいさつができています」と「時々、あいさつができています」と答えた人の割合の合計から、「あまり、あいさつしていない」と「あいさつしていない」の合計を引くと、20歳代 (+2.3ポイント)、30歳代 (+1.3ポイント)、40歳代 (-2.4ポイント)、50歳代 (-6.4ポイント)、60歳代 (-4.3ポイント)、70歳以上 (+13.6ポイント) となる。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、「いつも、あいさつができています」と「時々、あいさつができています」と答えた人の割合の合計から、「あまり、あいさつしていない」と「あいさつしていない」の合計を引くと、宇摩圏域 (-1.2ポイント)、新居浜・西条圏域 (+5.2ポイント)、今治圏域 (-9.8ポイント)、松山圏域 (+2.8ポイント)、八幡浜・大洲圏域 (+7.6ポイント)、宇和島圏域 (-9.4ポイント) となる。



問29-1 県職員の意識改革の進捗

県では、人材育成方針において、5つの意識改革を実践する職員を今後の愛媛県政に求められる職員像の一つとし、その育成に努めているところですが、あなたは、県職員について、その**5つの意識改革のうち**、課題に対する前向きな姿勢（『何故できないか』から『どうすればできるか』へ）や県民の目線に立った業務の遂行（『やってあげる』から『一緒にやる』へ）についての意識改革が進んでいると感じていますか。次の中から**一つ選んで**番号を○で囲んでください。

《5つの意識改革》

- 『何故できないか』から『どうすればできるか』へ
- 『自治体に倒産はない』から『自治体に倒産はありえる』へ
- 『やってあげる』から『一緒にやる』へ
- 『失敗を隠す』から『失敗を積極的に明らかにする』へ
- 『情報に振り回される』から『情報を活用する』へ

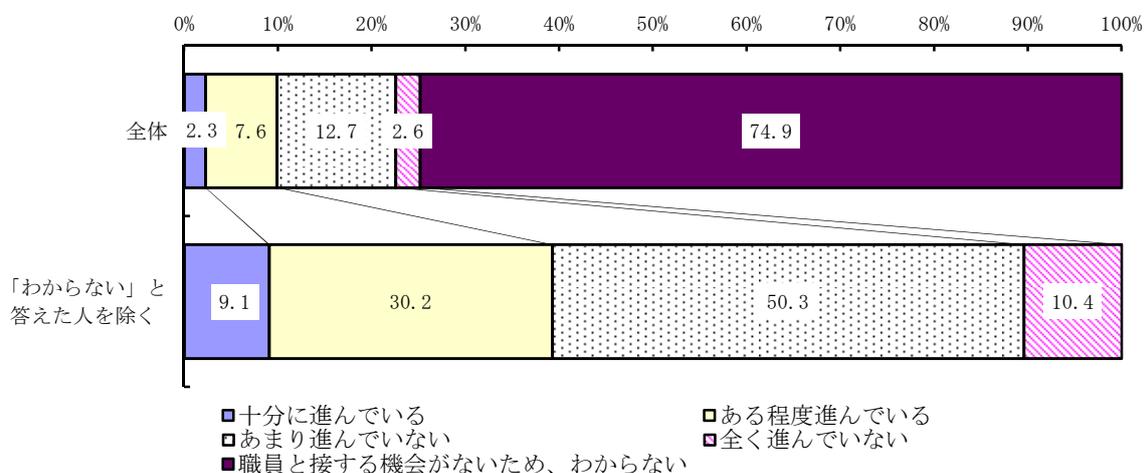
		(%)
	1 十分に進んでいる	2.3
	2 ある程度進んでいる	7.6
	3 あまり進んでいない	12.7
	4 全く進んでいない	2.6
	5 職員と接する機会がないため、わからない	74.9

あなたは、どのような理由で県職員の意識改革が進んでいないと感じていますか。次の中から**いくつでも選んで**番号を○で囲んでください。

		(回答者=260人) (複数回答) (%)
1	県職員の対応は、高圧的であると感じる	26.9
2	県職員の対応は、丁寧さに欠けると感じる	23.8
3	県職員の対応は、親切心に欠けると感じる	28.5
4	県職員の対応は、遅いと感じる	29.2
5	県職員は、柔軟な対応ができていないと感じる	46.2
6	県職員は、困難な課題には逃げ腰になると感じる	32.3
7	その他	12.3

県職員の意識改革の進捗について聞いたところ、「職員と接する機会がないため、わからない」と答えた人の割合が74.9%で、「十分に進んでいる」が2.3%、「ある程度進んでいる」が7.6%、「あまり進んでいない」が12.7%、「全く進んでいない」が2.6%となっている。

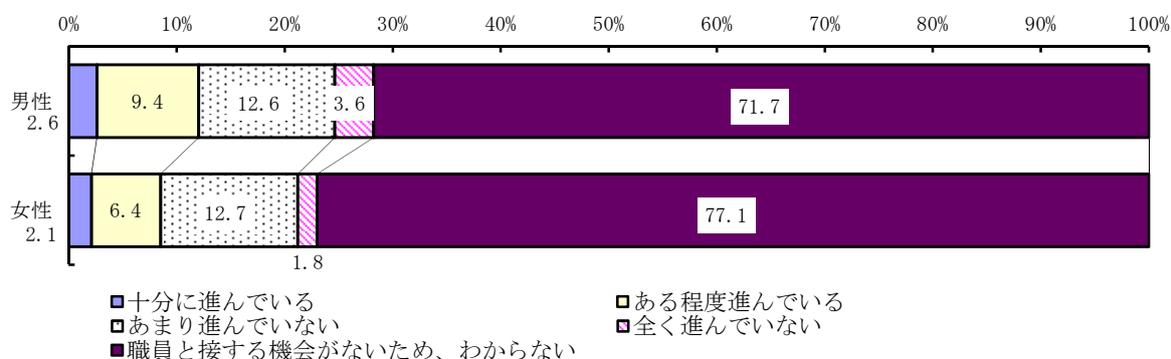
また、「職員と接する機会がないため、わからない」と答えた人を除いて再計算すると、「十分に進んでいる」が9.1%、「ある程度進んでいる」が30.2%、「あまり進んでいない」が50.3%、「全く進んでいない」が10.4%となる。



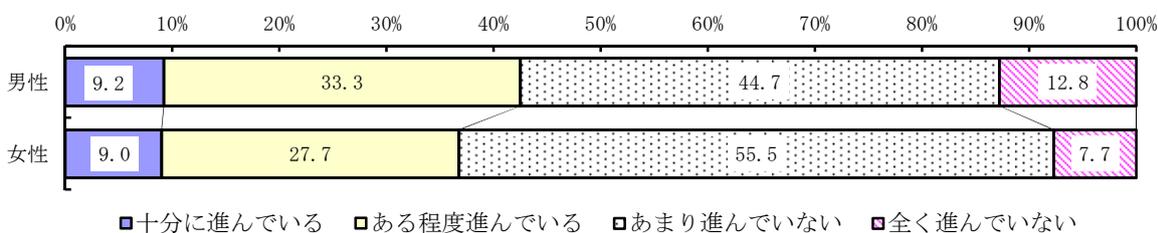
【性別】

性別にみると、「職員と接する機会がないため、わからない」と答えた人の割合が、男性で71.7%、女性で77.1%となっている。

また、「職員と接する機会がないため、わからない」と答えた人を除いて再計算すると、「十分に進んでる」と「ある程度進んでいる」と答えた人の割合の合計は、女性（36.7%）よりも男性（42.5%）の方が5.8ポイント多い。

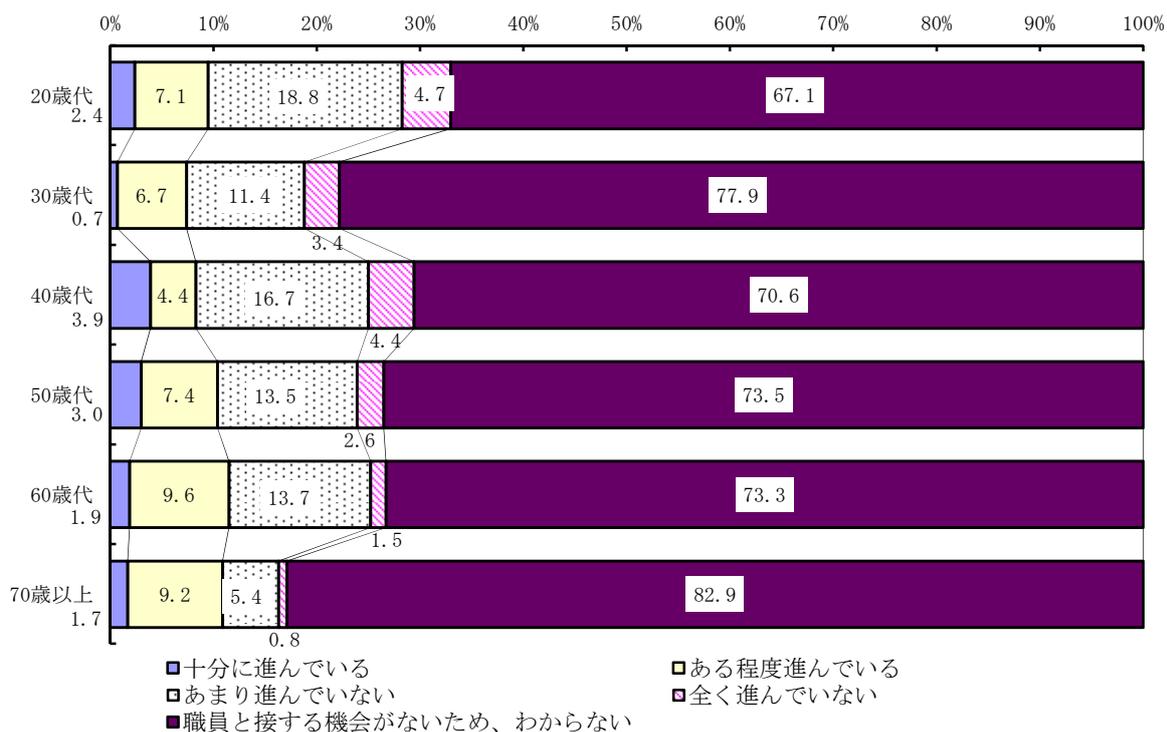


<参考> 「職員と接する機会がないため、わからない」と答えた人を除く



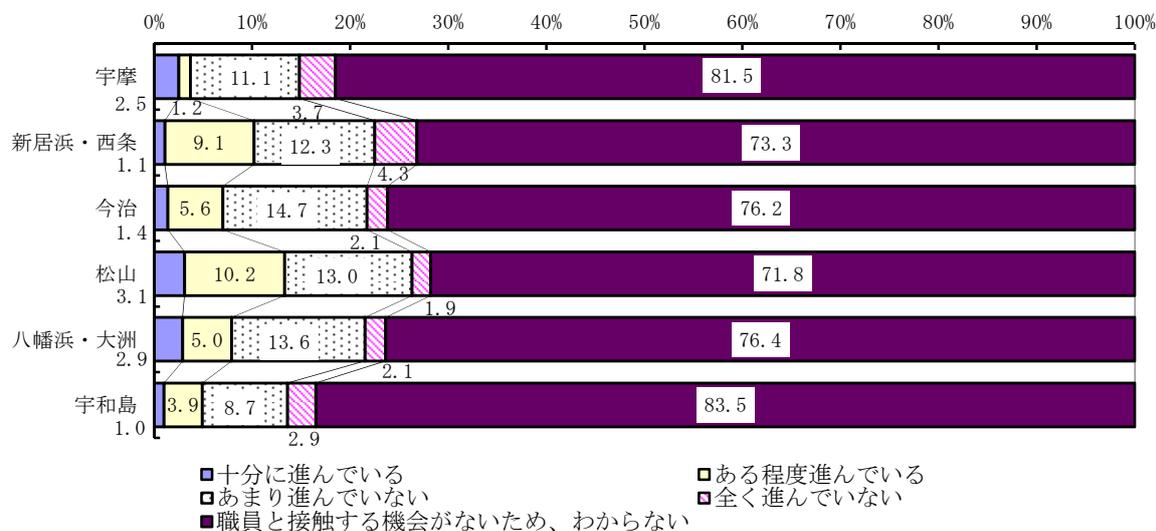
【年齢別】

年齢別にみると、「十分に進んでいる」と「ある程度進んでいる」と答えた人の割合の合計から、「あまり進んでいない」と「全く進んでいない」の合計を引くと、20歳代（-14.0ポイント）、30歳代（-7.4ポイント）、40歳代（-12.8ポイント）、50歳代（-5.7ポイント）、60歳代（-3.7ポイント）、70歳以上（+4.7ポイント）となる。



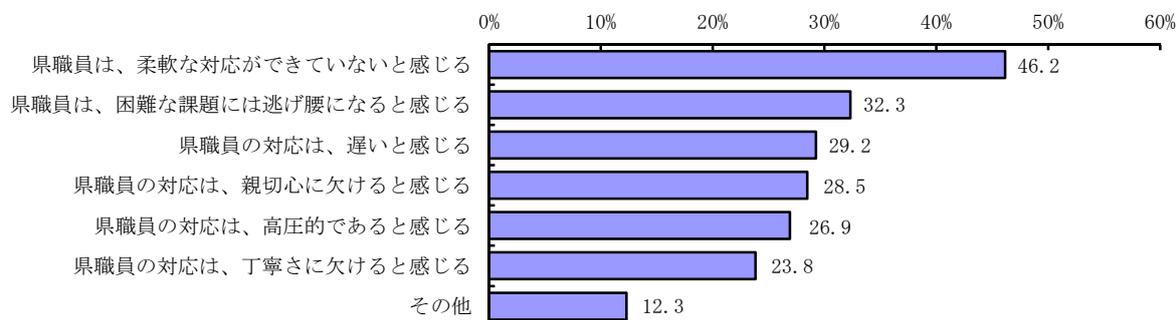
【生活圏域別】

生活圏域別にみると、「十分に進んでいる」と「ある程度進んでいる」と答えた人の割合の合計から、「あまり進んでいない」と「全く進んでいない」の合計を引くと、宇摩圏域（-11.1ポイント）、新居浜・西条圏域（-6.4ポイント）、今治圏域（-9.8ポイント）、松山圏域（-1.6ポイント）、八幡浜・大洲圏域（-7.8ポイント）、宇和島圏域（-6.7ポイント）となる。



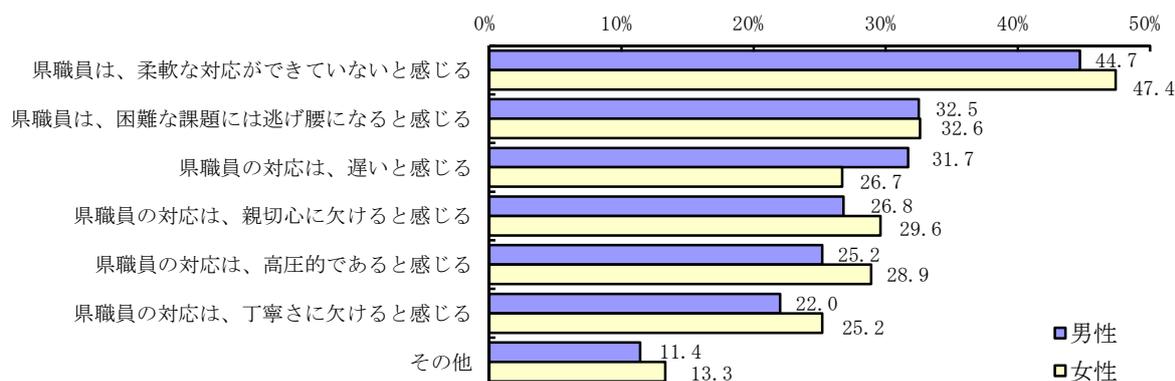
《県職員の意識改革が進んでいない理由》

問29-1で、「ある程度進んでいる」、「あまり進んでいない」及び「全く進んでいない」と答えた人に、県職員の意識改革が進んでいない理由について聞いたところ、「県職員は、柔軟な対応ができていない」と答えた人が46.2%と最も多く、以下「県職員は、困難な課題には逃げ腰になる」（32.3%）、「県職員の対応は、遅い」（29.2%）、「県職員の対応は、親切心に欠ける」（28.5%）などの順となっている。



【性別】

性別にみると、「県職員は、柔軟な対応ができていない」と答えた人の割合が、男性（44.7%）、女性（47.4%）で共に最も多い。「県職員の対応は、遅い」と答えた人の割合は、男性の方が特に多く、「県職員の対応は、親切心に欠ける」、「県職員の対応は、高圧的である」、「県職員の対応は、丁寧さに欠ける」は、女性の方が特に多い。



えひめ国体
問30 えひめ国体の認知度

あなたは、平成29年（2017年）に愛媛県で第72回国民体育大会が開催されることを知っていますか。次の中から**一つ選んで**番号を○で囲んでください。

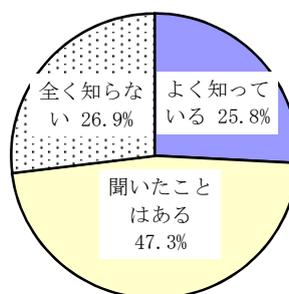
- | | | |
|---|----------|------|
| | | (%) |
| 1 | よく知っている | 25.8 |
| 2 | 聞いたことはある | 47.3 |
| 3 | 全く知らない | 26.9 |

あなたは、第72回国民体育大会（えひめ国体）をどこで知りましたか。次の中から**いくつでも選んで**番号を○で囲んでください。

(回答者＝895人) (複数回答) (%)

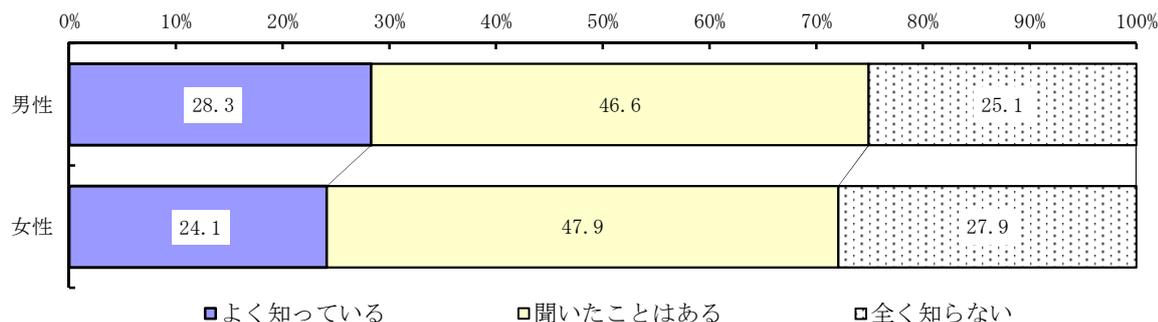
- | | | |
|----|----------------|------|
| 1 | 県政広報誌 | 24.5 |
| 2 | 新聞 | 44.9 |
| 3 | 雑誌 | 3.1 |
| 4 | テレビ | 63.8 |
| 5 | ラジオ | 9.7 |
| 6 | ポスター | 14.7 |
| 7 | パンフレット、チラシ | 12.1 |
| 8 | 看板 | 5.7 |
| 9 | のぼり旗 | 7.4 |
| 10 | 国体パネル展での展示パネル | 1.9 |
| 11 | えひめ国体グッズ | 4.7 |
| 12 | えひめ国体ホームページ | 2.2 |
| 13 | えひめ国体以外のホームページ | 0.8 |
| 14 | その他 | 12.1 |

平成29年度（2017年）に愛媛県で第72回国民体育大会（えひめ国体）が開催されることを知っているかを聞いたところ、「よく知っている」と答えた人の割合が25.8%、「聞いたことはある」が47.3%、「全く知らない」が26.9%となっている。



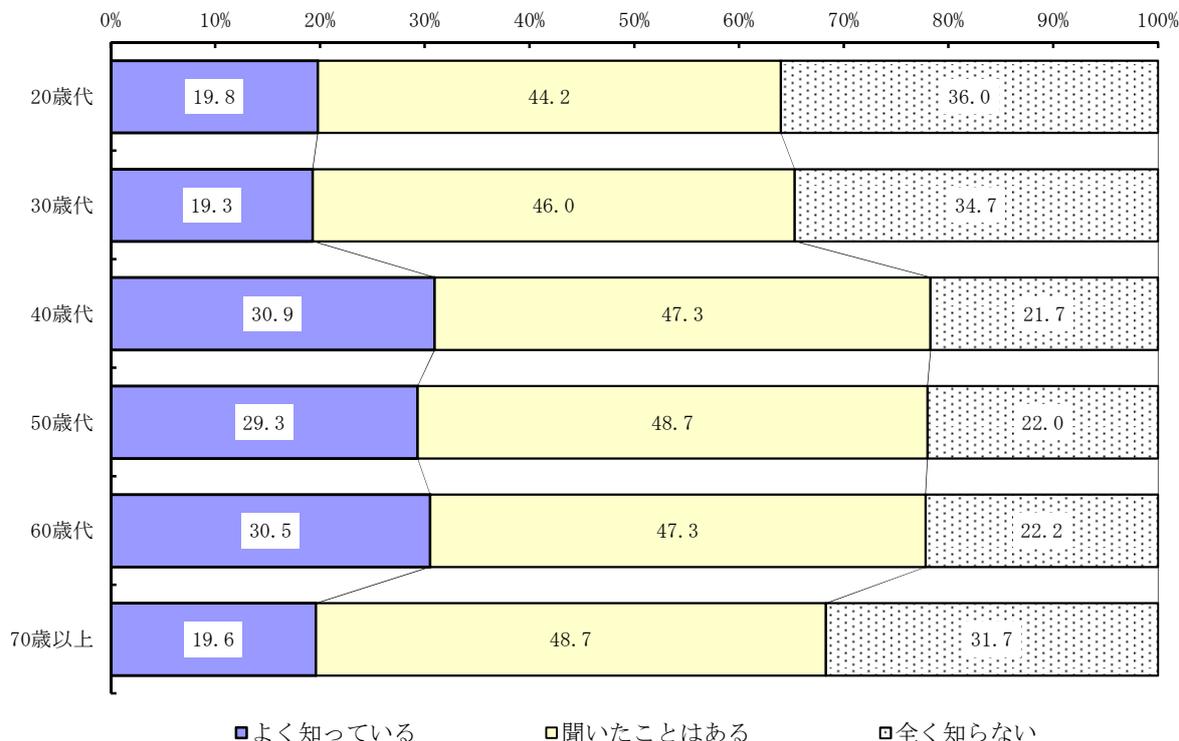
【性別】

性別にみると、「よく知っている」と答えた人の割合は、男性（28.3%）の方が女性（24.1%）より4.2ポイント多く、逆に「全く知らない」と答えた人の割合は、男性（25.1%）の方が女性（27.9%）より2.8ポイント少なくなっている。



【年齢別】

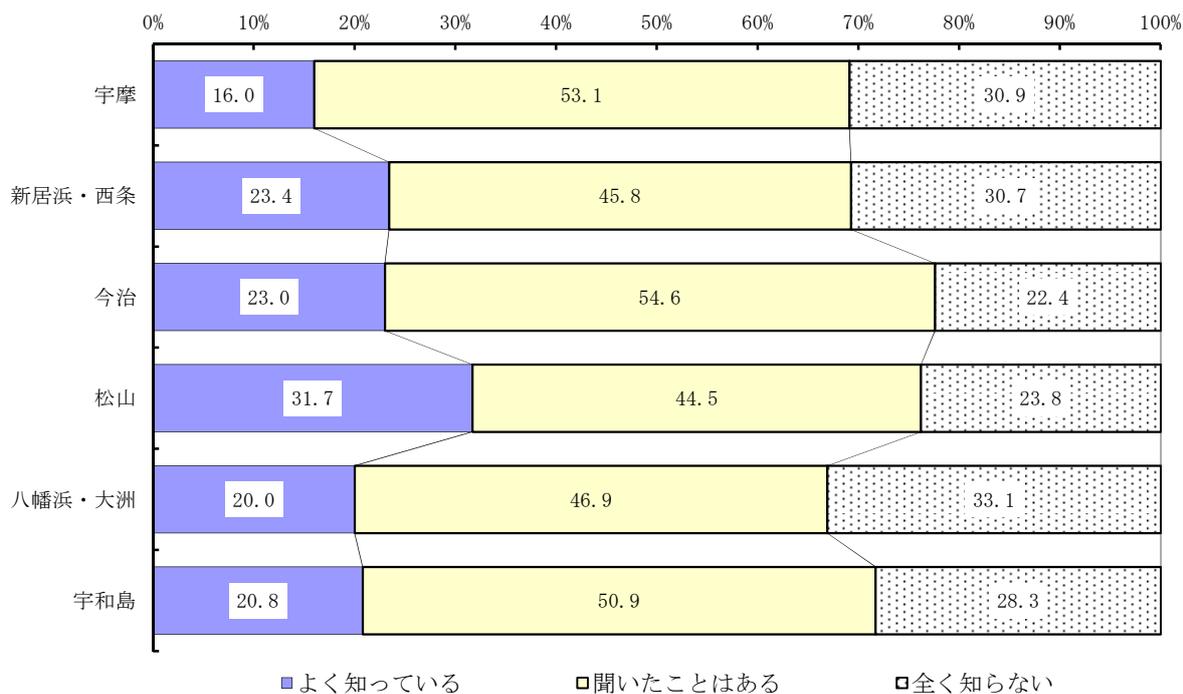
年齢別にみると、全ての年齢層で「聞いたことはある」と答えた人の割合が最も多くなっている。
 また、40歳代から60歳代では、「よく知っている」が他の年齢層と比較して多く、30歳代以下及び70歳以上では、「全く知らない」が他の年齢層と比較して多くなっている。



【生活圏域別】

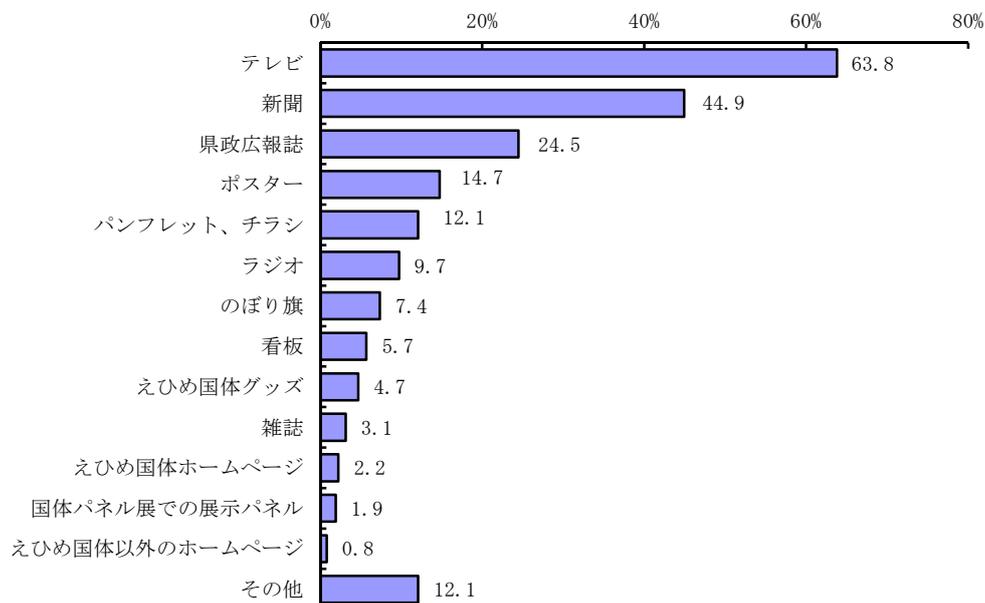
生活圏域別にみると、全ての圏域で「聞いたことはある」と答えた人の割合が最も多くなっている。

また、「よく知っている」と答えた人の割合は、松山圏域（31.7%）で特に多く、「全く知らない」が八幡浜・大洲圏域（33.1%）で最も多くなっている。



《えひめ国体の情報源》

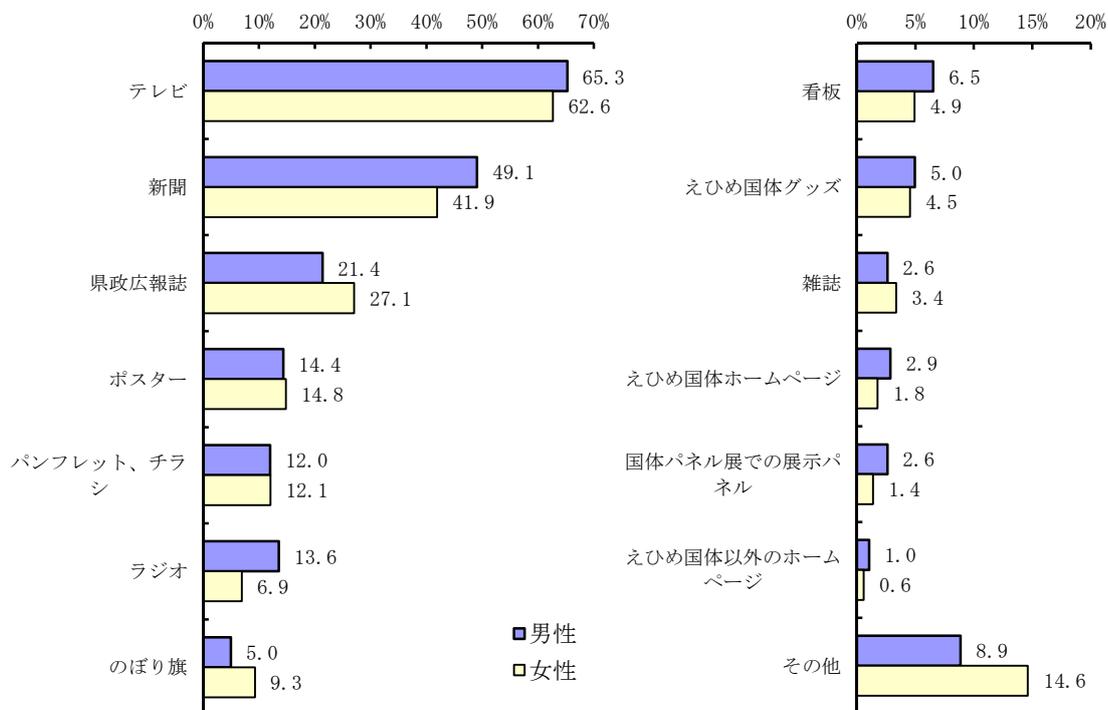
第72回国民体育大会（えひめ国体）をどこで知ったか聞いたところ、「テレビ」と答えた人の割合が63.8%で最も多く、以下「新聞」（44.9%）、「県政広報誌」（24.5%）、「ポスター」（14.7%）の順となっている。



【性別】

性別にみると、男女共に「テレビ」と答えた人の割合が最も多くなっている。

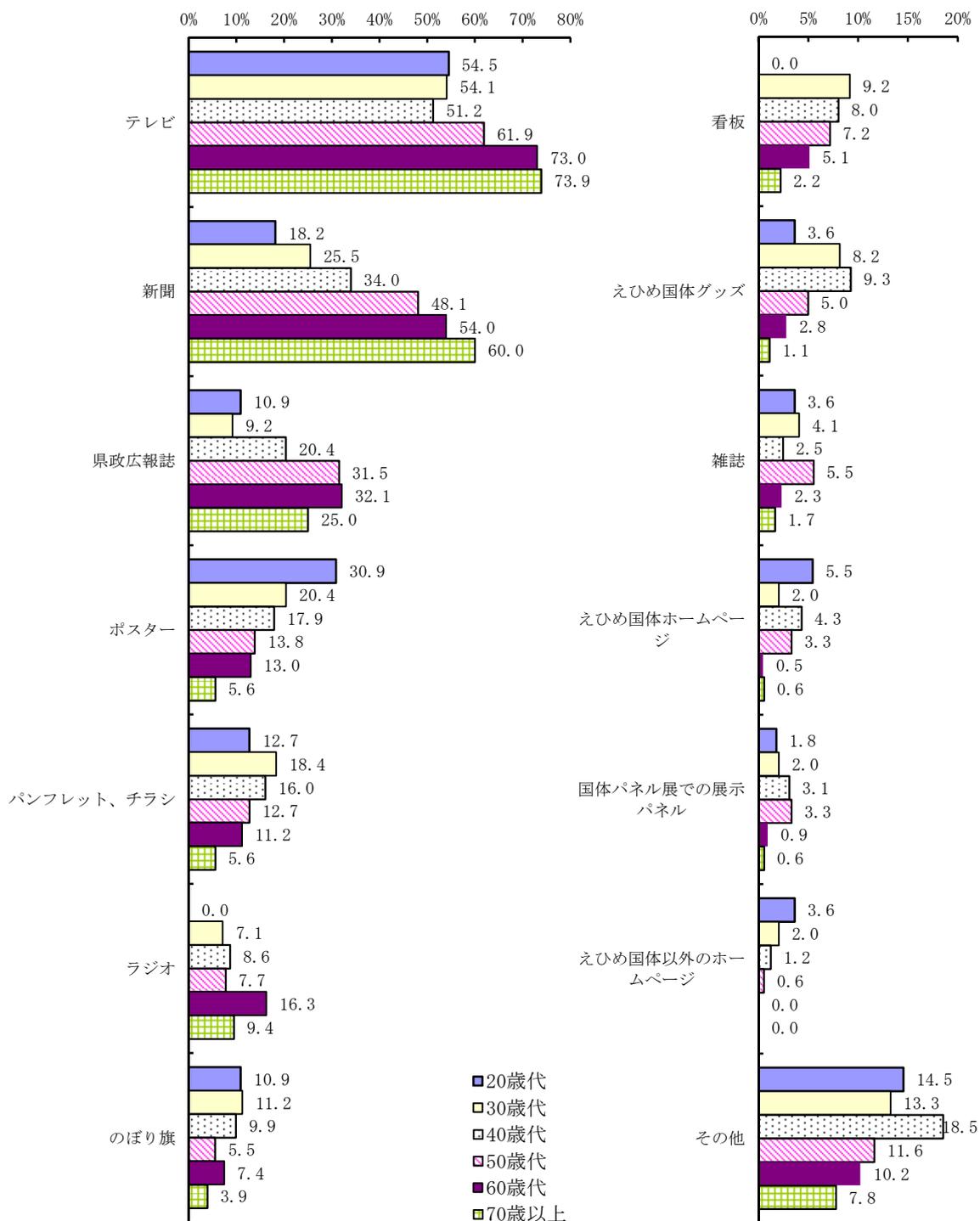
また、「新聞」や「ラジオ」と答えた人の割合は男性の方が多く、「県政広報誌」や「のぼり旗」は、女性の方が多くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「テレビ」と答えた人の割合が最も多く、特に50歳代以上の年齢層と比較して多くなっている。

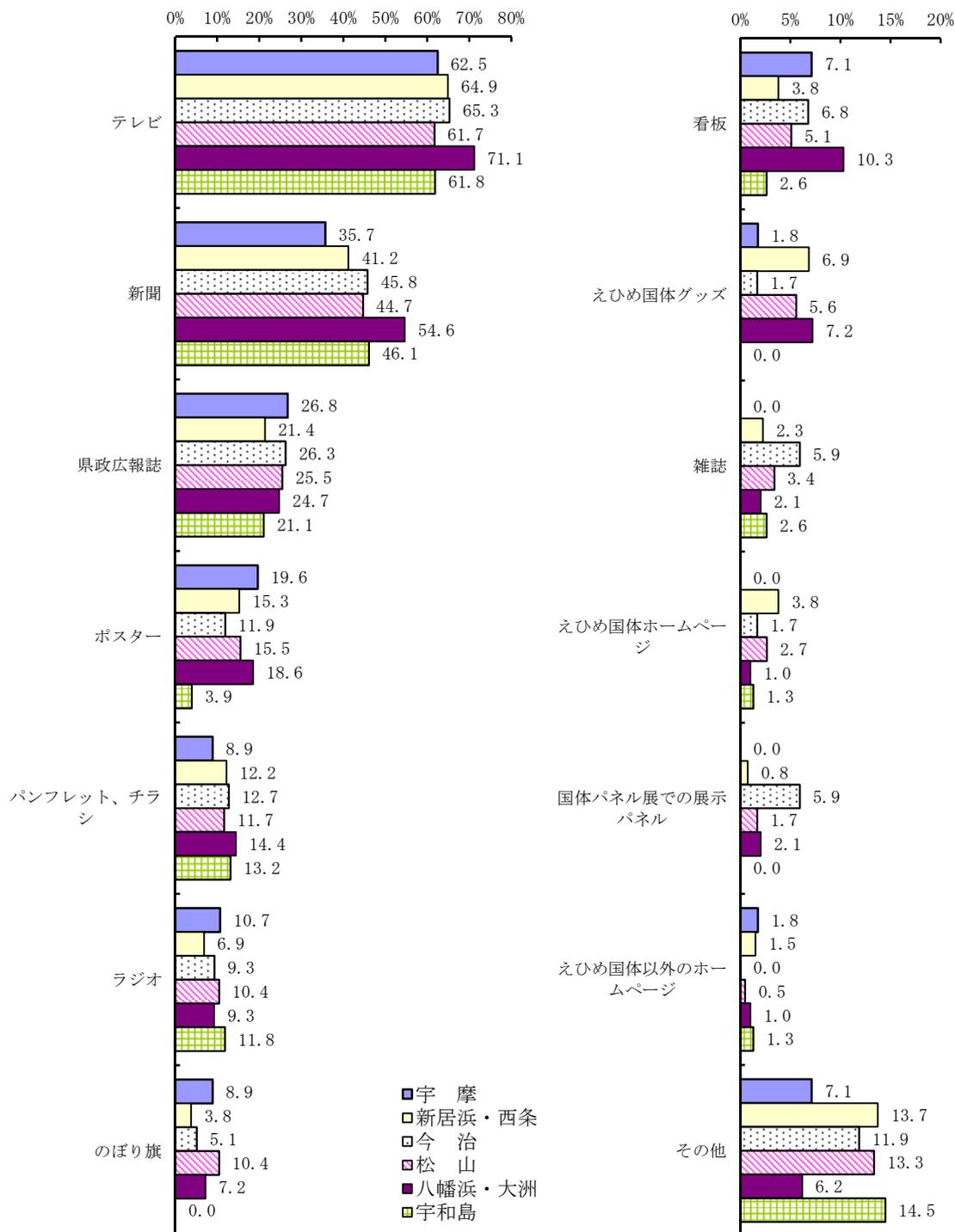
また、「新聞」と答えた人の割合は、年齢が高くなるほど多くなり、逆に、「ポスター」は年齢が低くなるほど多く、「県政広報誌」は、50歳代及び60歳代で他の年齢層と比較して多くなっている。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、全ての圏域で「テレビ」と答えた人の割合が最も多く、続いて「新聞」、
「県政広報誌」の順となっている。

また、八幡浜・大洲圏域では「新聞」と答えた人の割合が54.6%で、他の圏と比較して多くなっている。



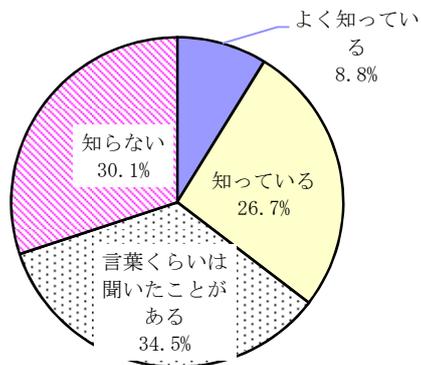
男女共同参画社会づくり

問31 男女共同参画社会づくりという言葉の認知度

あなたは、「男女共同参画社会」という言葉を知っていますか。次の中から一つ選ん
で番号を○で囲んでください。

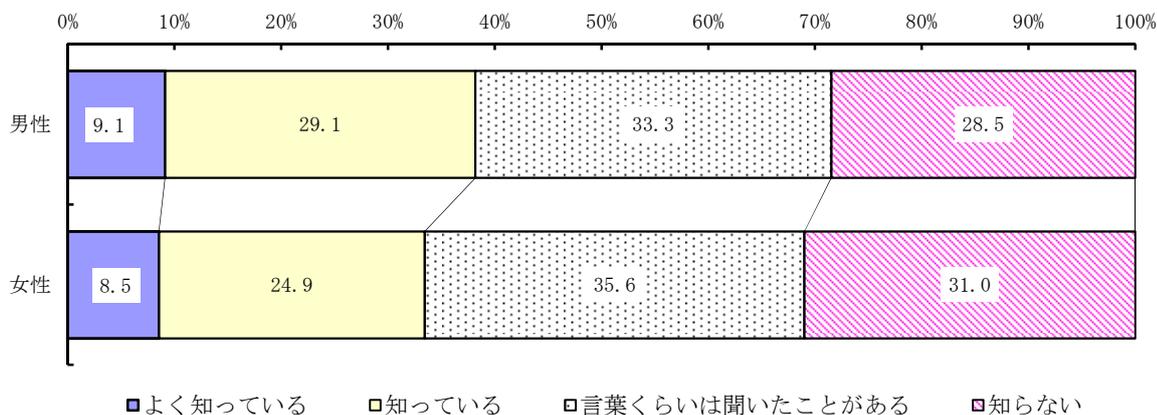
	(%)
1 よく知っている	8.8
2 知っている	26.7
3 言葉くらいは聞いたことがある	34.5
4 知らない	30.1

「男女共同参画社会」という言葉を知っているか聞いたところ、「よく知っている」と答えた人の割合が8.8%、「知っている」が26.7%、「言葉くらいは聞いたことがある」が34.5%、「知らない」が30.1%となっている。



【性別】

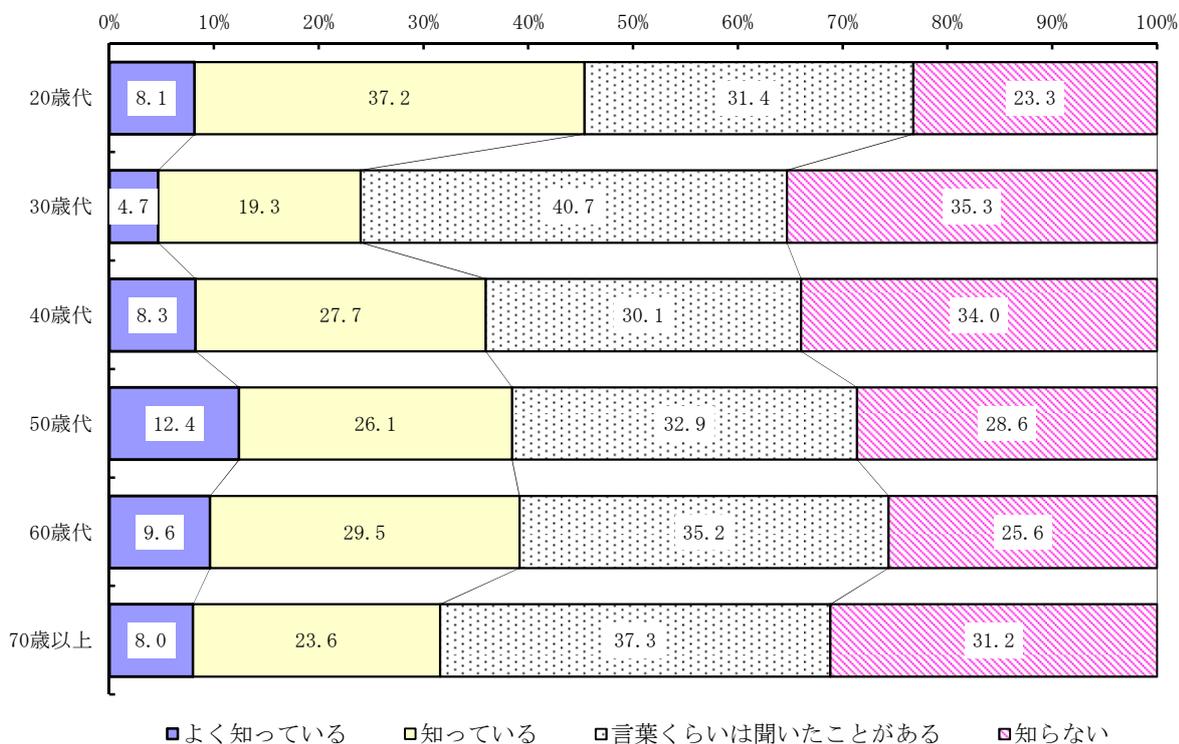
性別にみると、「よく知っている」及び「知っている」と答えた人の割合の合計は、男性（38.2%）の方が女性（33.4%）より4.8ポイント多く、逆に「知らない」と答えた人の割合は女性の方が2.5ポイント多い。



【年齢別】

年齢別にみると、「よく知っている」及び「知っている」と答えた人の割合の合計は、20歳代（45.3%）が最も多く、次いで60歳代（39.1%）、50歳代（38.5%）となっている。

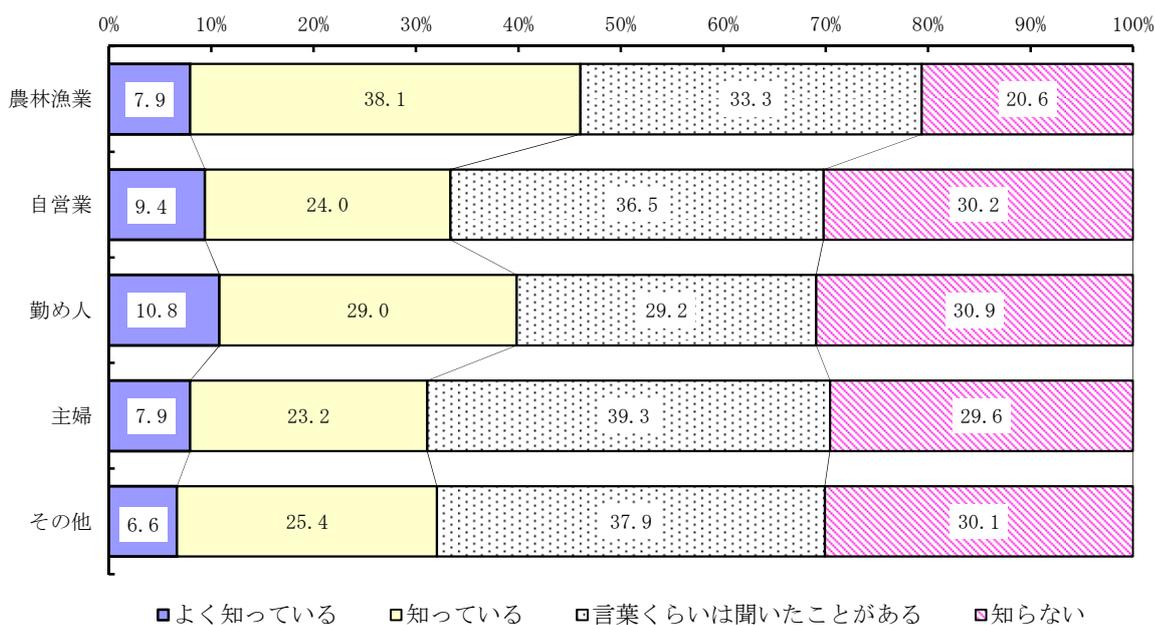
また、逆に、「知らない」と答えた人は、30歳代（35.3%）及び40歳代（34.0%）で他の年齢層と比較して多くなっている。



【職業別】

職業別にみると、「よく知っている」及び「知っている」と答えた人の割合の合計は、農林漁業（46.0%）、勤め人（39.8%）で他の職種と比較して多くなっている。

また、逆に、「知らない」と答えた人は、農林漁業を除く全ての職業で30%程度でほぼ同じ割合となっている。

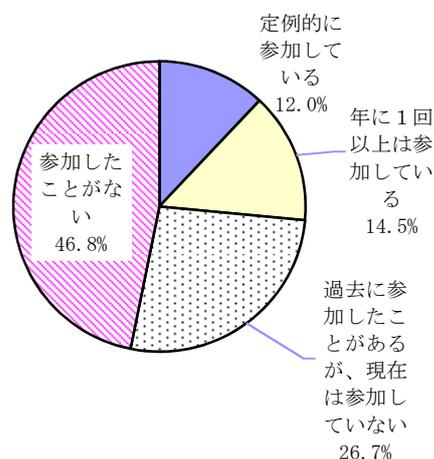


ボランティア活動の活性化
問32 ボランティア活動など社会貢献活動への参加状況

あなたは、現在、ボランティア活動や自治会活動など社会貢献活動に参加していますか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

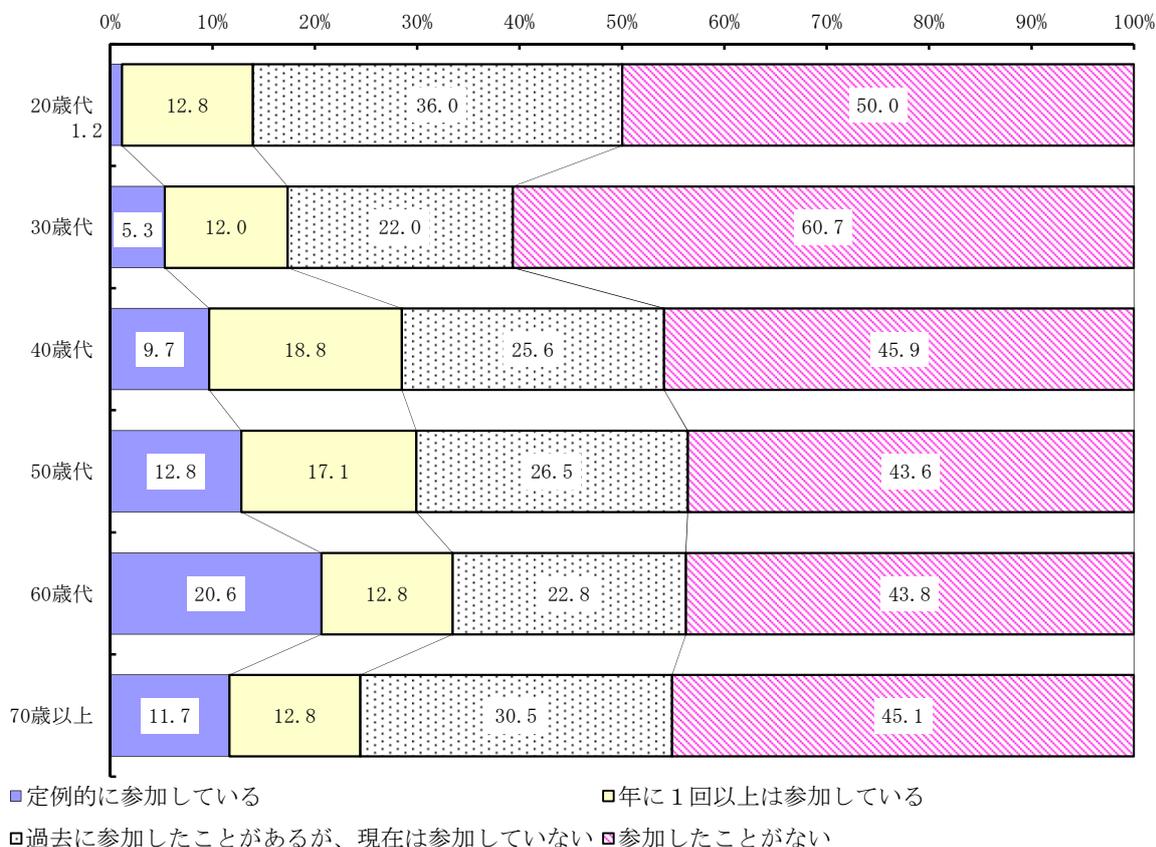
- | | |
|----------------------------|------|
| | (%) |
| 1 定例的に参加している | 12.0 |
| 2 年に1回以上は参加している | 14.5 |
| 3 過去に参加したことがあるが、現在は参加していない | 26.7 |
| 4 参加したことがない | 46.8 |

現在、ボランティア活動など社会貢献活動に参加しているかを聞いたところ、「定例的に参加している」と答えた人の割合が12.0%、「年に1回以上は参加している」が14.5%、「過去に参加したことがあるが、現在は参加していない」が26.7%、「参加したことがない」が46.8%となっている。



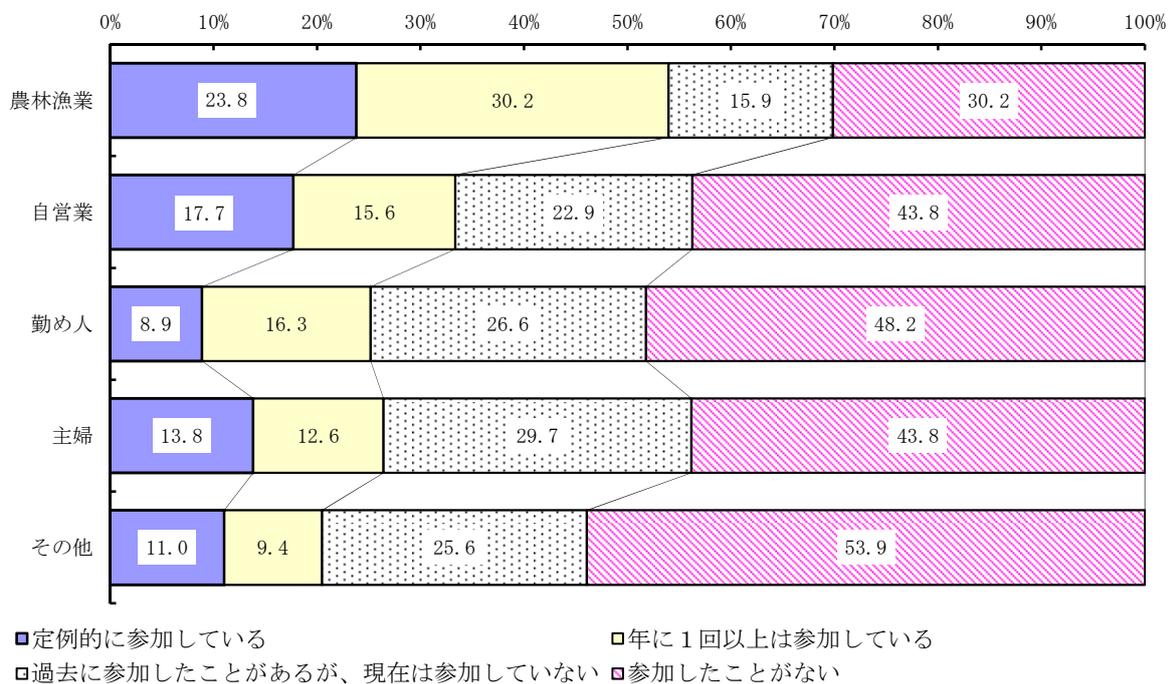
【年齢別】

年齢別にみると、「定例的に参加している」と答えた人の割合は、60歳代（20.6%）で他の年齢層と比較して多くなっており、これに、「年に1回以上は参加している」と「過去に参加したことがあるが、現在は参加していない」を加えた参加経験のある人の割合は、40歳代以上で多く、30歳代が最も少ない。



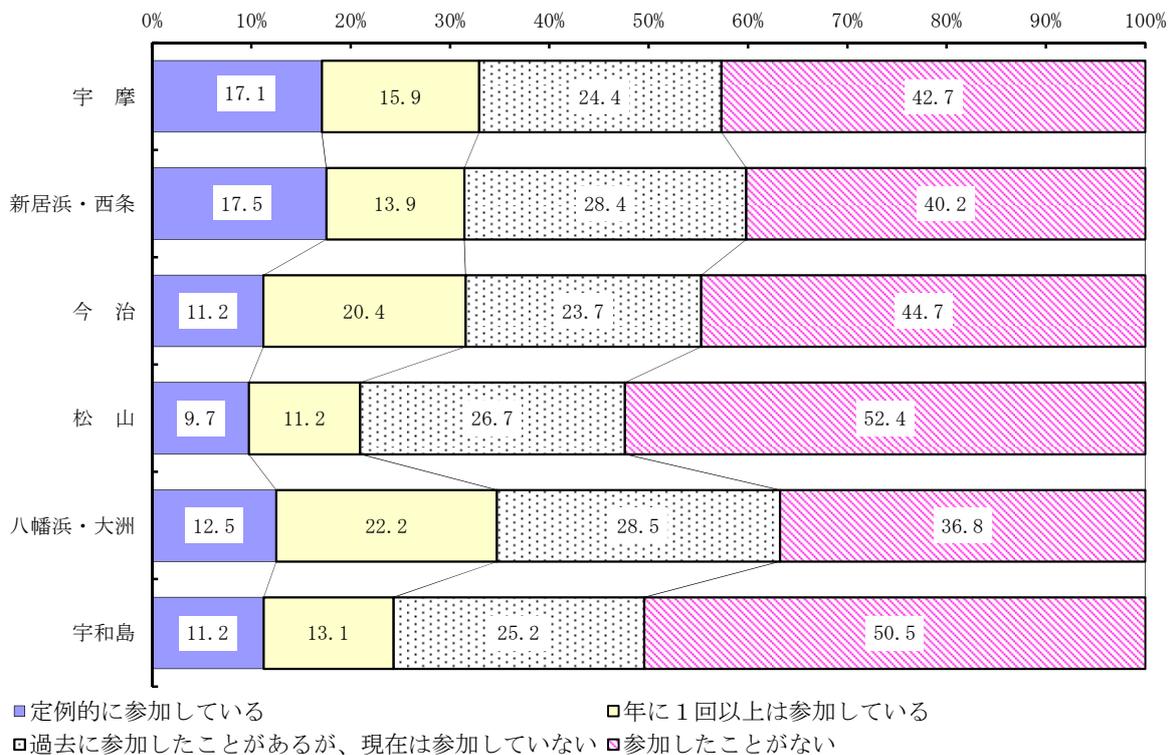
【職業別】

職業別にみると、「定例的に参加している」と答えた人の割合は、農林漁業23.8%で他の職種と比較して多くなっており、これに「年に1回以上は参加している」と「過去に参加したことがあるが、現在は参加していない」を加えた参加経験のある人の割合は、農林漁業で69.9%と特に多く、勤め人が51.8%と少ない。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、「定例的に参加している」と答えた人の割合は、新居浜・西条圏域（17.5%）及び宇摩圏域（17.1%）で他の圏域と比較して多くなっており、これに「年に1回以上は参加している」と「過去に参加したことがあるが、現在は参加していない」を加えた参加経験のある人の割合は、八幡浜・大洲圏域（63.2%）で最も多く、松山圏域では47.6%で最も少ない。



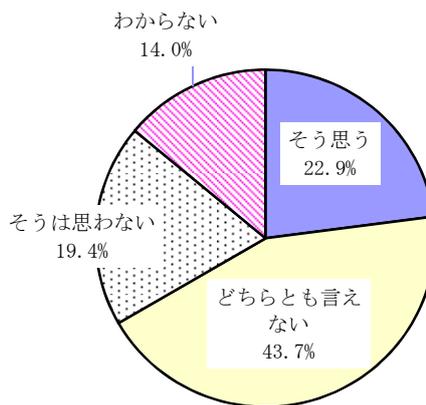
人権問題

問33 人権が尊重されている社会としての意識

あなたは、今の日本は、人権が尊重されている社会だと思いますか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

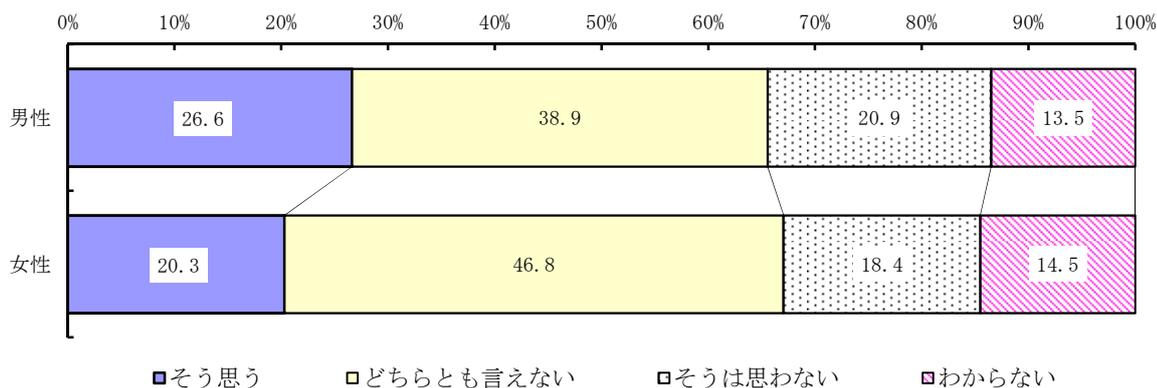
	(%)
1 そう思う	22.9
2 どちらとも言えない	43.7
3 そうは思わない	19.4
4 わからない	14.0

今の日本は、人権が尊重されている社会だと思うかを聞いたところ、「そう思う」と答えた人の割合が22.9%で、「どちらとも言えない」が43.7%、「そうは思わない」が19.4%、「わからない」が14.0%となっている。



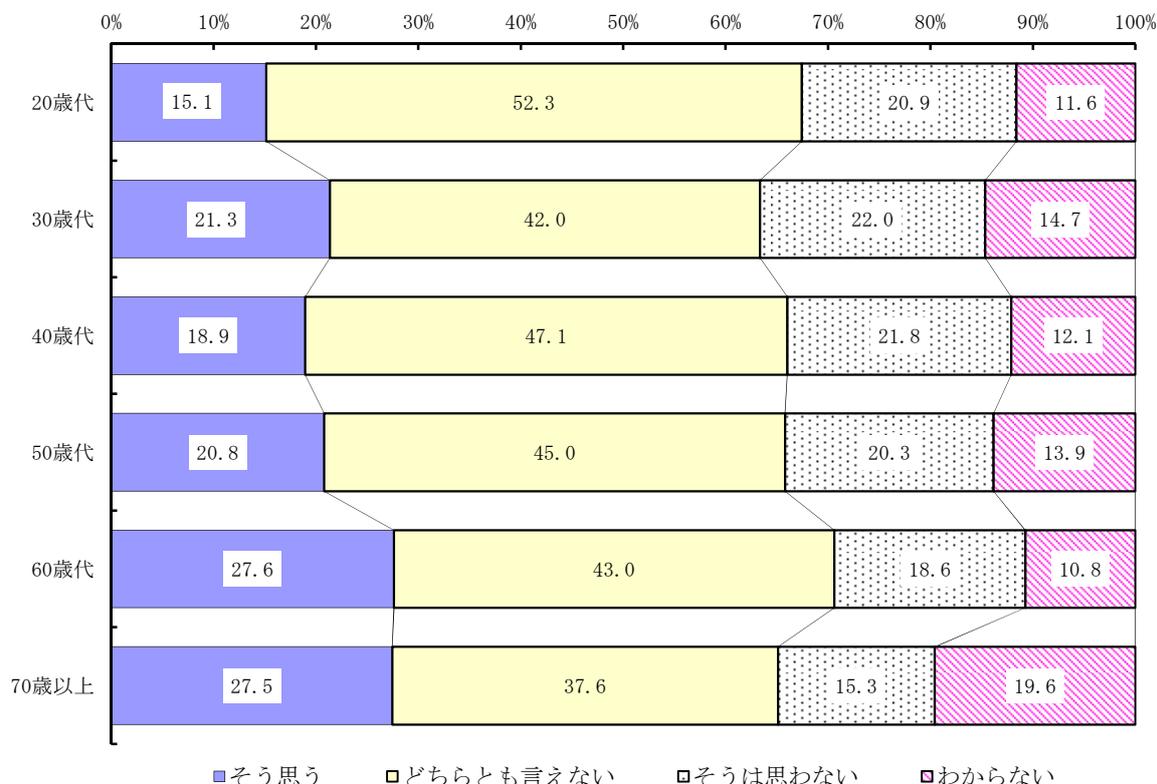
【性別】

性別にみると、「そう思う」と答えた人の割合は、男性（26.6%）の方が女性（20.3%）より6.3ポイント多くっており、「どちらとも言えない」と答えた人の割合は、男性（38.9%）の方が女性（46.8%）より7.9ポイント少ない。



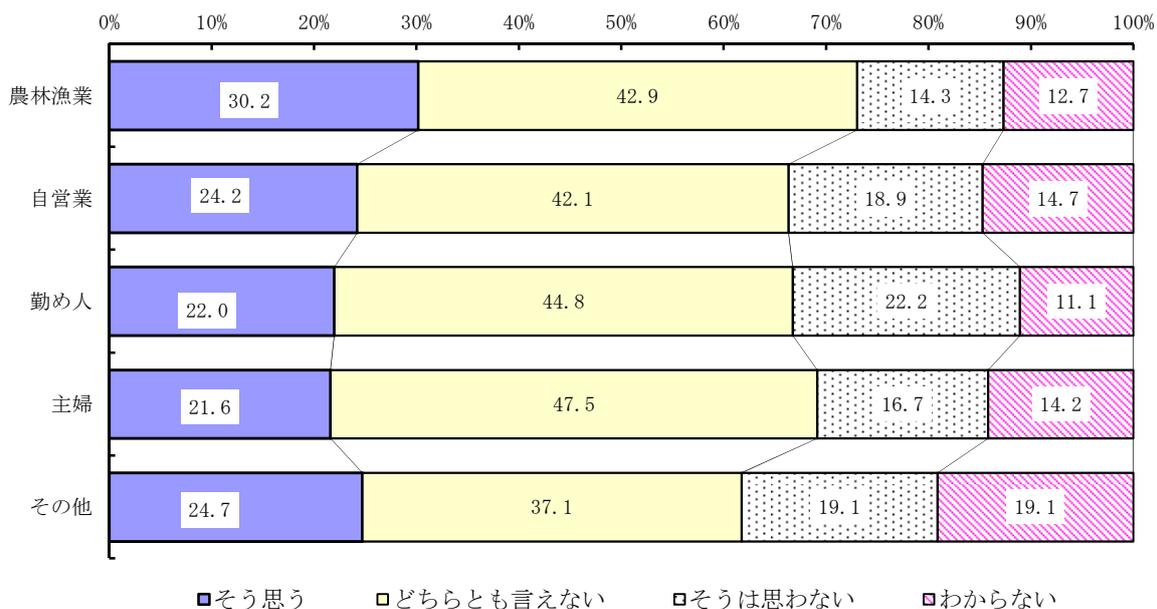
【年齢別】

年齢別にみると、「どちらとも言えない」と答えた人の割合が全ての年齢層で最も多くなっており、「そう思う」と答えた人の割合は、60歳代（27.6%）及び70歳代（27.5%）で他の年齢層よりも多く、20歳代では「どちらとも言えない」が特に多い。



【職業別】

職業別にみると、全ての職種で「どちらとも言えない」と答えた人の割合が最も多く、特に主婦（47.5%）が最も多い。「そう思う」と答えた人の割合は、農林水産業（30.2%）で最も多く、「そうは思わない」は、勤め人（22.2%）で最も多い。

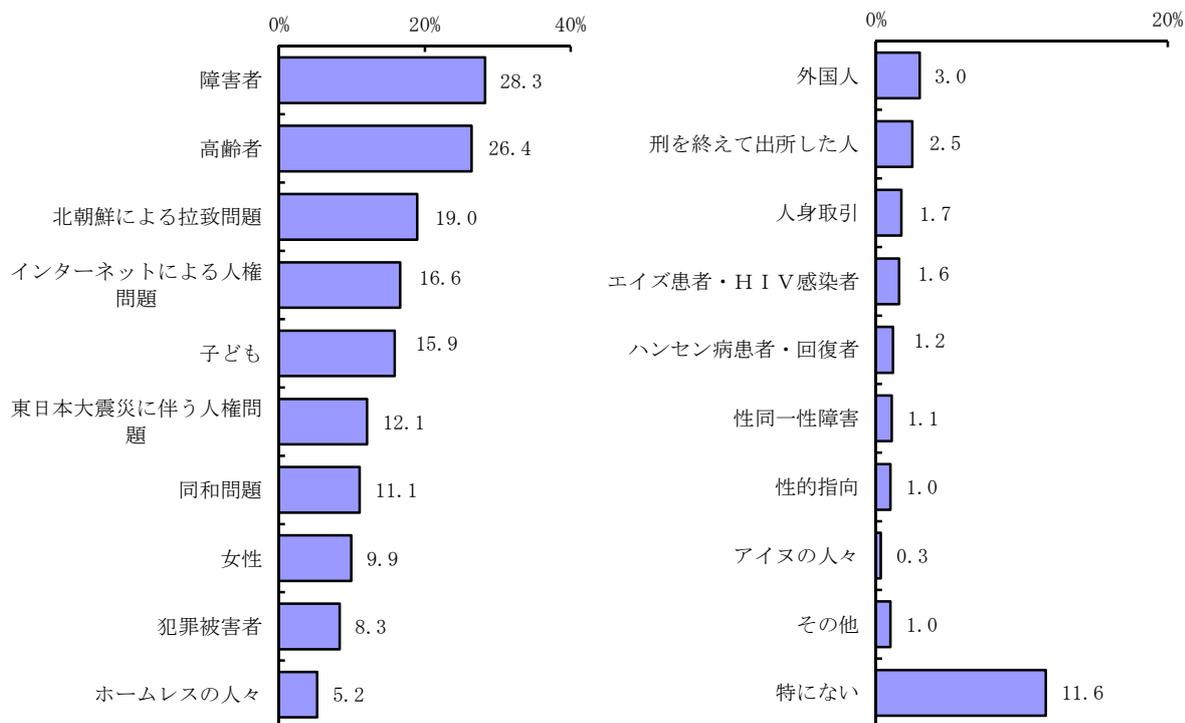


問33-1 関心のある人権問題

日本の社会には、人権にかかわるいろいろな問題がありますが、あなたは、特にどのような問題に関心がありますか。次の中から特に関心のある問題を二つまで選んで番号を○で囲んでください。

	(複数回答)	(%)
1 女性		9.9
2 子ども		15.9
3 高齢者		26.4
4 障害者		28.3
5 同和問題		11.1
6 外国人		3.0
7 エイズ患者・H I V感染者		1.6
8 ハンセン病患者・回復者		1.2
9 犯罪被害者		8.3
10 性的指向（異性愛、同性愛、両性愛）		1.0
11 性同一性障害（生物学的な性と性の自己意識[こころの性]が一致しない者）		1.1
12 インターネットによる人権問題		16.6
13 北朝鮮による拉致問題		19.0
14 刑を終えて出所した人		2.5
15 アイヌの人		0.3
16 ホームレスの人々		5.2
17 人身取引（性的搾取、強制労働等を目的とした人身取引）		1.7
18 東日本大震災に伴う人権問題		12.1
19 その他		1.0
20 特にない		11.6

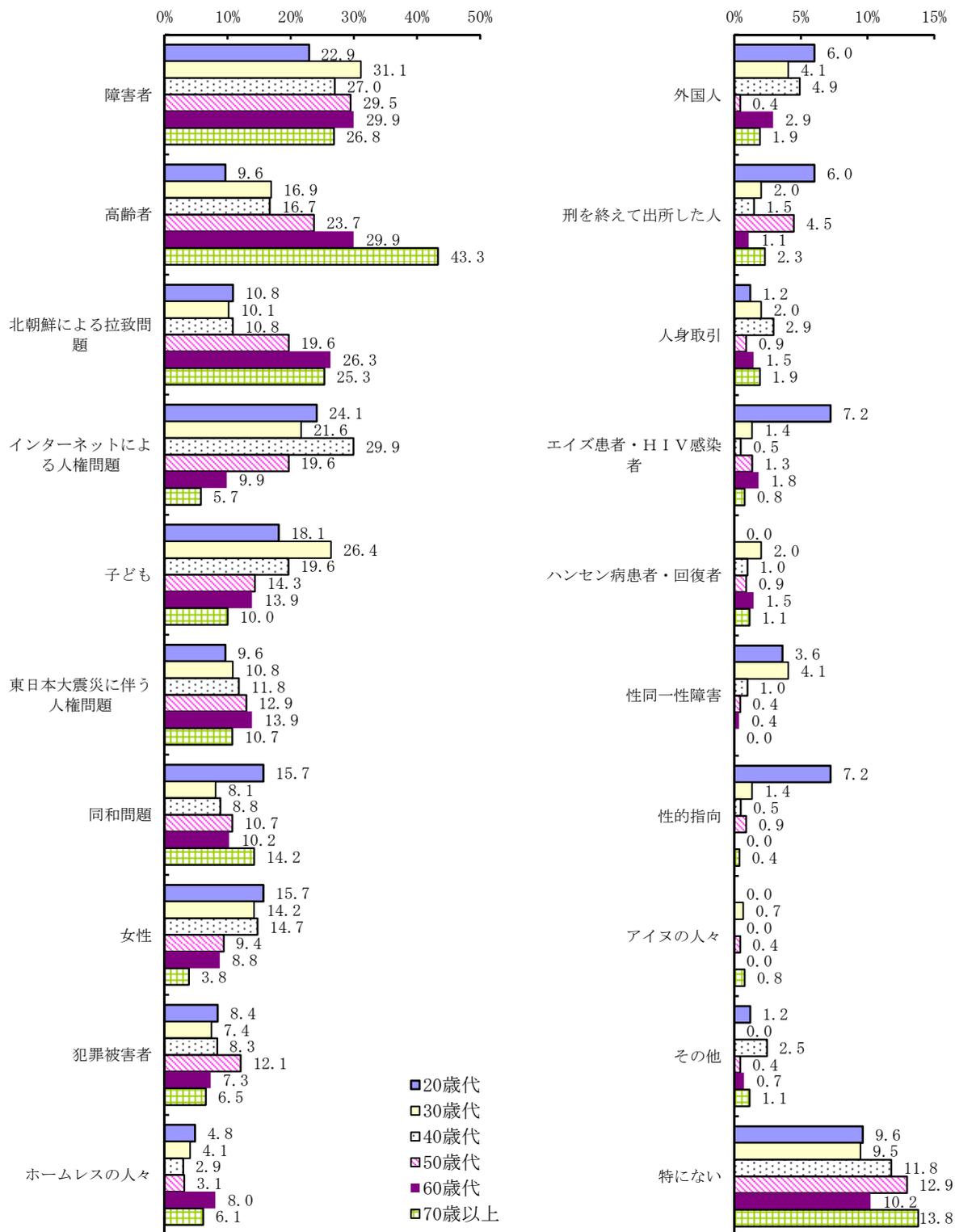
日本の社会には、人権にかかわるいろいろな問題があるが、どのような問題に関心があるかを聞いたところ、「障害者」（28.3%）、「高齢者」（26.4%）、「北朝鮮による拉致問題」（19.0%）、「インターネットによる人権問題」（16.6%）、「子ども」（15.9%）、「東日本大震災に伴う人権問題」（12.1%）、「同和問題」（11.1%）の順となっている。



【年齢別】

年齢別にみると、30歳代以下及び50歳代では「障害者」と答えた人の割合が最も多く、40歳代では「インターネットによる人権問題」、60歳代では「障害者」と「高齢者」が同率で最も多く、70歳以上では「高齢者」（43.3%）と答えた人が最も多くなっている。

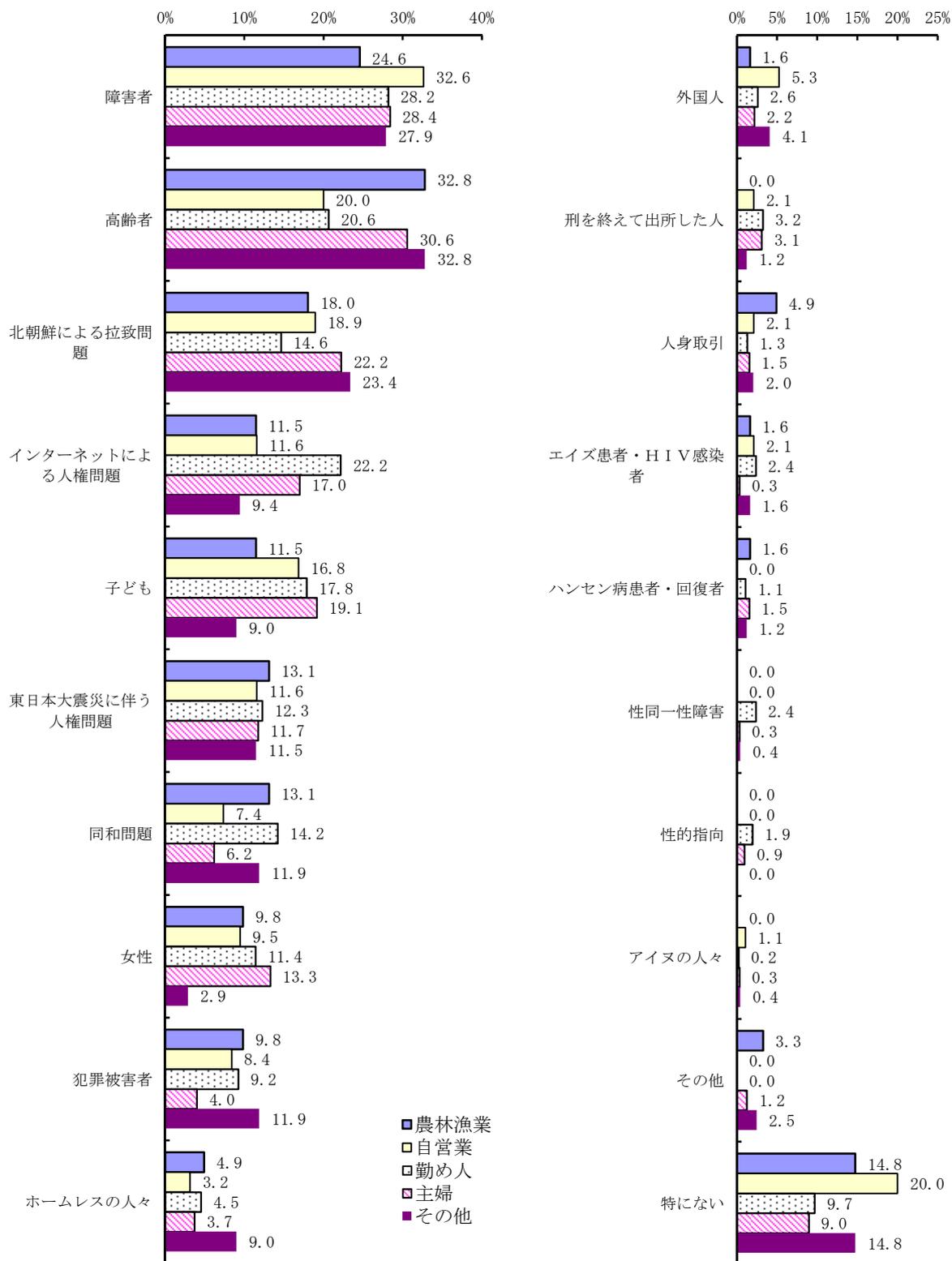
また、「高齢者」と答えた人の割合は、年齢が高くなるほど多くなり、「子ども」は30歳代（26.4%）で多く、「エイズ患者・HIV感染者」や「性的指向」は20歳代で特に多くなっている。



【職業別】

職業別にみると、「障害者」と答えた人の割合は、自営業（32.6%）、勤め人（28.2%）で最も多く、「高齢者」は、農林漁業（32.8%）、主婦（30.6%）及びその他（32.8%）で最も多い。

また、「インターネットによる人権問題」と答えた人の割合は、勤め人で22.2%と他の職種と比較して多くなっている。



家庭での備蓄
問34 災害に備えた生活物資の備蓄

あなたのお宅では、災害に備え生活物資を準備（備蓄）していますか。次の中から**二つ選んで**番号を○で囲んでください。

		(%)
—	1 準備している	30.5
—	2 準備していない	69.5

災害に備え準備（備蓄）しているものは何ですか。次の中から**いくつでも選んで**番号を○で囲んでください。

(回答者 = 370人) (複数回答) (%)

—	1 飲料水	77.0
—	2 アルファ米	9.7
—	3 缶詰	47.3
—	4 乾パン	35.9
—	5 インスタント麺	38.1
—	6 粉ミルク	1.1
—	7 常備薬	33.5
—	8 救急箱	30.5
—	9 紙おむつ	3.8
—	10 その他	14.1

「飲料水」、「アルファ米」、「缶詰」、「乾パン」、「インスタント麺」、「粉ミルク」に○をつけた方にお聞きします。それは何日分ですか。次の中から**一つ選んで**番号を○で囲んでください。

(回答者 = 340人) (%)

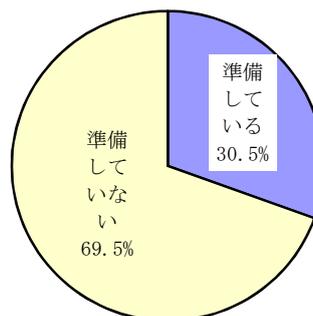
1	1日分	12.9	2	2日分	25.9
3	3日分	40.3	4	4日分	4.7
5	5日分	7.9	6	6日分	1.2
7	7日分以上	7.1			

災害に備え準備（備蓄）していない理由は何ですか。次の中から**二つまで選んで**番号を○で囲んでください。

(回答者 = 843人) (複数回答) (%)

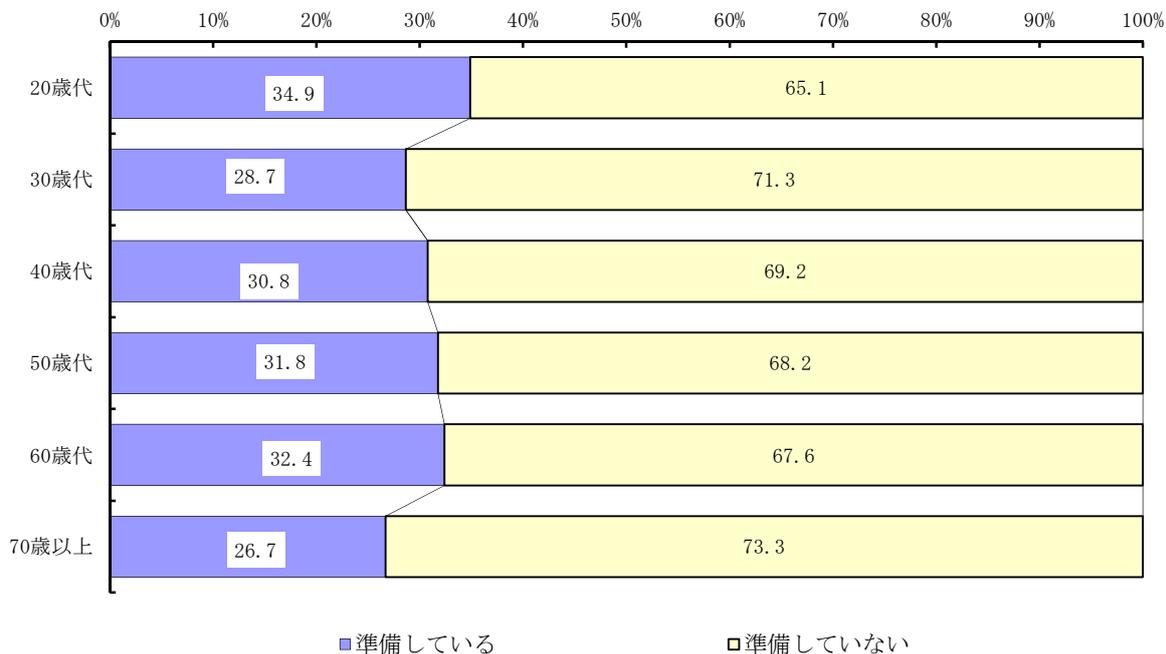
1	備蓄物資を置く場所がない	20.8
2	備蓄にお金がかかる	32.4
3	何を準備していいかわからない	34.8
4	買い置きしている物で十分だと考えている	34.2
5	被災しても誰かが助けてくれると思っている	2.5
6	自分が生きている間は、地震は起こらないと思っている	8.4
7	その他	15.9

自宅で災害に備え生活物資を準備（備蓄）しているかを聞いたところ、「準備している」と答えた人の割合が30.5%、「準備していない」と答えた人の割合が69.5%となっている。



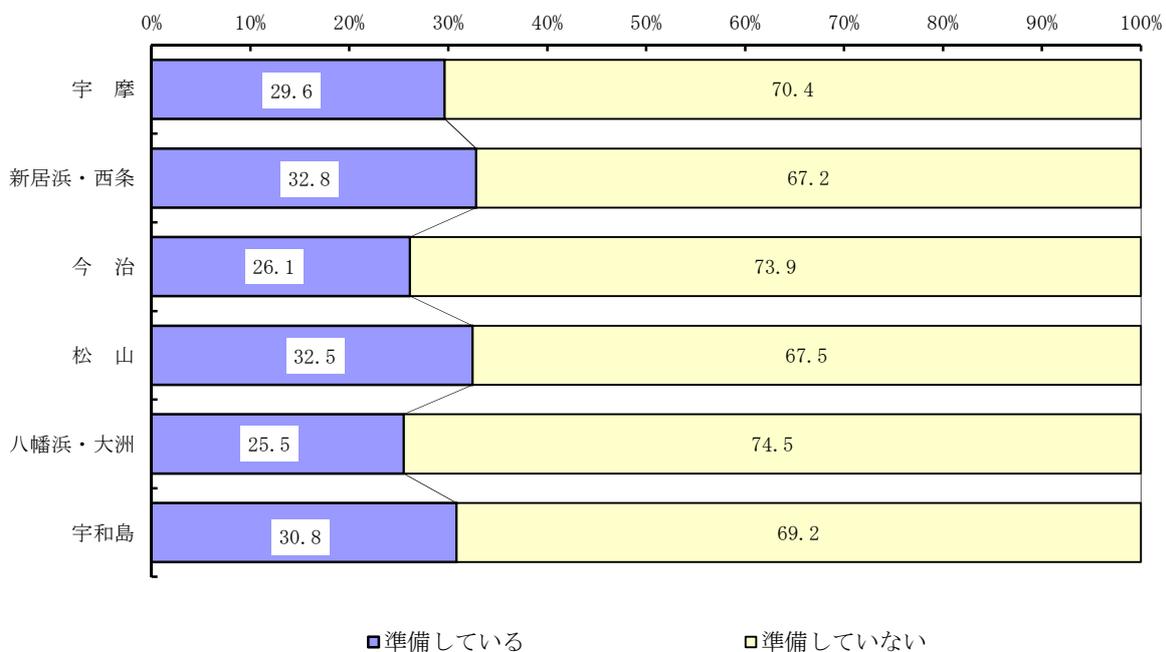
【年齢別】

年齢別にみると、「準備している」と答えた人の割合は、20歳代（34.9%）で最も多く、70歳以上（26.7%）で最も少なくなっている。



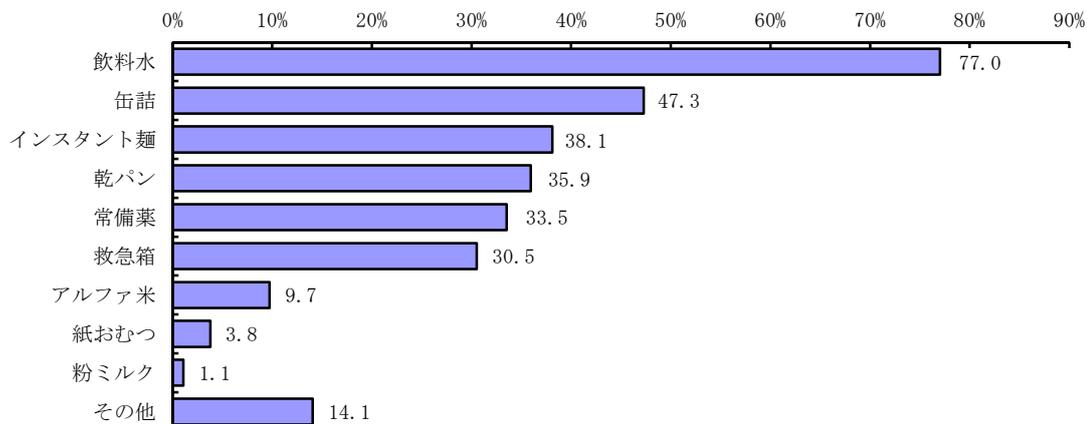
【生活圏域別】

生活圏域別にみると、「準備している」と答えた人の割合は、新居浜・西条圏域（32.8%）、松山圏域（32.5%）で比較的多く、今治圏域（26.1%）、八幡浜・大洲圏域（25.5%）で比較的少なくなっている。



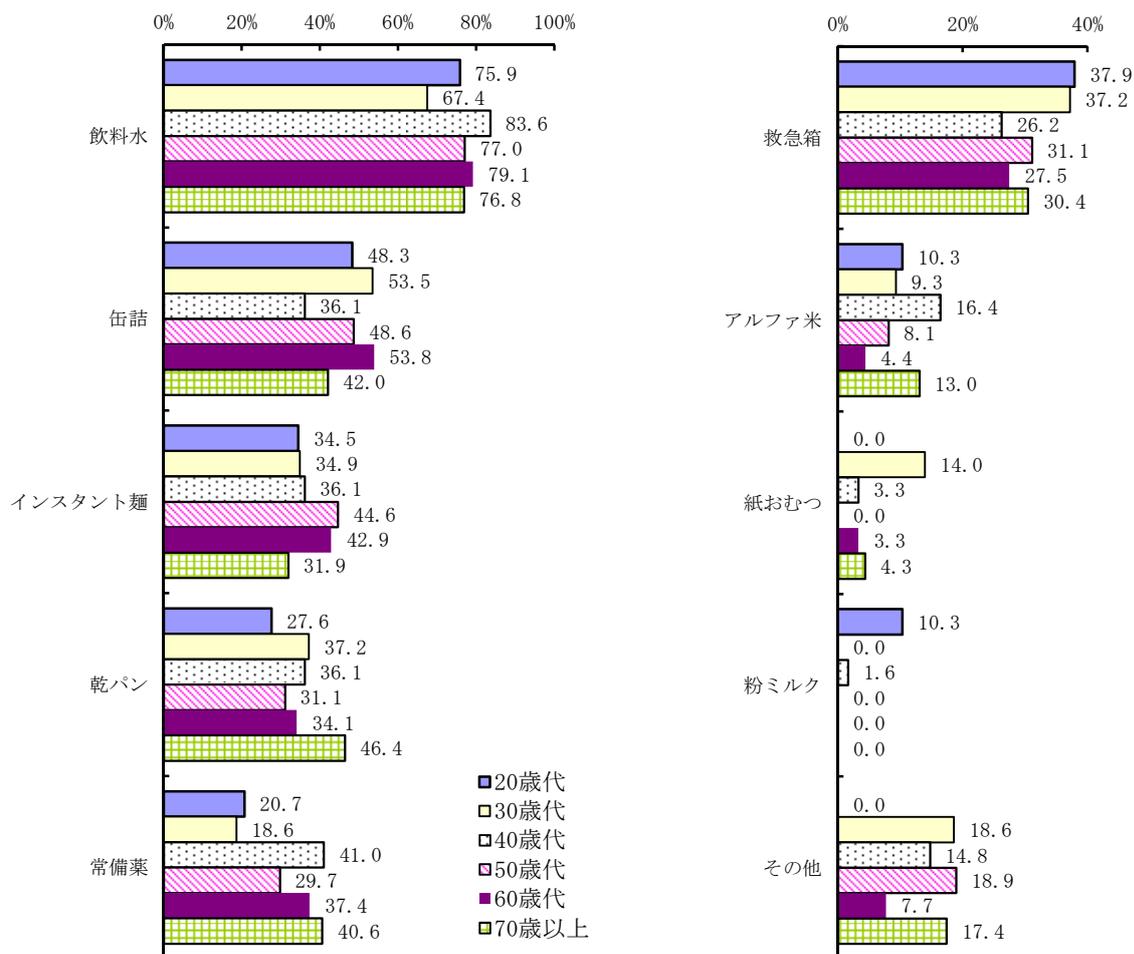
《災害に備えて備蓄しているもの》

問34で、「準備している」と答えた人に、具体的に準備（備蓄）しているものを聞いたところ、「飲料水」と答えた人が77.0%で最も多く、以下「缶詰」（47.3%）、「インスタント麺」（38.1%）、「乾パン」（35.9%）、常備薬（33.5%）、救急箱（30.5%）などの順となっている。



【年齢別】

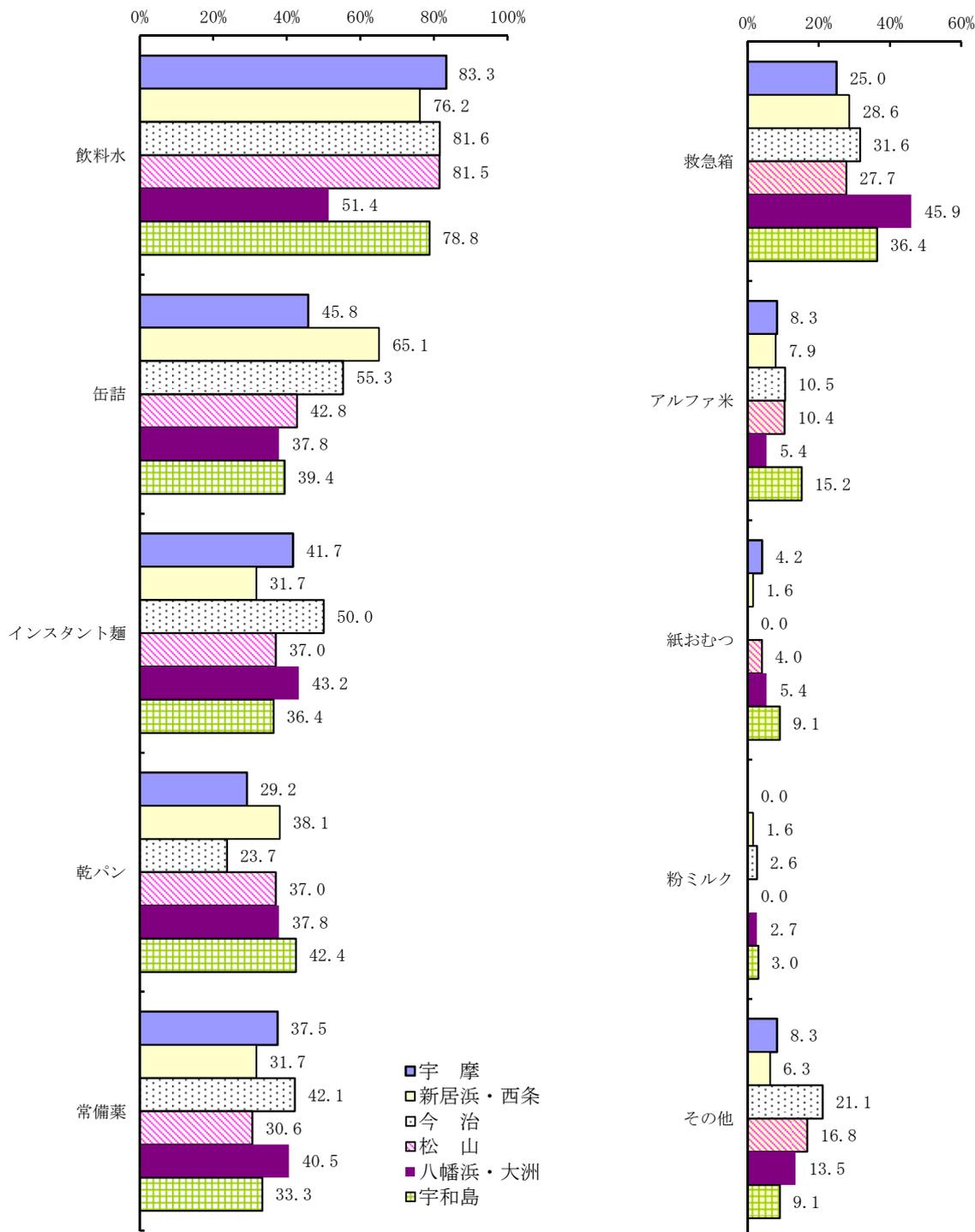
年齢別にみると、全ての年齢層で「飲料水」と答えた人の割合が最も多く、特に40歳代（83.6%）で他の年齢層と比較して多くなっている。70歳代では「乾パン」と答えた人の割合は46.4%と他の年齢層と比較して特に多く、30歳代では「紙おむつ」が特に多くなっている。



【生活圏域別】

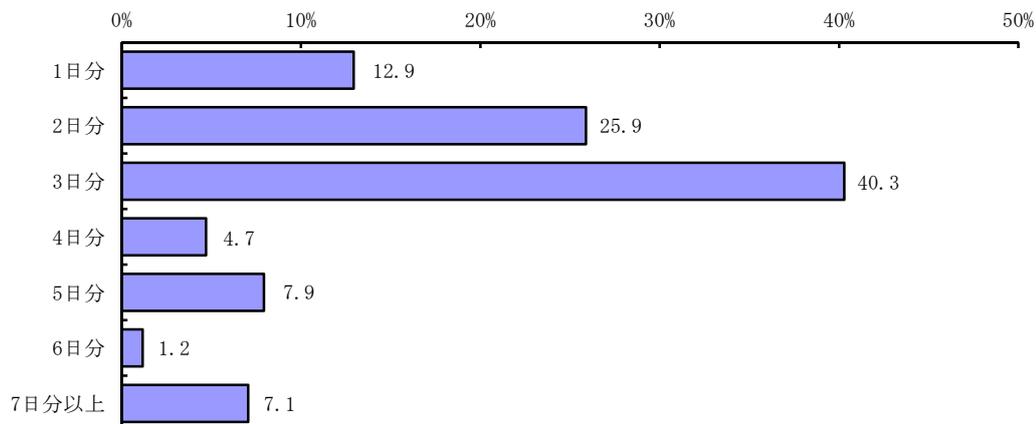
生活圏域別にみると、全ての圏域で「飲料水」と答えた人の割合が最も多いが、八幡浜・大洲圏域（51.4%）では他の圏域と比較すると大幅に少なくなっている。

また、「缶詰」と答えた人の割合は、新居浜・西条圏域（65.1%）で他の圏域と比較して多く、「救急箱」は、八幡浜・大洲圏域で45.9%で比較的多い。



《災害に備えて備蓄しているものの量》

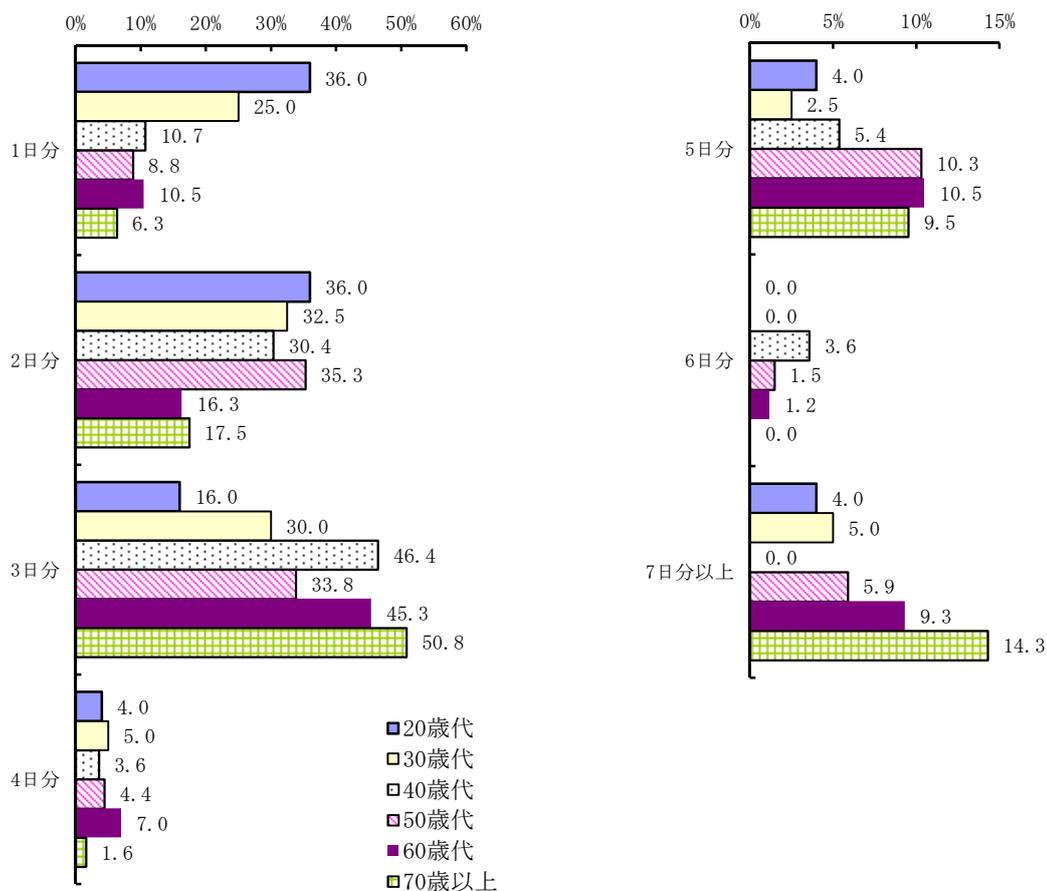
「飲料水」、「アルファ米」、「缶詰」、「乾パン」、「インスタント麺」、「粉ミルク」を準備（備蓄）していると答えた人に、何日分かを聞いたところ、「3日分」と答えた人の割合が40.3%で最も多く、以下「2日分」（25.9%）、「1日分」（12.9%）などの順となっている。



【年齢別】

年齢別にみると、「3日分」と答えた人の割合は、40歳代（46.4%）、60歳代（45.3%）及び70歳以上（50.8%）で最も多く、30歳代、50歳代では「2日分」が最も多く、20歳代では「1日分」及び「2日分」が同率で最も多い。

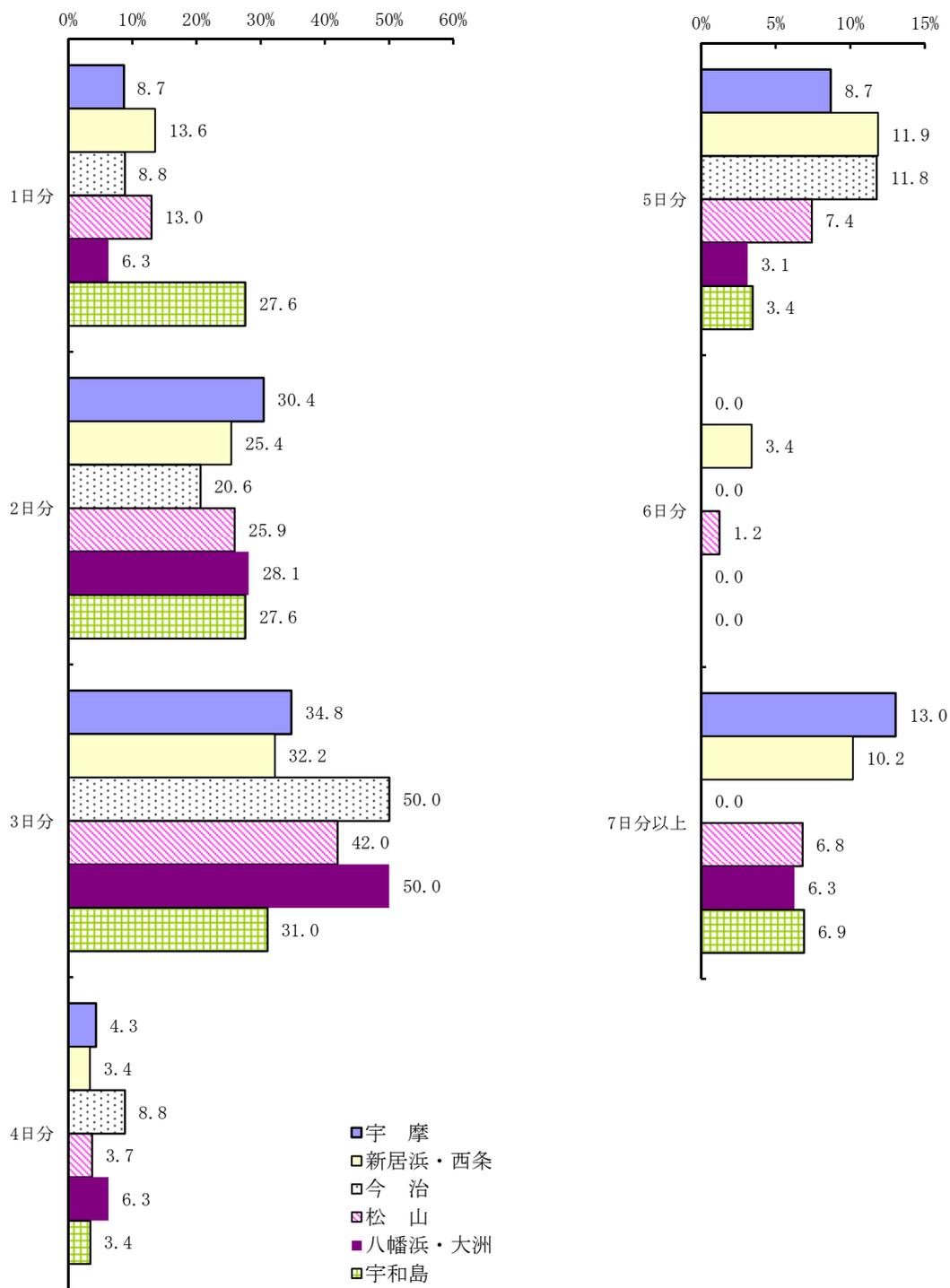
また、50歳代以上では、「5日分」と答えた人の割合が40歳代以下と比較して特に多くなっている。



【生活圏域別】

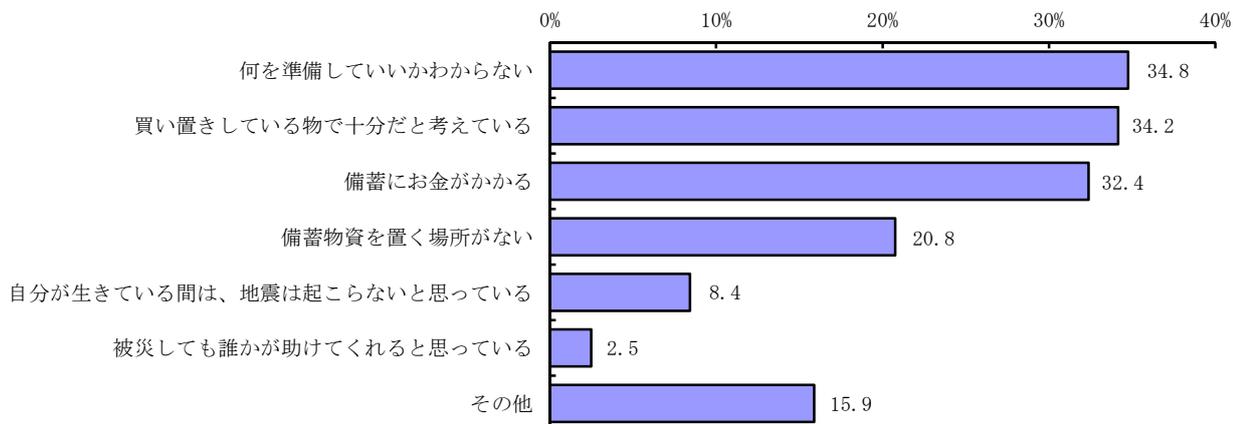
生活圏域別にみると、全ての圏域で「3日分」と答えた人の割合が最も多く、続いて全ての圏域で「2日分」が多い（宇和島圏域では「1日分」と同率）。

また、宇和島圏域では「1日分」が他の圏域と比較して特に多く、新居浜・西条圏域及び今治圏域では「5日分」が比較的多い。



《災害に備えて備蓄していない理由》

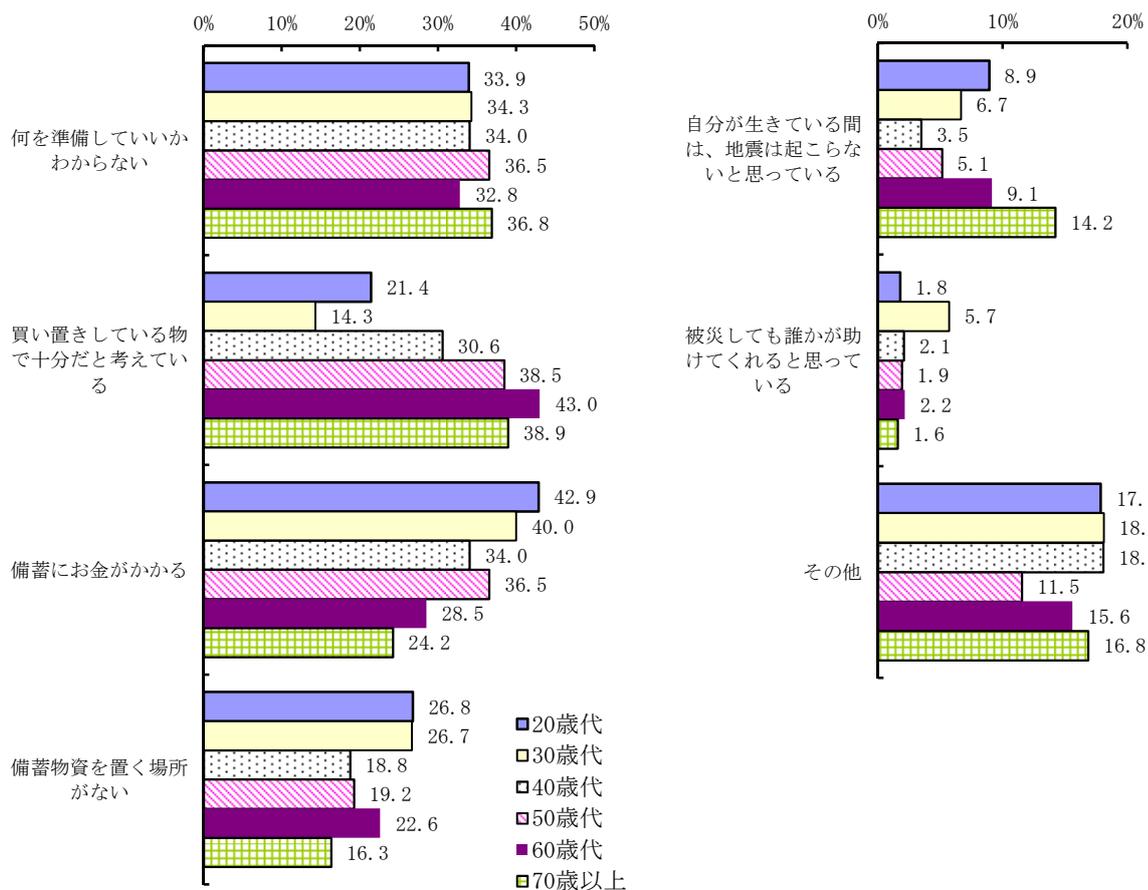
問34で「準備していない」と答えた人に理由を聞いたところ、「何を準備していいかわからない」と答えた人が34.8%で最も多く、以下「買い置きしている物で十分だと考えている」（34.2%）、「備蓄にお金がかかる」（32.4%）、「備蓄物資を置く場所がない」（20.8%）などの順となっている。



【年齢別】

年齢別にみると、50歳代以上では「買い置きしている物で十分だと考えている」と答えた人の割合が最も多く、20歳代及び30歳代では「備蓄にお金がかかる」、40歳代では「何を準備していいかわからない」及び「備蓄にお金がかかる」が同率で最も多くなっている。

また、「備蓄にお金がかかる」は概ね年齢が低くなるほど多くなっている。



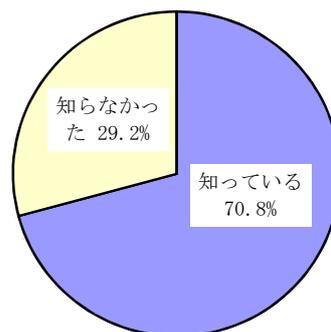
海外との姉妹提携

問35 ハワイ州との姉妹提携の認知度

平成25年11月、愛媛県と米国ハワイ州が、えひめ丸事故の慰霊をきっかけに姉妹提携を結んで10周年となりますが、愛媛県がハワイ州と姉妹提携をしていることを知っていますか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

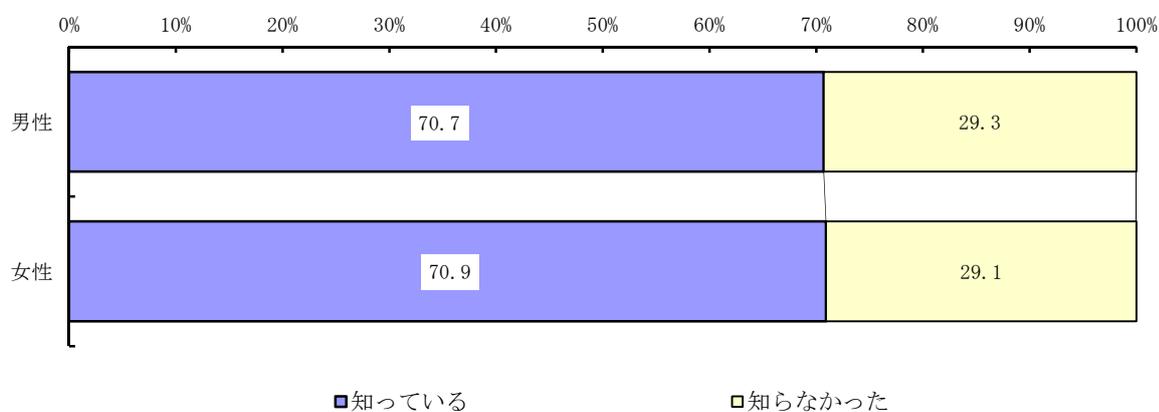
	(%)
1 知っている	70.8
2 知らなかった	29.2

愛媛県が米国ハワイ州と姉妹提携をしていることを知っているかを聞いたところ、「知っている」と答えた人の割合が70.8%、「知らなかった」が29.2%となっている。



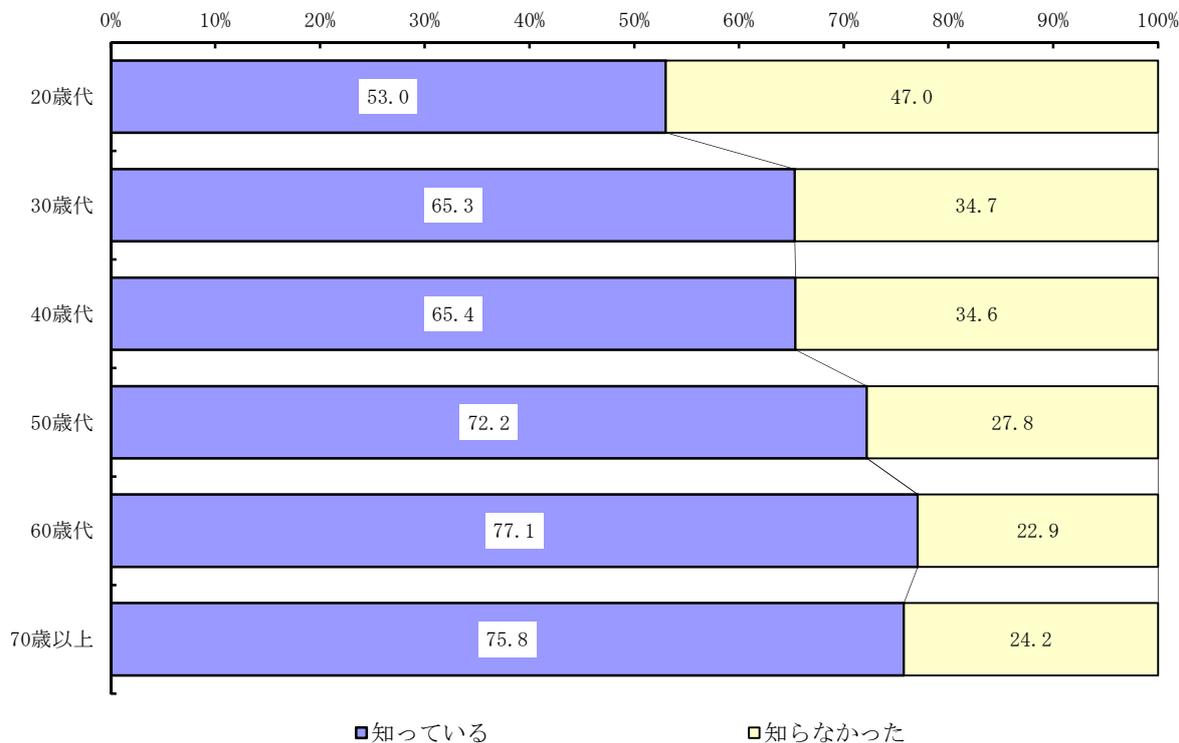
【性別】

性別にみると、「知っている」と答えた人の割合は、男性（70.7%）と女性（70.9%）はほぼ同率となっている。



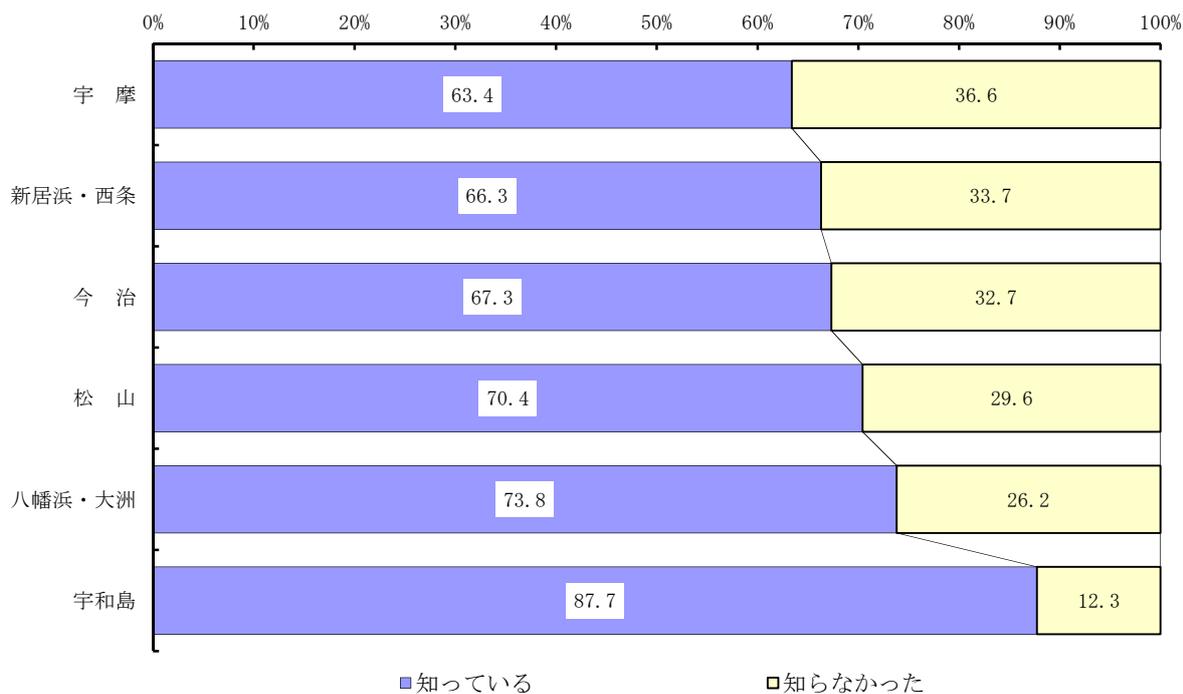
【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「知っている」と答えた人の割合が多く、60歳代（77.1%）で最も多くなっている。また、概ね年齢層が高くなるほど「知っている」と答えた人の割合が多くなっている。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、全ての圏域で「知っている」と答えた人の割合が多く、宇和島圏域（87.7%）で最も多く、宇摩圏域（63.4%）で最も少なくなっている。

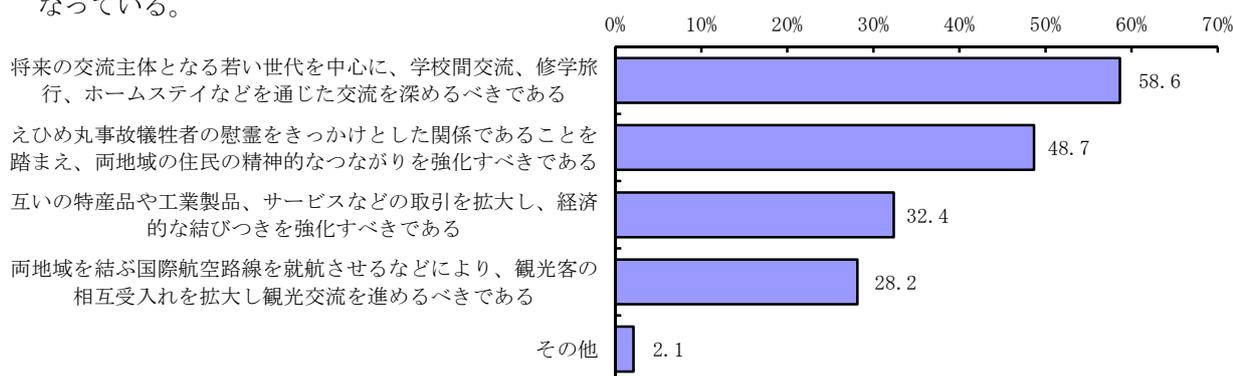


問35-1 ハワイ州との姉妹関係の進め方

今後、ハワイ州との姉妹関係をどのように進めていくべきだと思いますか。次の中から二つまで番号を○で囲んでください。

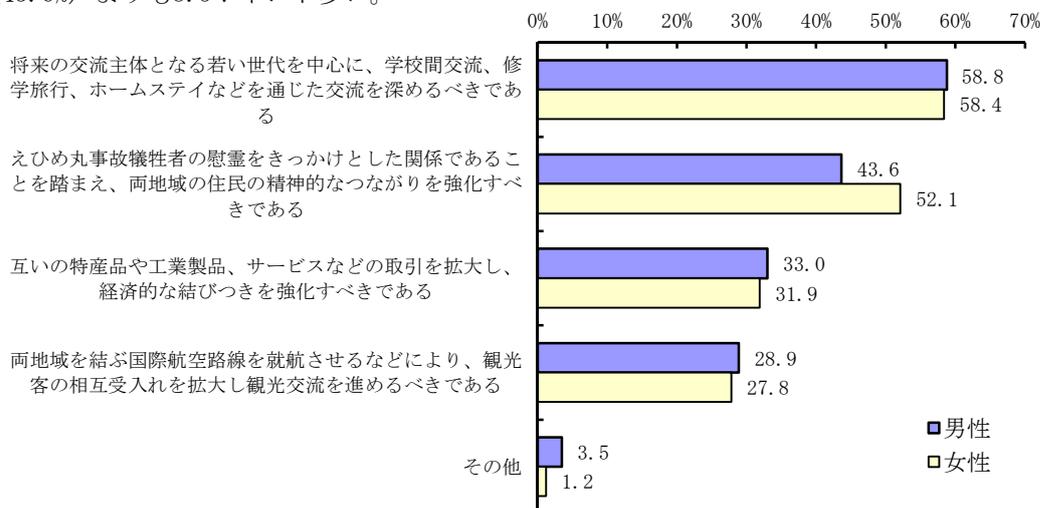
	(%)
1 えひめ丸事故犠牲者の慰霊をきっかけとした関係であることを踏まえ、両地域の住民の精神的なつながりを強化すべきである	48.7
2 両地域を結ぶ国際航空路線を就航させるなどにより、観光客の相互受入れを拡大し観光交流を進めるべきである	28.2
3 互いの特産品や工業製品、サービスなどの取引を拡大し、経済的な結びつきを強化すべきである	32.4
4 将来の交流主体となる若い世代を中心に、学校間交流、修学旅行、ホームステイなどを通じた交流を深めるべきである	58.6
5 その他	2.1

今後、ハワイ州との姉妹関係をどのように進めていくべきかを聞いたところ、「将来の交流主体となる若い世代を中心に、学校間交流、修学旅行、ホームステイなどを通じた交流を深めるべきである」と答えた人が58.6%で最も多く、以下「えひめ丸事故犠牲者の慰霊をきっかけとした関係であることを踏まえ、両地域の住民の精神的なつながりを強化すべきである」（48.7%）、「互いの特産品や工業製品、サービスなどの取引を拡大し、経済的な結びつきを強化すべきである」（32.4%）などの順となっている。



【性別】

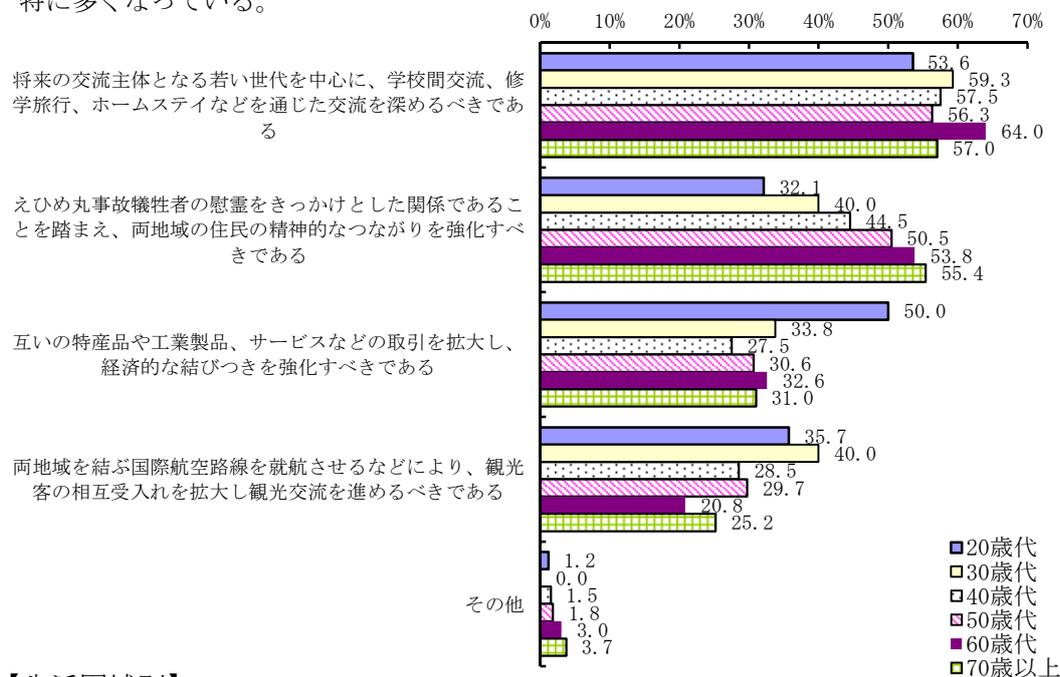
性別にみると、「将来の交流主体となる若い世代を中心に、学校間交流、修学旅行、ホームステイなどを通じた交流を深めるべきである」と答えた人の割合が、男性（58.8%）と女性（58.4%）の割合がほぼ同率で最も多い。「えひめ丸事故犠牲者の慰霊をきっかけとした関係であることを踏まえ、両地域の住民の精神的なつながりを強化すべきである」と答えた人の割合は、女性（52.1%）の方が男性（43.6%）よりも8.5ポイント多い。



【年齢別】

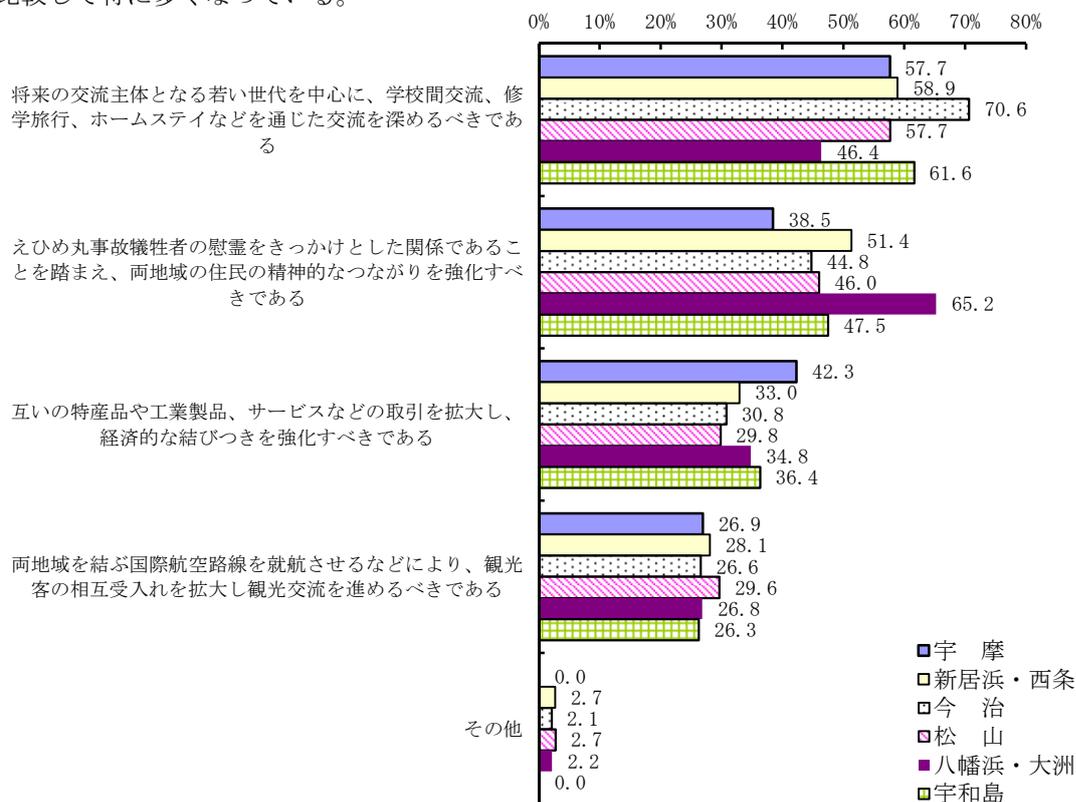
年齢別にみると、全ての年齢層で「将来の交流主体となる若い世代を中心に、学校間交流、修学旅行、ホームステイなどを通じた交流を深めるべきである」と答えた人の割合が最も多い。

また、「えひめ丸事故犠牲者の慰霊をきっかけとした関係であることを踏まえ、両地域の住民の精神的なつながりを強化すべき」は、年齢層が高くなるほど多く、「互いの特産品や工業製品、サービスなどの取引を拡大し、経済的な結びつきを強化すべきである」は、20歳代で他の年齢層と比較して特に多くなっている。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、「将来の交流主体となる若い世代を中心に、学校間交流、修学旅行、ホームステイなどを通じた交流を深めるべきである」と答えた人の割合は、今治圏域（70.6%）及び宇和島圏域（61.6%）で最も多く、八幡浜・大洲圏域では「えひめ丸事故犠牲者の慰霊をきっかけとした関係であることを踏まえ、両地域の住民の精神的なつながりを強化すべきである」と答えた人が他の圏域と比較して特に多くなっている。

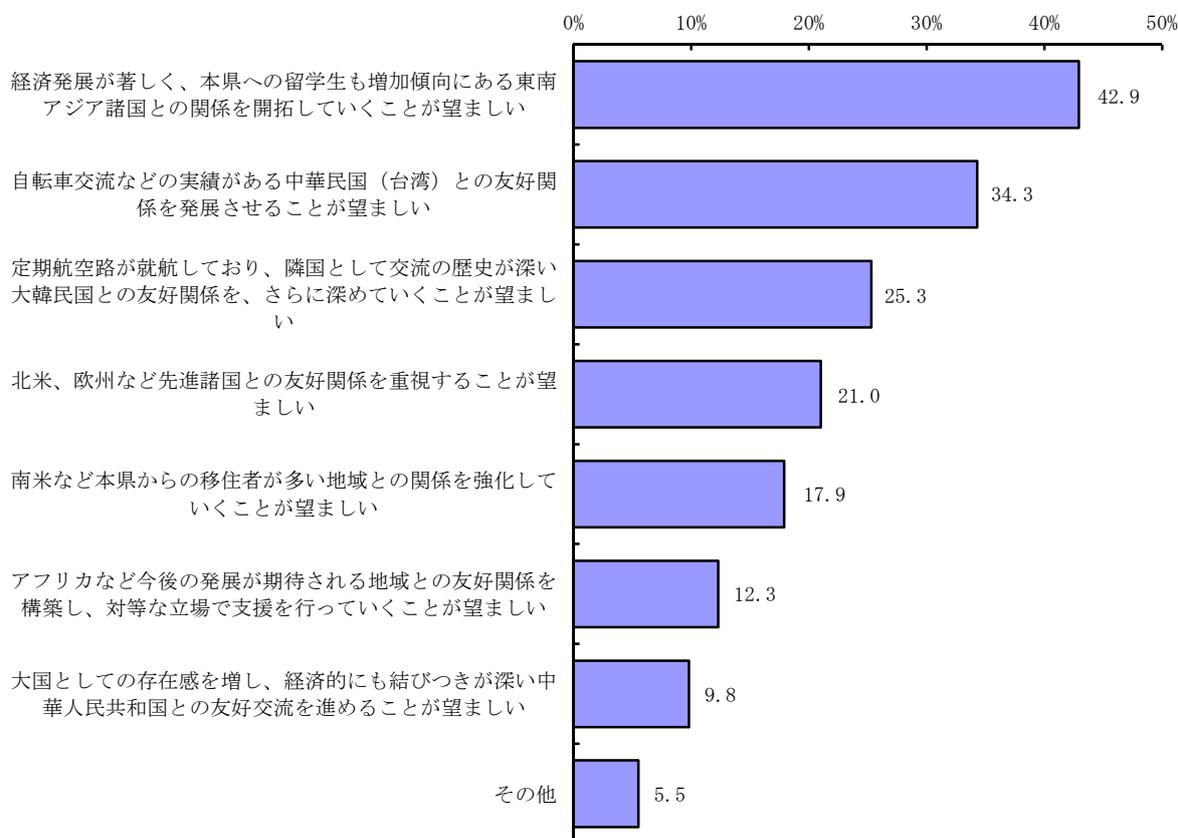


問35-2 ハワイ州以外の海外との友好関係（姉妹提携）

ハワイ州以外の海外との友好関係（姉妹提携）についてどのようにすべきだと思いますか。次の中から二つまで選んで番号を○で囲んでください。

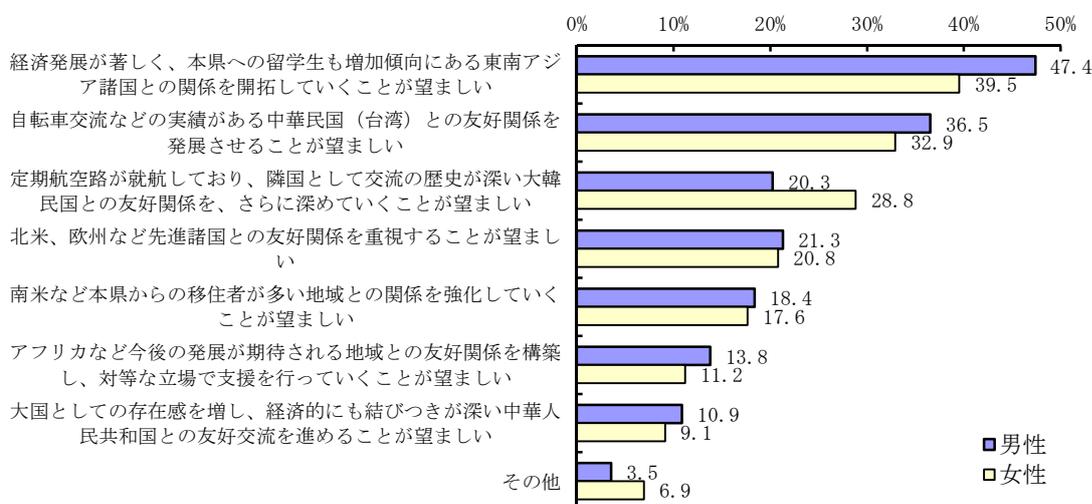
	(%)
1 定期航空路が就航しており、隣国として交流の歴史が深い大韓民国との友好関係を、さらに深めていくことが望ましい	25.3
2 大国としての存在感を増し、経済的にも結びつきが深い中華人民共和国との友好交流を進めることが望ましい	9.8
3 自転車交流などの実績がある中華民国（台湾）との友好関係を発展させることが望ましい	34.3
4 経済発展が著しく、本県への留学生も増加傾向にある東南アジア諸国との関係を開拓していくことが望ましい	42.9
5 北米、欧州など先進諸国との友好関係を重視することが望ましい	21.0
6 アフリカなど今後の発展が期待される地域との友好関係を構築し、対等な立場で支援を行っていくことが望ましい	12.3
7 南米など本県からの移住者が多い地域との関係を強化していくことが望ましい	17.9
8 その他	5.5

ハワイ州以外の海外との友好関係（姉妹提携）についてどのようにすべきか聞いたところ、「経済発展が著しく、本県への留学生も増加傾向にある東南アジア諸国との関係を開拓していくことが望ましい」と答えた人が42.9%で最も多く、以下「自転車交流などの実績がある中華民国（台湾）との友好関係を発展させることが望ましい」（34.3%）、「定期航空路が就航しており、隣国として交流の歴史が深い大韓民国との友好関係を、さらに深めていくことが望ましい」（25.3%）などの順となっている。



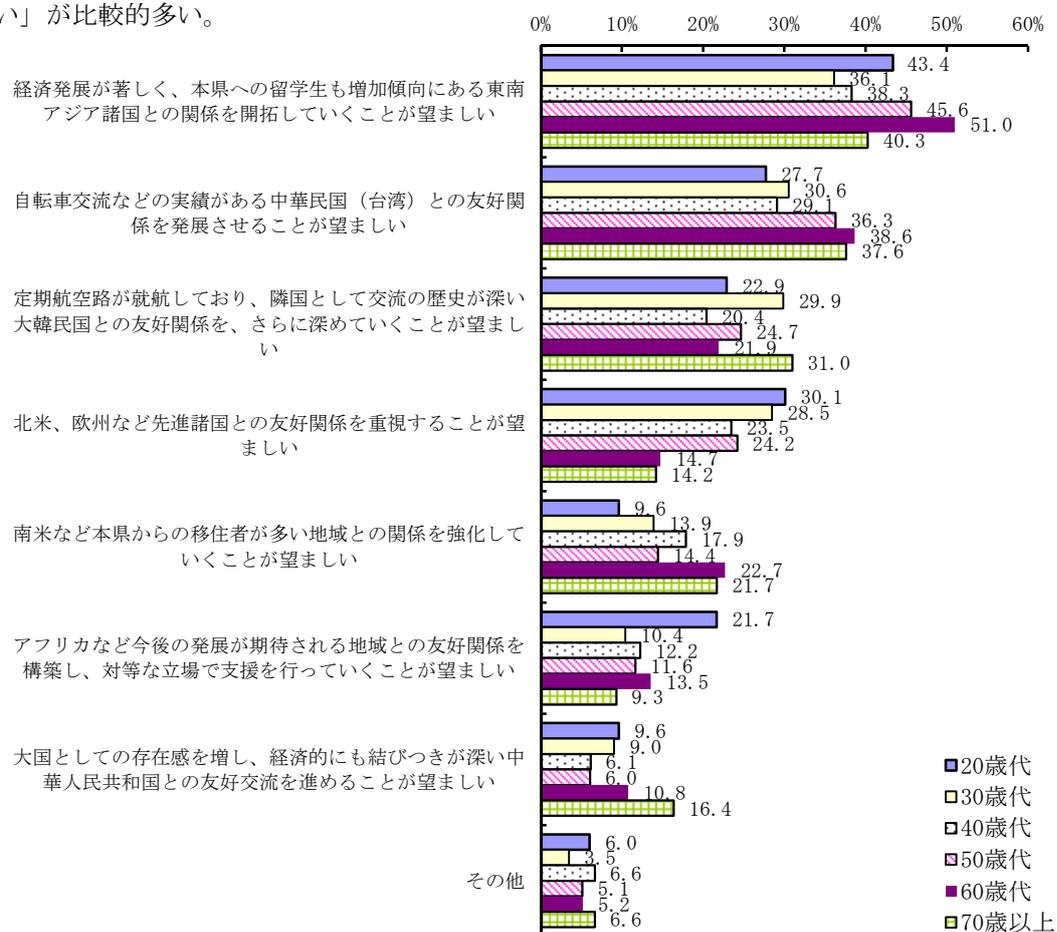
【性別】

性別にみると、男女共に「経済発展が著しく、本県への留学生も増加傾向にある東南アジア諸国との関係を開拓していくことが望ましい」と答えた人の割合が最も多く、男性（47.4%）の方が女性（39.5%）より7.9ポイント多くなっている。「定期航空路が就航しており、隣国として交流の歴史が深い大韓民国との友好関係を、さらに深めていくことが望ましい」と答えた人の割合は、女性（28.8%）の方が男性（20.3%）よりも8.5ポイント多い。



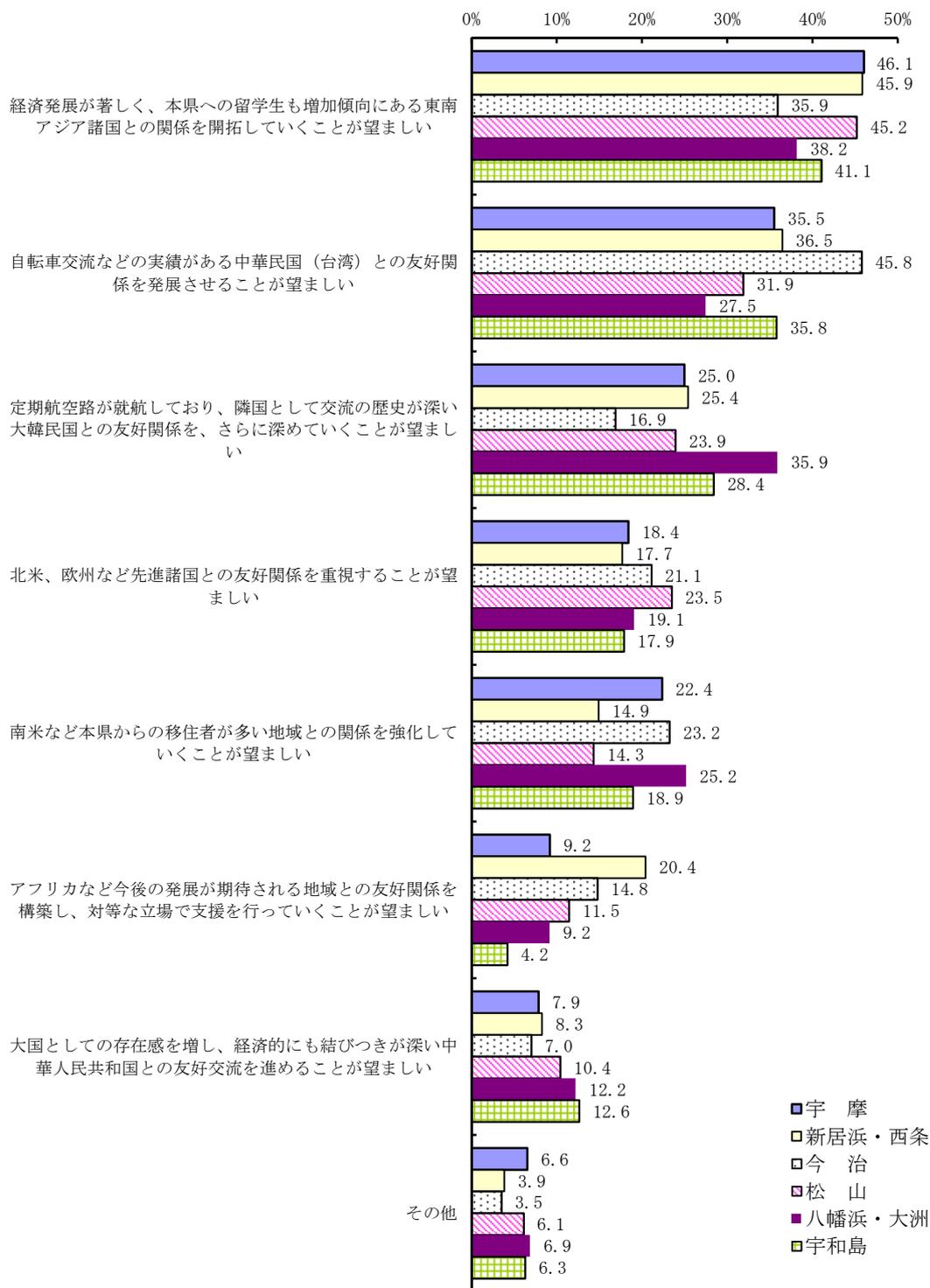
【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「経済発展が著しく、本県への留学生も増加傾向にある東南アジア諸国との関係を開拓していくことが望ましい」と答えた人の割合が最も多い。50歳代以上では「自転車交流などの実績がある中華民国（台湾）との友好関係を発展させることが望ましい」が他の年齢層と比較して多く、30歳代以下では「北米、欧州など先進諸国との友好関係を重視することが望ましい」が比較的多い。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、今治圏域を除く全ての圏域で「経済発展が著しく、本県への留学生も増加傾向にある東南アジア諸国との関係を開拓していくことが望ましい」と答えた人の割合が最も多く、今治圏域では「自転車交流などの実績がある中華民国（台湾）との友好関係を発展させることが望ましい」が最も多くなっている。八幡浜・大洲圏域では「定期航空路が就航しており、隣国として交流の歴史が深い大韓民国との友好関係を、さらに深めていくことが望ましい」が他の圏域と比較して多い。

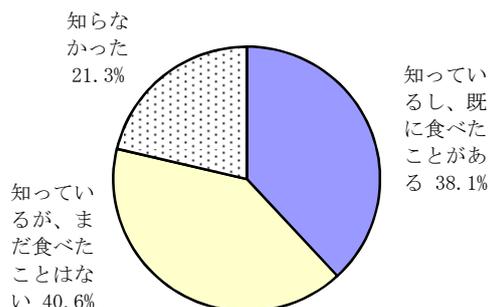


「愛媛甘とろ豚」の周知度
問36 「愛媛甘とろ豚」の認知度

県が開発した「愛媛甘とろ豚」は、平成22年4月23日から発売されています。あなたは、この「愛媛甘とろ豚」を知っていますか。また、食べたことがありますか。次の中から**一つ選んで**番号を○で囲んでください。

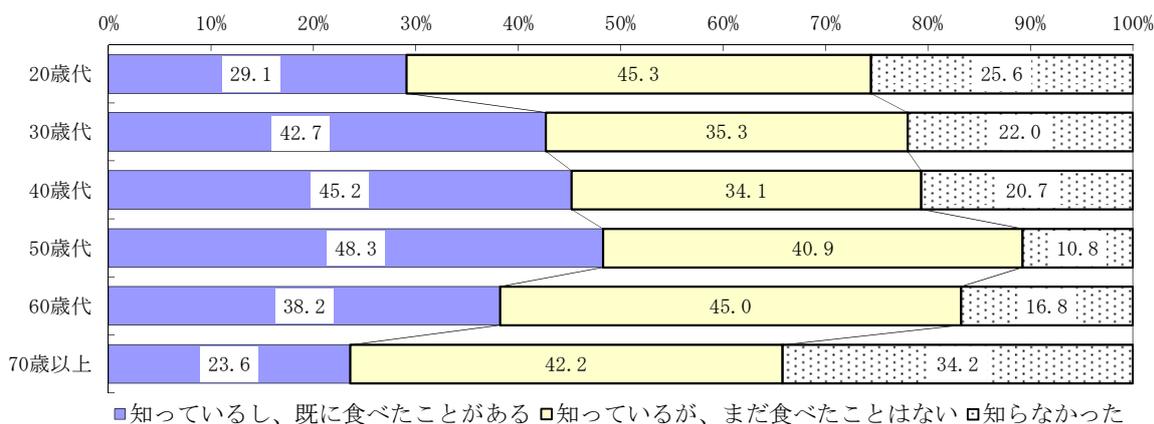
- | | |
|---|------|
| | (%) |
| 1 「愛媛甘とろ豚」のことは知っているし、既に食べたことがある | 38.1 |
| 2 「愛媛甘とろ豚」のことは知っている（聞いたことはある）が、まだ食べたことはない | 40.6 |
| 3 「愛媛甘とろ豚」という豚があることを知らなかった | 21.3 |

「愛媛甘とろ豚」を知っているか、また、食べたことがあるかを聞いたところ、「知っているが、まだ食べたことはない」と答えた人の割合が40.6%と最も多く、以下「知っているし、既に食べたことがある」（38.1%）、「知らなかった」（21.3%）の順となっている。



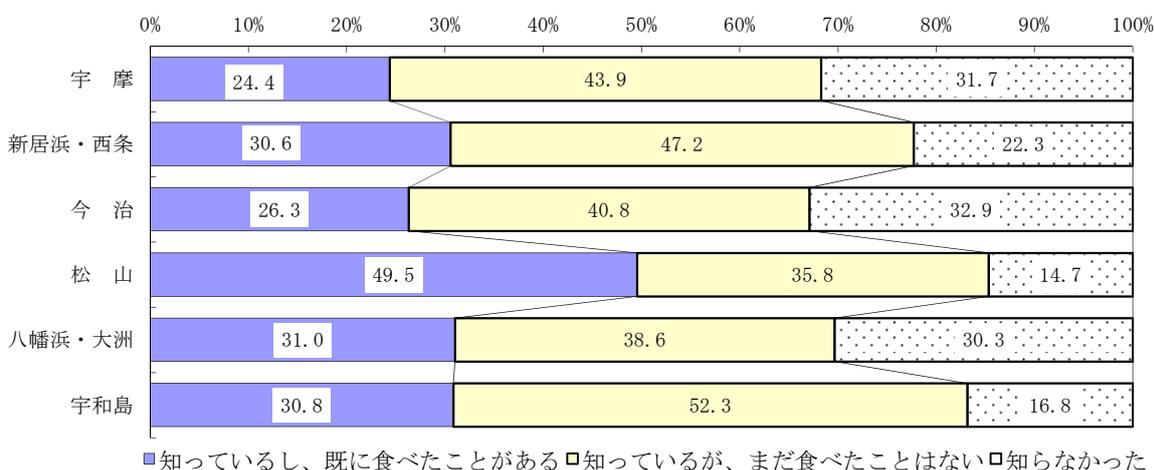
【年齢別】

年齢別にみると「知っているし、既に食べたことがある」と答えた人の割合は、30歳代から50歳代で他の年齢層と比較すると比較的多く、「知っているが、まだ食べたことはない」は20歳代及び60歳代で多くなっている。「知らなかった」と答えた人の割合は、70歳以上(34.2%)で特に多い。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、松山圏域で「知っているし、既に食べたことがある」と答えた人の割合が49.5%で最も多く、他の圏域は「知っているが、まだ食べたことはない」が最も多くなっている。「知らなかった」と答えた人の割合は、松山圏域(14.7%)及び宇和島圏域(16.8%)で特に少ない。



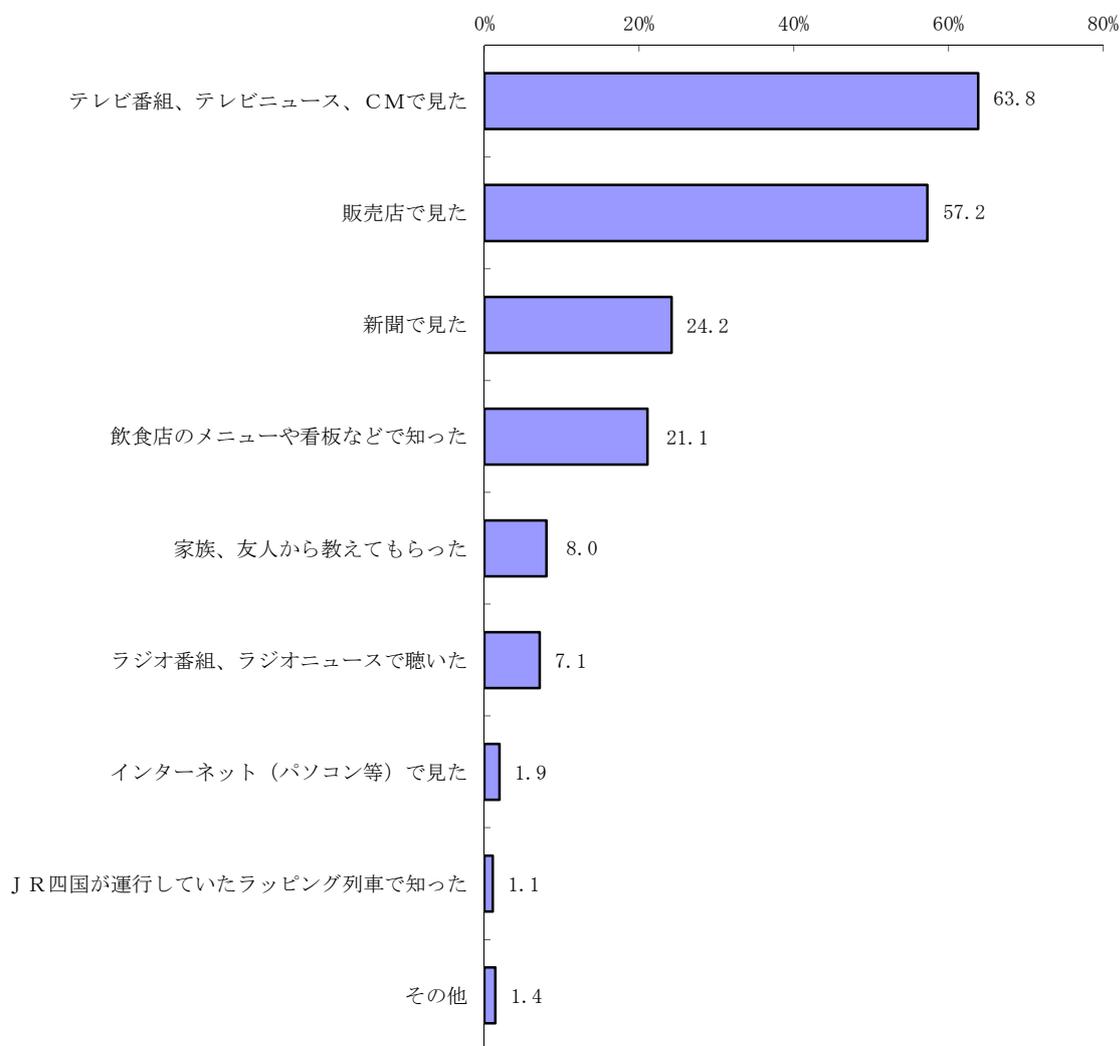
問36-1 「愛媛甘とろ豚」を知った方法

あなたは、「愛媛甘とろ豚」をどこで知りましたか。次の中からいくつでも選んで番号を○で囲んでください。

(回答者＝926人) (複数回答) (%)

1	新聞で見た	24.2
2	テレビ番組、テレビニュース、CMで見た	63.8
3	ラジオ番組、ラジオニュースで聴いた	7.1
4	インターネット（パソコン等）で見た	1.9
5	販売店（百貨店、スーパー、精肉店）で見た	57.2
6	飲食店のメニューや看板などで知った	21.1
7	J R 四国が運行していたラッピング列車で知った	1.1
8	家族、友人から教えてもらった	8.0
9	その他	1.4

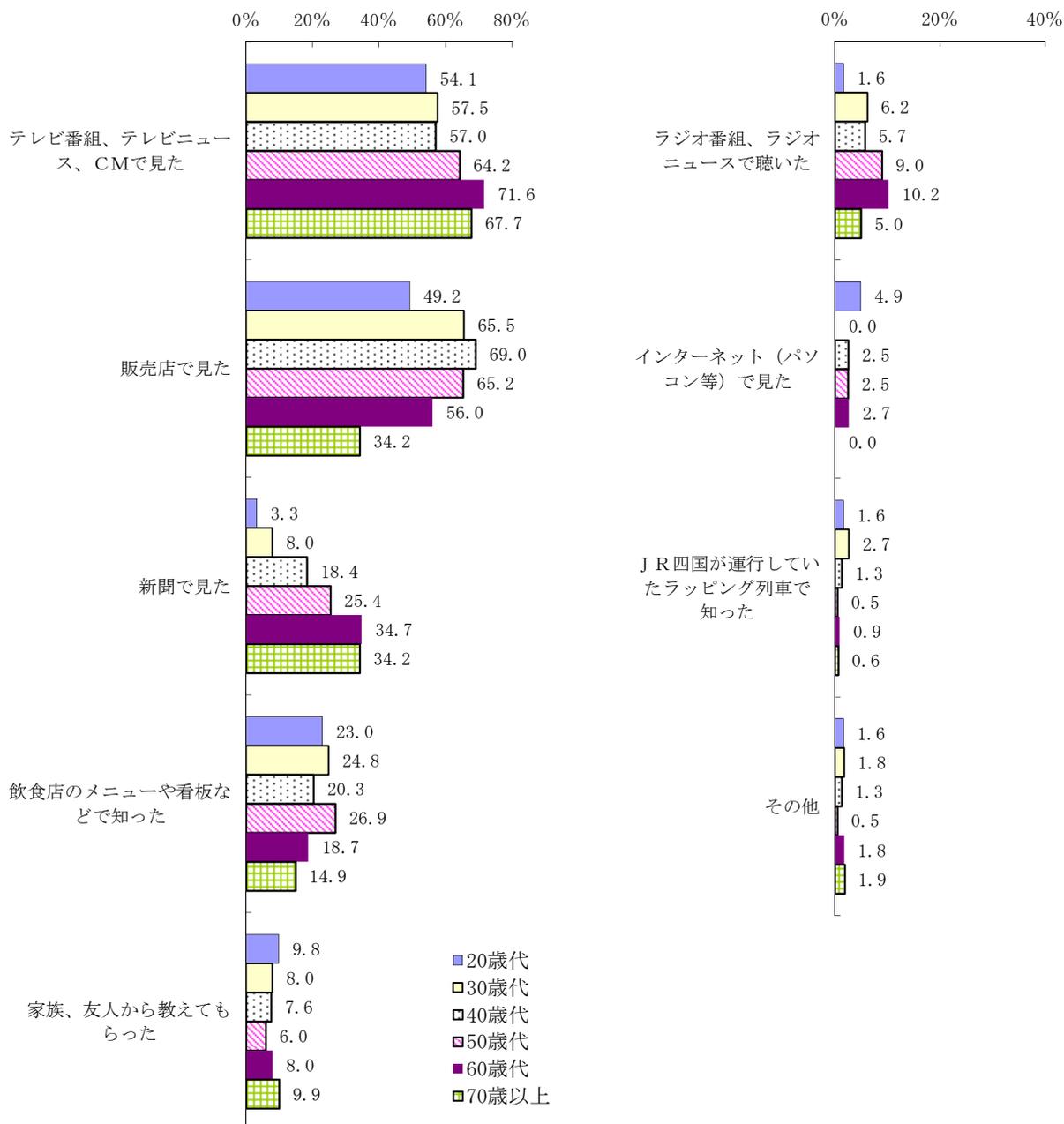
「愛媛甘とろ豚」をどこで知ったかを聞いたところ、「テレビ番組、テレビニュース、CMで見た」と答えた人の割合が63.8%と最も多く、以下「販売店（百貨店、スーパー、精肉店）で見た」（57.2%）、「新聞で見た」（24.2%）、「飲食店のメニューや看板などで知った」（21.1%）などの順となっている。



【年齢別】

年齢別にみると、「テレビ番組、テレビニュース、CMで見た」と答えた人の割合が、20歳代（54.1%）、60歳代（71.6%）及び70歳以上（67.7%）で最も多く、「販売店で見た」が30歳代（65.5%）、40歳代（69.0%）、50歳代（65.2%）で最も多くなっている。

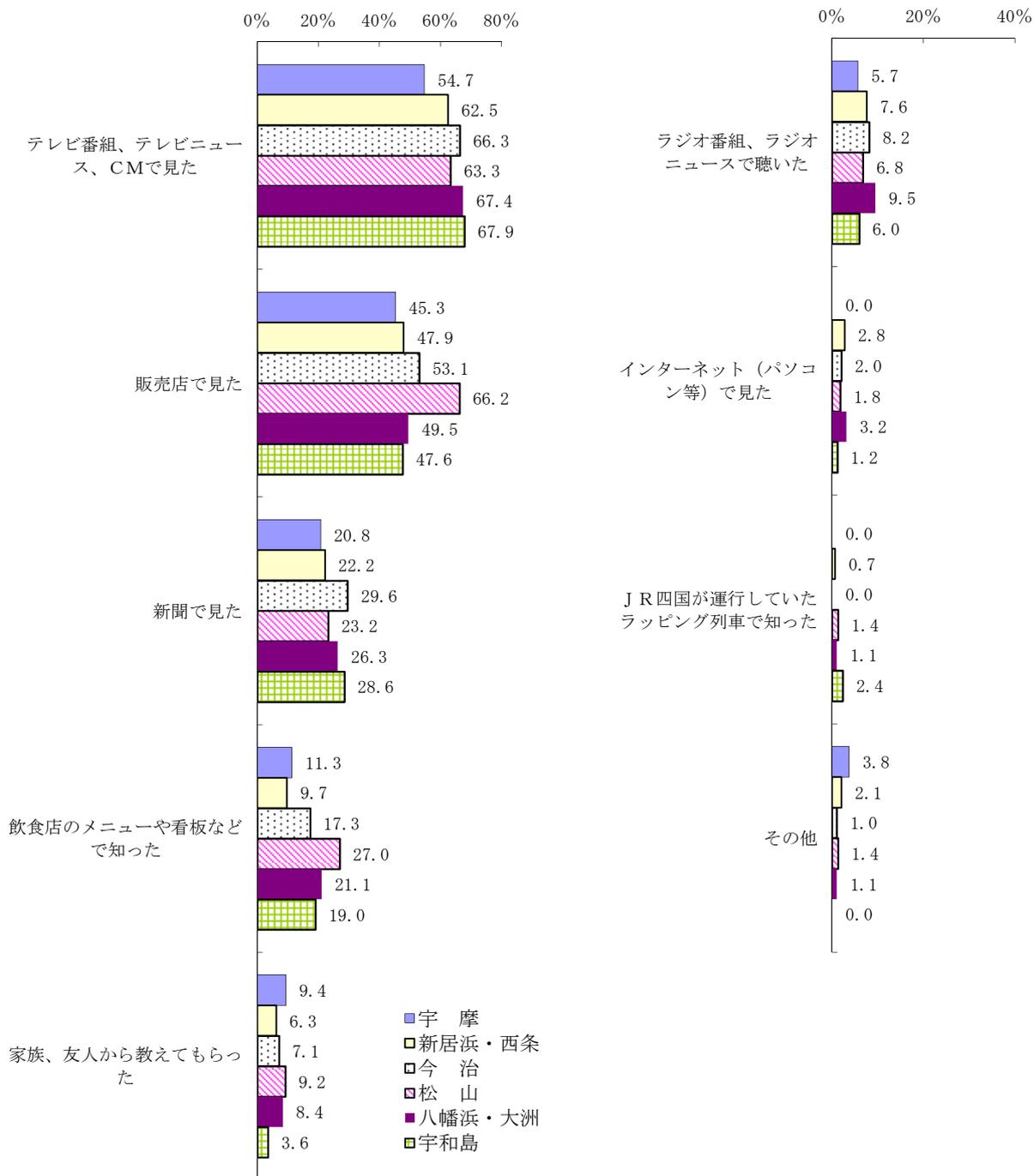
また、「新聞で見た」と答えた人の割合は、概ね年齢層が高くなるほど多く、20歳代（3.3%）では他の年齢層と比較して特に少なくなっている。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、松山圏域では「販売店で見た」（66.2%）と答えた人の割合が最も多く、その他の圏域では「テレビ番組、テレビニュース、CMで見た」が最も多い。

また、「飲食店のメニューや看板などで知った」（27.0%）と答えた人の割合は、松山圏域で他の圏域と比較して多くなっている。



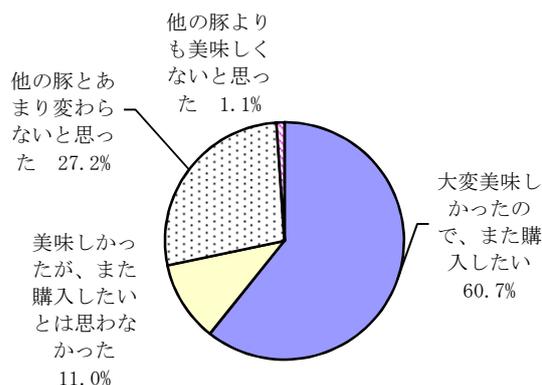
問36-2 「愛媛甘とろ豚」を食べた感想

あなたは、「愛媛甘とろ豚」を食べて、どのように感じましたか。次の中から一つ選
んで番号を○で囲んでください。

(回答者 = 463人) (%)

- | | |
|--|------|
| 1 大変美味しかったので、また購入したい (又は食べに行きたい) と思った | 60.7 |
| 2 美味しかったが、また購入したい (又は食べに行きたい) とは思わなかった | 11.0 |
| 3 他の豚とあまり変わらないと思った | 27.2 |
| 4 他の豚よりも美味しくないと思った | 1.1 |

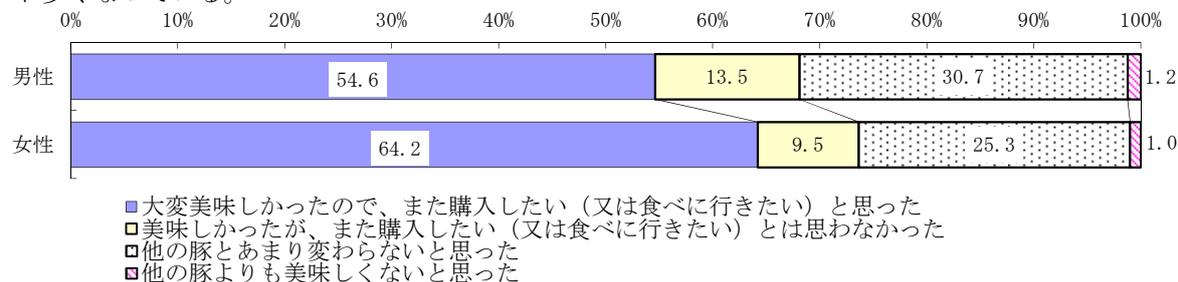
「愛媛甘とろ豚」を食べて、どのように感じたかを聞いたところ、「大変美味しかったので、また購入したい (又は食べに行きたい) と思った」と答えた人の割合が60.7%と最も多く、以下「他の豚とあまり変わらないと思った」(27.2%)、「美味しかったが、また購入したい (又は食べに行きたい) とは思わなかった」(11.0%)、「他の豚よりも美味しくないと思った」(1.1%)の順となっている。



【性別】

性別にみると、男女共に「大変美味しかったので、また購入したい (又は食べに行きたい) と思った」と答えた人の割合が最も多く、特に女性 (64.2%) の方が男性 (54.6%) より9.6ポイント多くなっている。

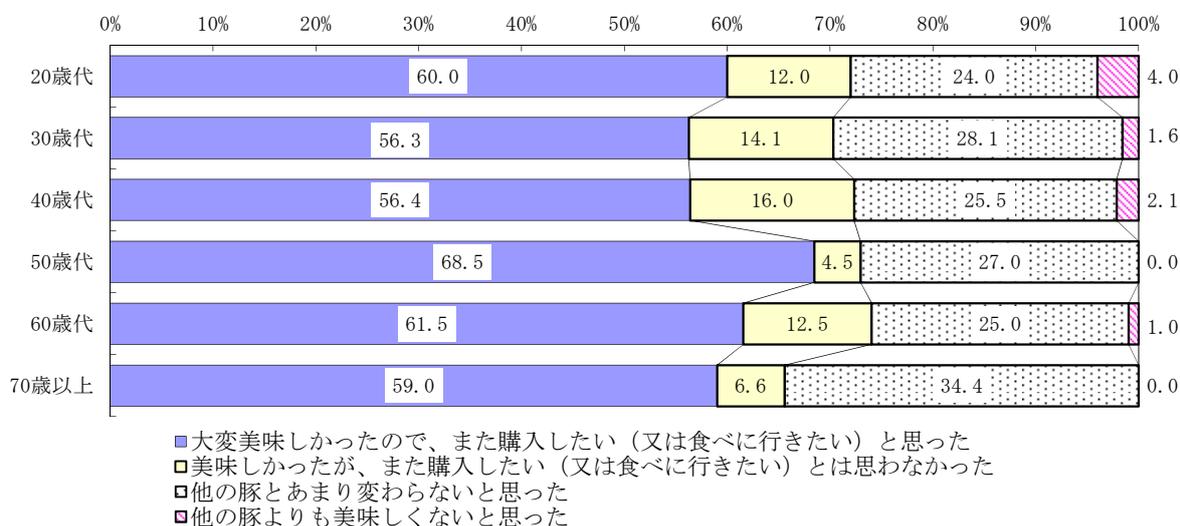
また、「他の豚とあまり変わらないと思った」は男性 (30.7%) の方が女性 (25.3%) より5.4ポイント多くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「大変美味しかったので、また購入したい (又は食べに行きたい) と思った」と答えた人の割合が最も多く、中でも50歳代が68.5%で最も多くなっている。

また、「他の豚とあまり変わらないと思った」と答えた人の割合は、70歳以上で他の年齢層と比較して特に多くなっている。



問36-3 「愛媛甘とろ豚」は美味しかったが、また食べたいとは思わない理由

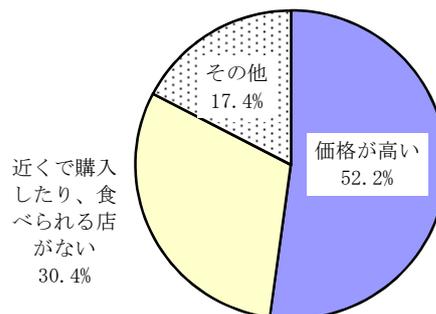
「愛媛甘とろ豚」は美味しかったが、また購入したい（又は食べに行きたい）とは思わなかった理由について、最も当てはまるものを次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

(回答者 = 46人 (注1)) (%)

- | | | |
|---|--------------------|------|
| 1 | 価格が高い | 52.2 |
| 2 | 近くで購入したり、食べられる店がない | 30.4 |
| 3 | その他 | 17.4 |

(注) 母数が少ないため、性別、年齢別等のクロス集計は省略

「愛媛甘とろ豚」は美味しかったが、また購入したい（又は食べに行きたい）とは思わなかった理由について聞いたところ、「価格が高い」と答えた人の割合が52.2%と特に多く、以下「近くで購入したり、食べられる店がない」(30.4%)、「その他」(17.4%)の順となっている。



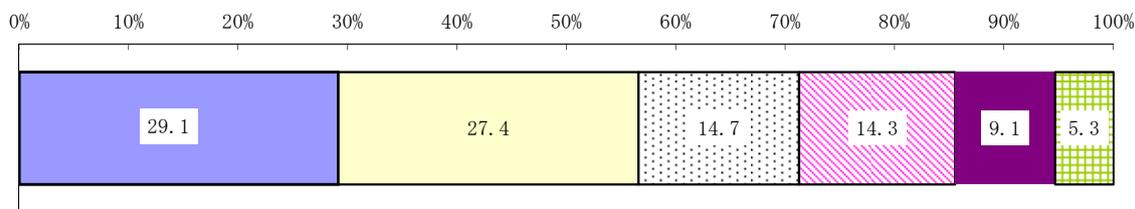
問36-4 「愛媛甘とろ豚」を食べたことがない理由

「愛媛甘とろ豚」を食べたことがない理由について、最も当てはまるものを次の中から一つ選んで番号を○でかこんでください。

(回答者 = 470人) (%)

- | | | |
|---|-------------------------------------|------|
| 1 | 価格が高い | 14.7 |
| 2 | 近くで購入したり、食べられる店がない | 14.3 |
| 3 | 「愛媛甘とろ豚」を取り扱っている販売店や飲食店がどこにあるかわからない | 27.4 |
| 4 | 豚肉のブランドや産地にはあまり関心がない | 29.1 |
| 5 | 豚肉が好きでない | 9.1 |
| 6 | その他 | 5.3 |

「愛媛甘とろ豚」を食べたことがない理由について聞いたところ、「豚肉のブランドや産地にはあまり関心がない」と答えた人の割合が29.1%と最も多く、以下「「愛媛甘とろ豚」を取り扱っている販売店や飲食店がどこにあるかわからない」(27.4%)、「価格が高い」(14.7%)、「近くで購入したり、食べられる店がない」(14.3%)などの順となっている。

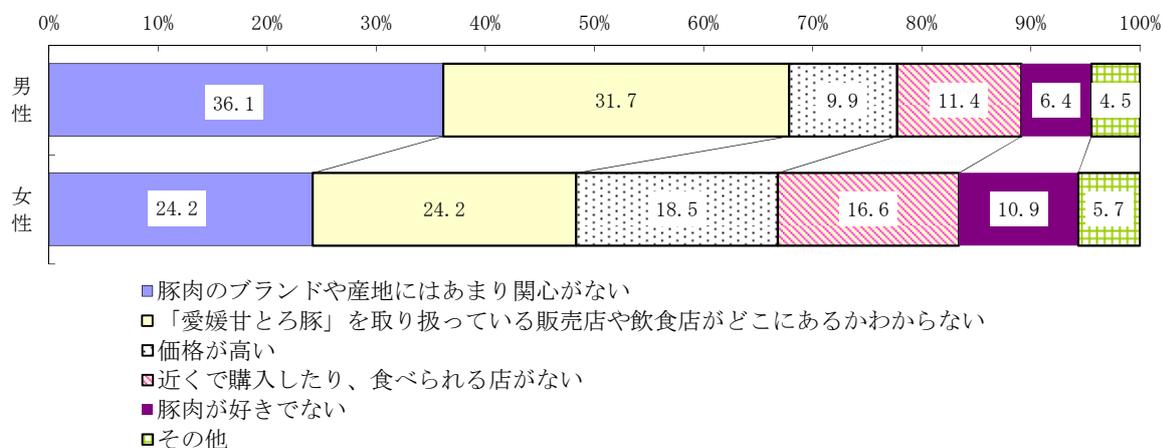


- 豚肉のブランドや産地にはあまり関心がない
- 「愛媛甘とろ豚」を取り扱っている販売店や飲食店がどこにあるかわからない
- 価格が高い
- 近くで購入したり、食べられる店がない
- 豚肉が好きでない
- その他

【性別】

性別にみると、男性は「豚肉のブランドや産地にはあまり関心がない」（36.1%）と答えた人の割合が最も多く、女性は「豚肉のブランドや産地にはあまり関心がない」と「愛媛甘とろ豚」を取り扱っている販売店や飲食店がどこにあるかわからない」が同率（24.2%）で最も多い。

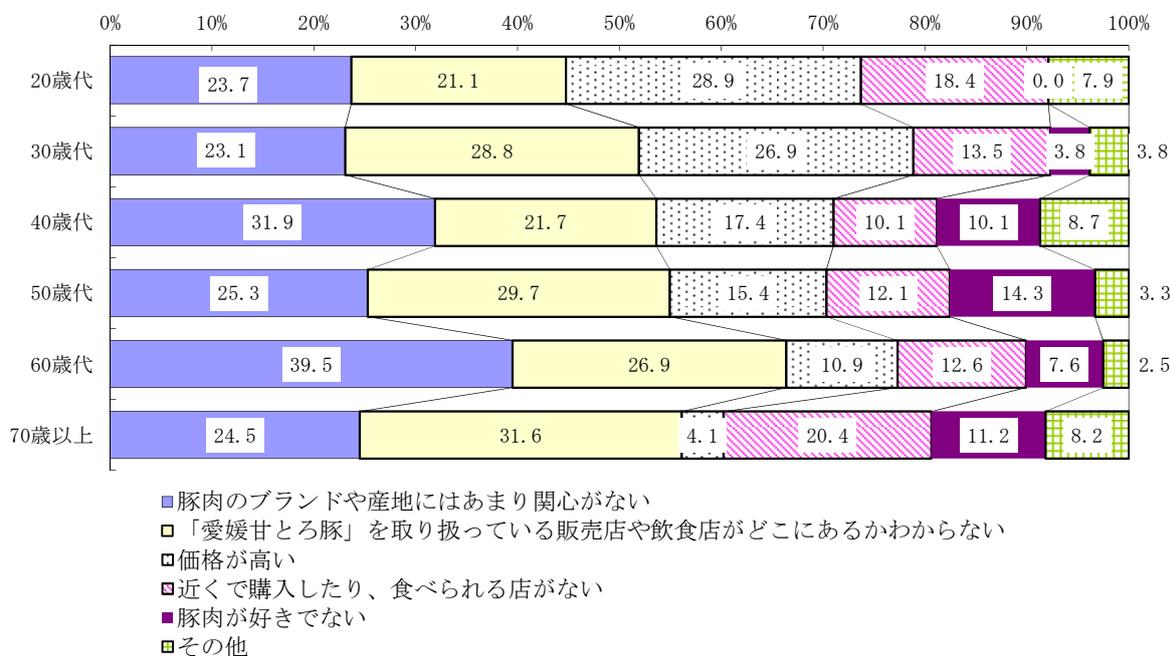
また、「愛媛甘とろ豚」を取り扱っている販売店や飲食店がどこにあるかわからない」と答えた人の割合は、男性の方が女性より7.5ポイント多く、「価格が高い」は女性の方が男性より8.6ポイント多くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、40歳代及び60歳代では「豚肉のブランドや産地にはあまり関心がない」と答えた人の割合が最も多く、30歳代、50歳代及び70歳以上では「愛媛甘とろ豚」を取り扱っている販売店や飲食店がどこにあるかわからない」、20歳代では「価格が高い」が最も多い。

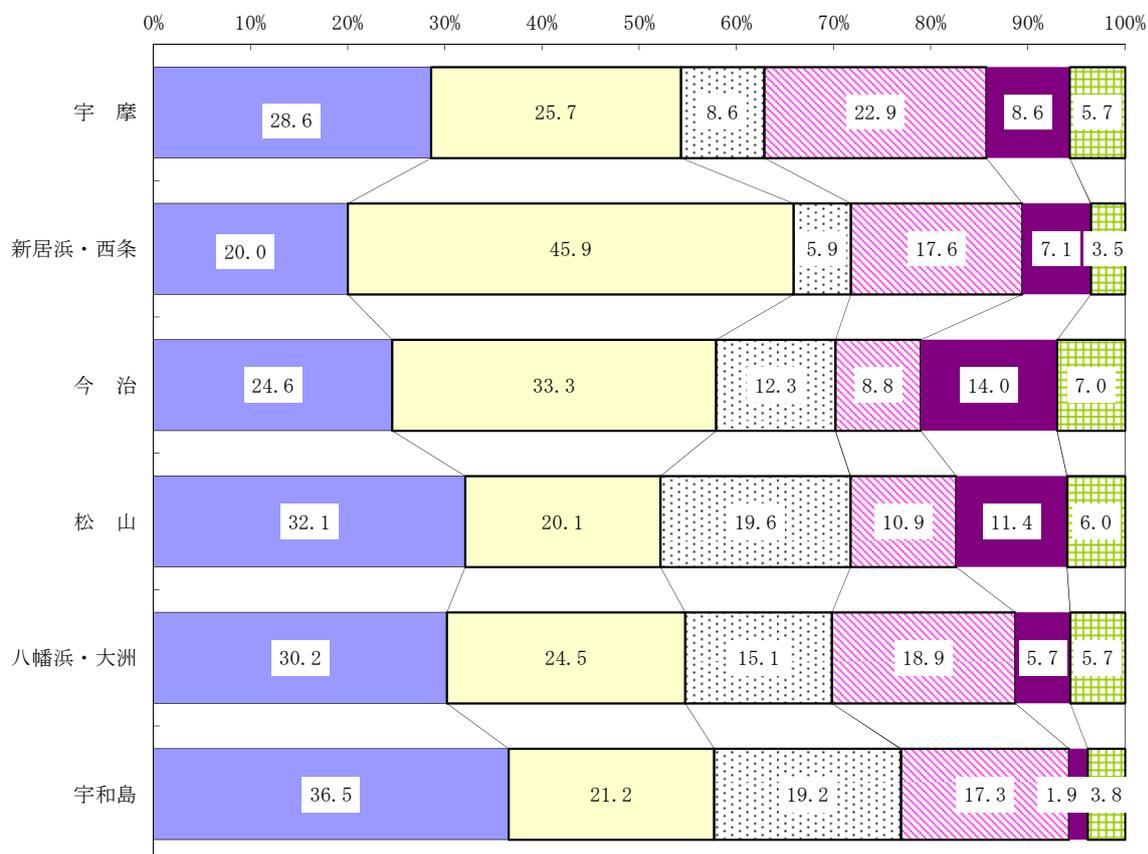
また、「価格が高い」は概ね年齢層が低くなるほど多くなっている。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、松山圏域及び南予地域（八幡浜・大洲、宇和島圏域）で「豚肉のブランドや産地にはあまり関心がない」と答えた人の割合が比較的多く、「価格が高い」は、東予地域（宇摩、新居浜・西条、今治圏域）で比較的少なくなっている。

また、「「愛媛甘とろ豚」を取り扱っている販売店や飲食店がどこにあるかわからない」と答えた人の割合は、新居浜・西条圏域（45.9%）で特に多い。



- 豚肉のブランドや産地にはあまり関心がない
- 「愛媛甘とろ豚」を取り扱っている販売店や飲食店がどこにあるかわからない
- 価格が高い
- 近くで購入したり、食べられる店がない
- 豚肉が好きでない
- その他

反射材の着用
問37 反射材の着用状況

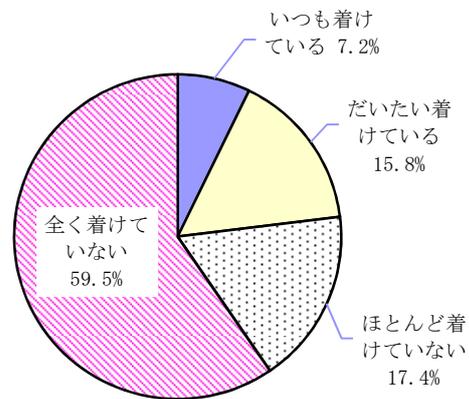
あなたは、夜間、歩いて外出する時は、交通事故の被害に遭わないため、反射材を身に着けていますか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

- | | | |
|---|------------|------|
| | | (%) |
| 1 | いつも着けている | 7.2 |
| 2 | だいたい着けている | 15.8 |
| 3 | ほとんど着けていない | 17.4 |
| 4 | 全く着けていない | 59.5 |

あなたは、どのような反射材であれば、いつも着けたいと思われませんか。次の中からいくつでも選んで番号を○で囲んでください。

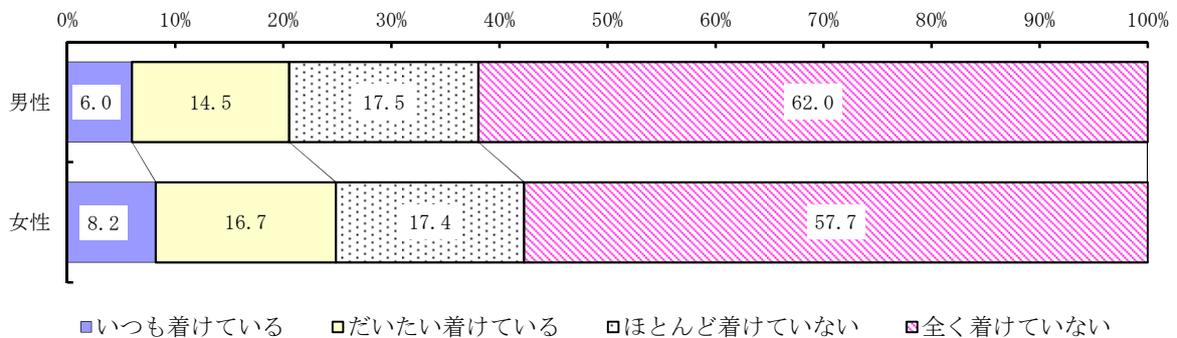
- | | | |
|---|-------------------|------------------------|
| | | (回答者= 884人) (複数回答) (%) |
| 1 | 肩から掛けるタスキ型 | 24.3 |
| 2 | 手首等に巻くリストバンド型 | 40.6 |
| 3 | かばん等に取り付けるキーホルダー型 | 29.0 |
| 4 | 靴等に貼り付けるシール型 | 22.3 |
| 5 | その他 | 13.1 |

夜間歩いて外出する時、交通事故の被害に遭わないため、反射材を身に着けているかを聞いたところ、「全く着けていない」と答えた人の割合が59.5%で最も多く、以下「ほとんど着けていない」(17.4%)、「だいたい着けている」(15.8%)、「いつも着けている」(7.2%)の順となっている。



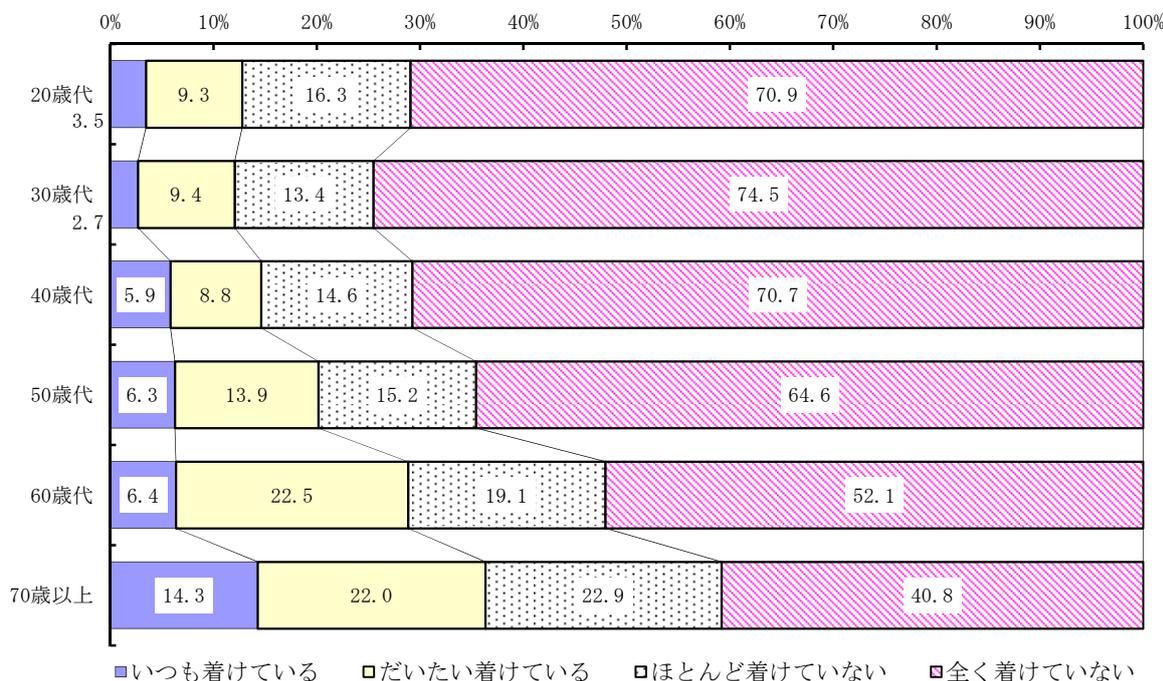
【性別】

性別にみると、男女共に「全く着けていない」と答えた人の割合が最も多く、「ほとんど着けていない」と「全く着けていない」と答えた人の割合の合計は、男性(79.5%)の方が女性(75.1%)より4.4ポイント多くなっている。



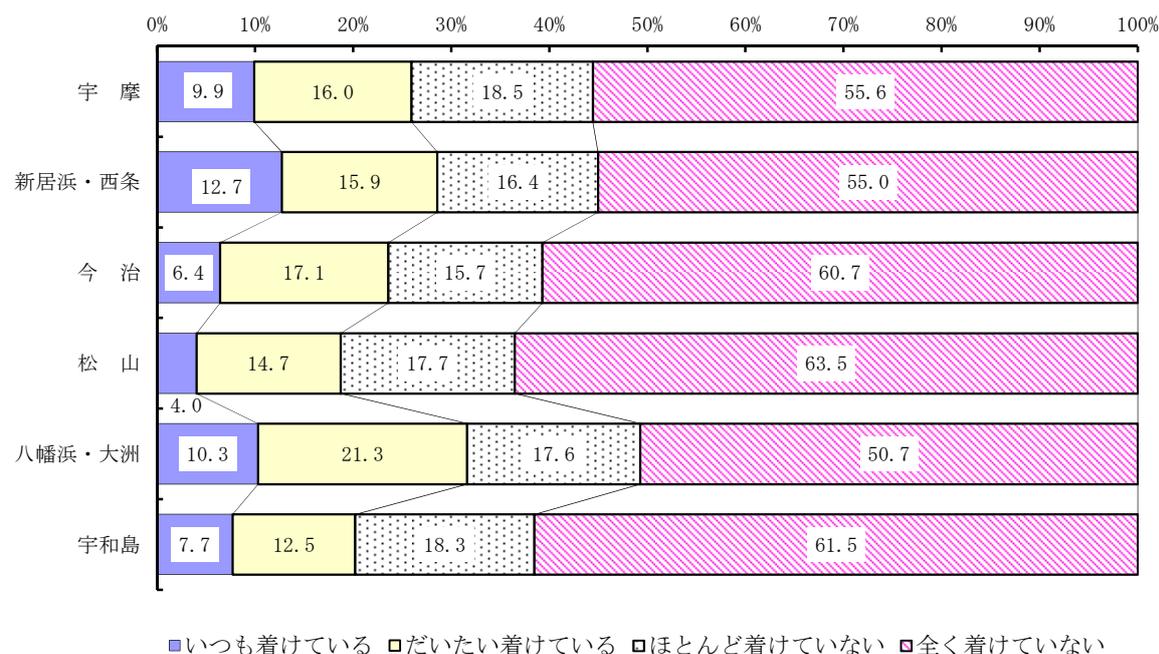
【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢で「全く着けていない」と答えた人の割合が最も多い。
 また、概ね年齢層が高くなるほど着用率が高くなっており、「ほとんど着けていない」と「全く着けていない」と答えた人の割合の合計から、「いつも着けている」と「だいたい着けている」の合計を引くと、30歳代（75.8%）が最も多く、70歳代（27.4%）が最も少なくなっている。



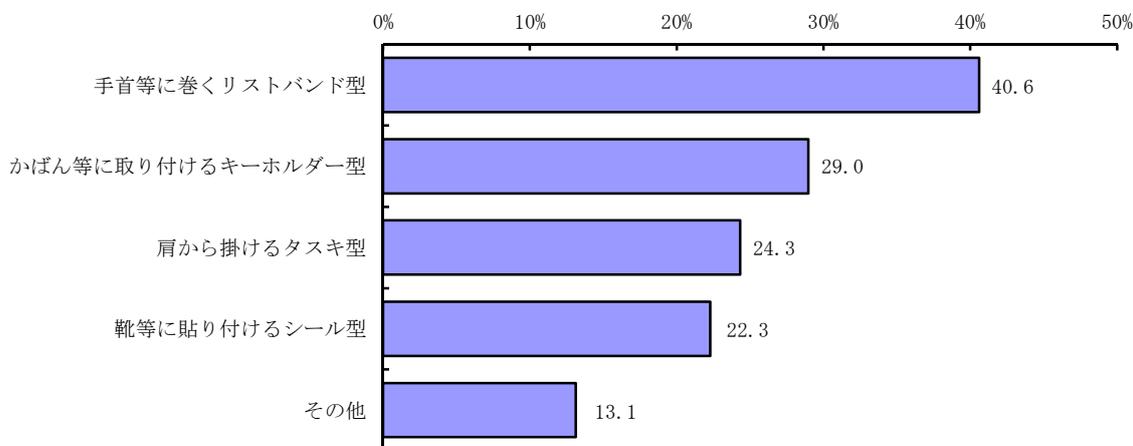
【生活圏域別】

生活圏域別にみると、全ての圏域で「全く着けていない」と答えた人の割合が最も多い。
 また、「ほとんど着けていない」と「全く着けていない」と答えた人の割合の合計から、「いつも着けている」と「だいたい着けている」の合計を引くと、八幡浜・大洲圏域で36.7%と最も少なく、松山圏域で62.5%と最も多い。



《着用したい反射材》

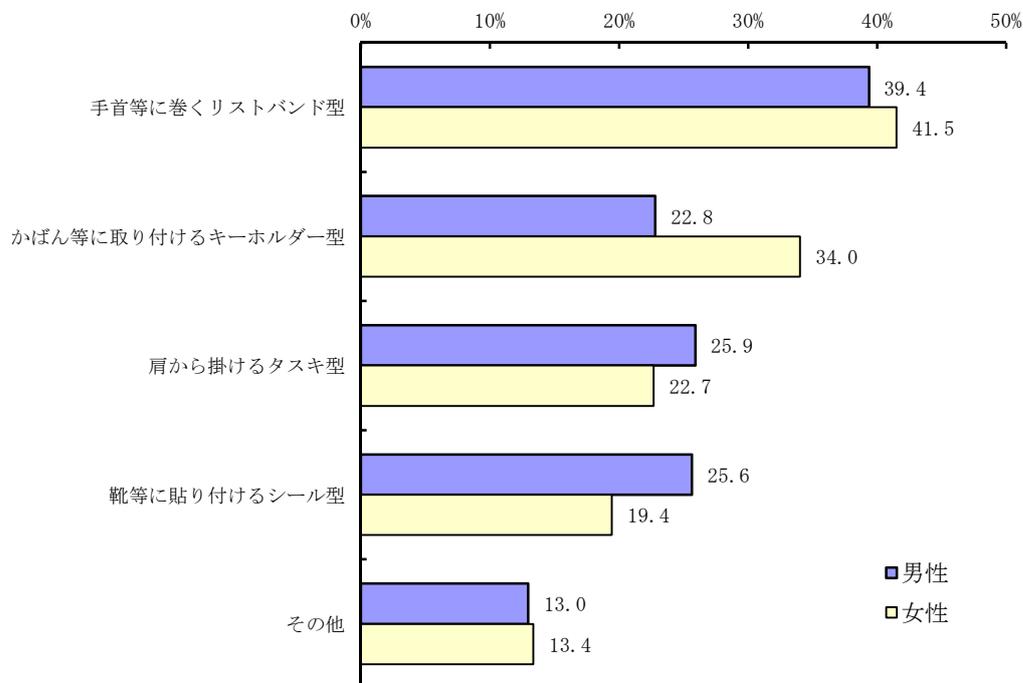
問37で、「ほとんど着けていない」、「全く着けていない」と答えた人に、どのような反射材であれば、いつも着けたいと思うかを聞いたところ、「手首等に巻くリストバンド型」と答えた人が40.6%と最も多く、以下「かばん等に取り付けるキーホルダー型」（29.0%）、「肩から掛けるタスキ型」（24.3%）、「靴等に貼り付けるシール型」（22.3%）などの順となっている。



【性別】

性別に見ると、男女共に「手首等に巻くリストバンド型」と答えた人の割合が最も多い。

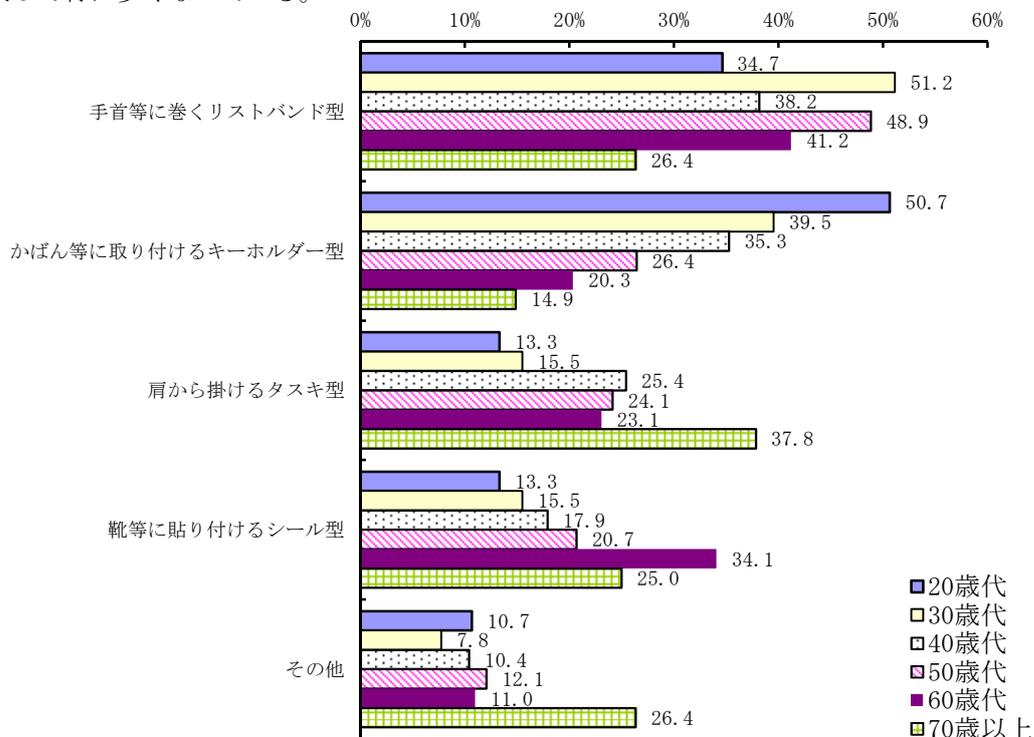
また、「かばん等に取り付けるキーホルダー型」と答えた人の割合は、女性（34.0%）の方が男性（22.8%）より11.2ポイント多く、「靴等に貼り付けるシール型」は、男性（25.6%）の方が女性（19.4%）より6.2ポイント多くなっている。



【年齢別】

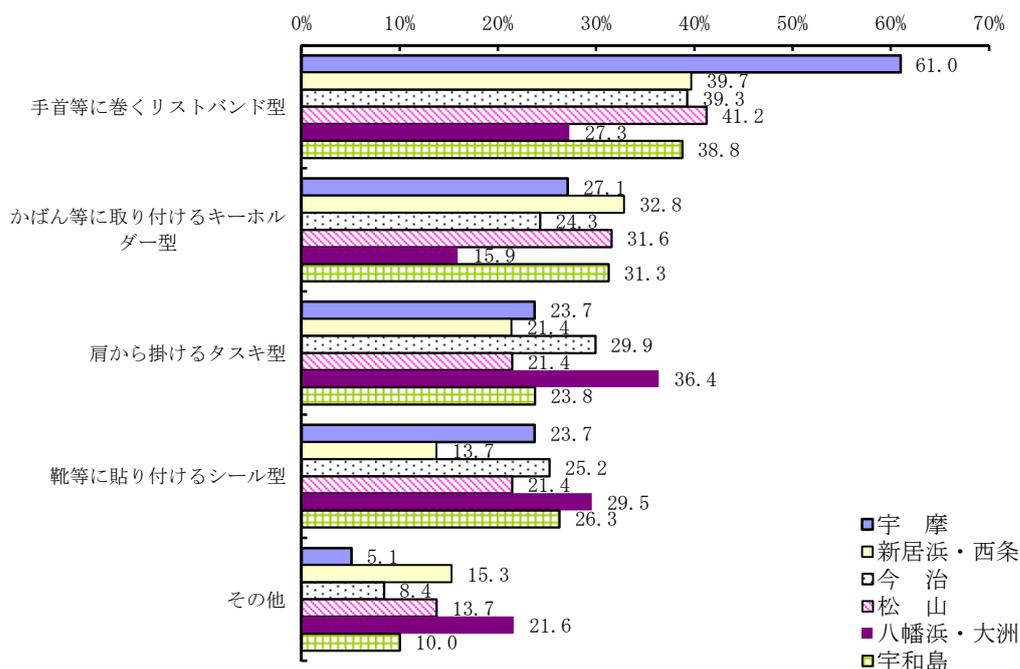
年齢別にみると、「手首等に巻くリストバンド型」と答えた人の割合は、30歳代から60歳代で最も多く、20歳代では「かばん等に取り付けるキーホルダー型」、70歳代以上では「肩から掛けるタスキ型」が最も多くなっている。

また、「かばん等に取り付けるキーホルダー型」と答えた人の割合は、年齢層が低いほど多く、20歳代では50.7%となっており、「肩から掛けるタスキ型」は、70歳代以上では、37.8%で他の年齢層と比較して特に多くなっている。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、八幡浜・大洲圏域を除く全ての圏域で「手首等に巻くリストバンド型」と答えた人の割合が最も多く、八幡浜・大洲圏域では「肩から掛けるタスキ型」が最も多くなっている。宇摩圏域では「手首等に巻くリストバンド型」と答えた人が61.0%と他の圏域と比較して特に多く、八幡浜・大洲圏域では27.3%と特に少ない。「肩から掛けるタスキ型」と答えた人の割合は、八幡浜・大洲圏域では36.4%と他の圏域と比較して特に多い。



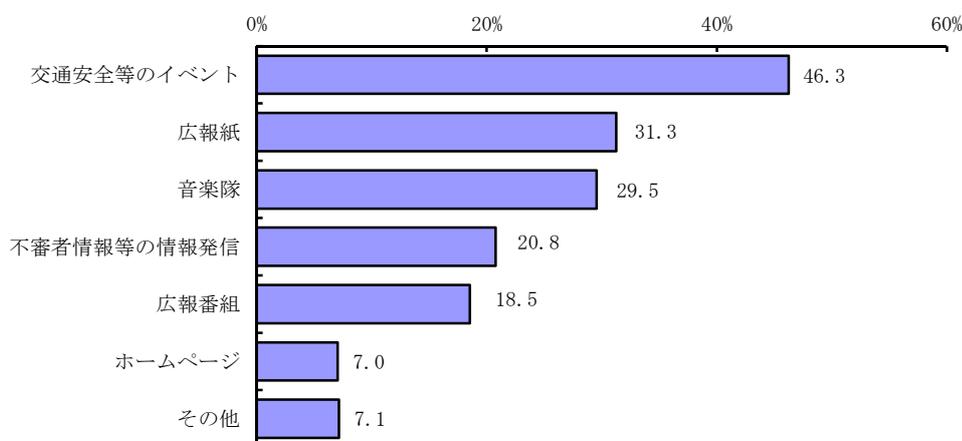
警察の広報活動
問38 警察の広報活動の認知度

愛媛県警では、いろいろな広報活動を行っていますが、あなたは、これまでに、どのような県警の広報活動を、実際に見聞きたり、参加した経験がありますか。次の中からいくつでも選んで番号を○で囲んでください。

(複数回答) (%)

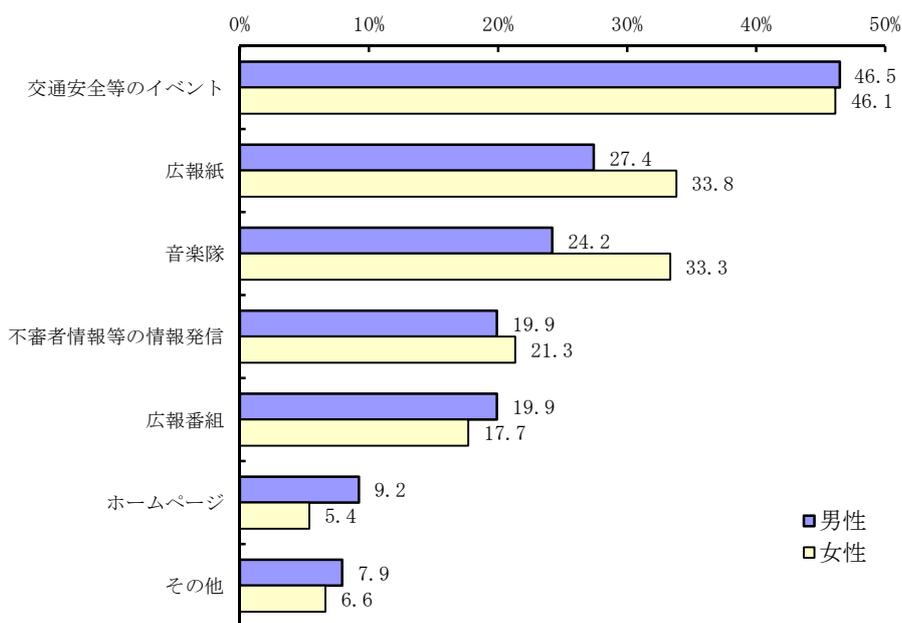
1	ホームページ	7.0	2	音楽隊	29.5
3	広報番組	18.5	4	広報紙	31.3
5	交通安全等のイベント	46.3	6	不審者情報等の情報発信	20.8
7	その他	7.1			

愛媛県警の広報活動について、実際に見聞きたり、参加した経験があるかを聞いたところ、「交通安全等のイベント」と答えた人の割合が46.3%で最も多く、以下「広報紙」(31.3%)、「音楽隊」(29.5%)、「不審者情報等の情報発信」(20.8%)、「広報番組」(18.5%)、「ホームページ」(7.0%)の順となっている。



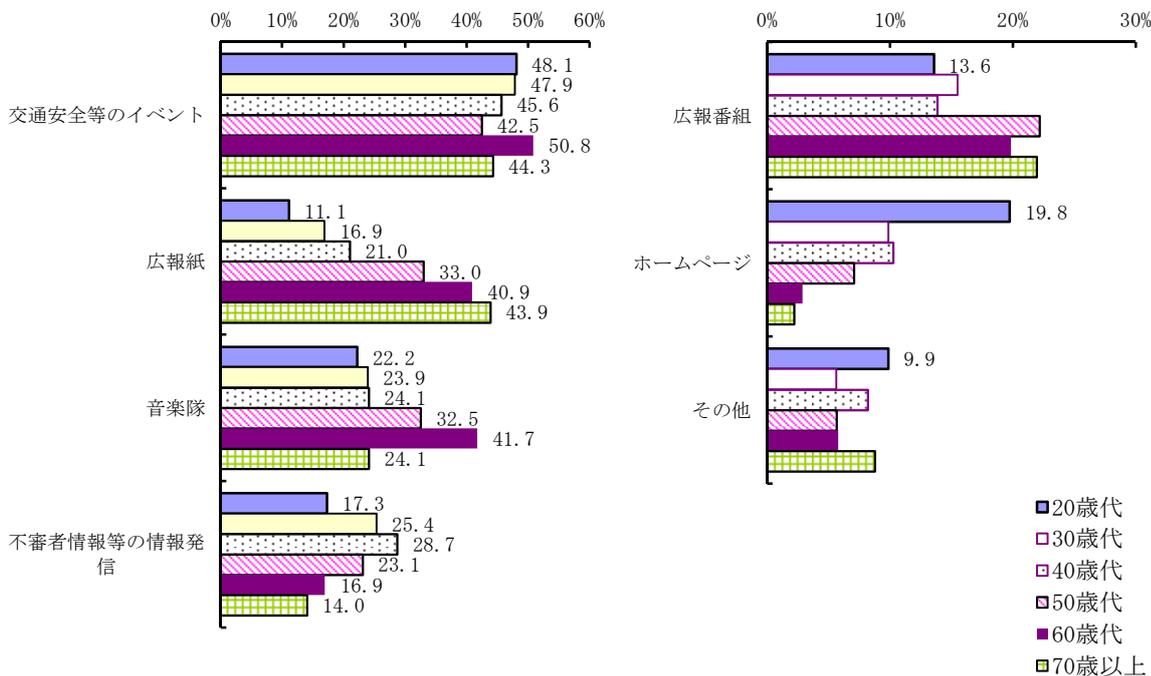
【性別】

性別にみると、男女共に「交通安全等のイベント」と答えた人の割合が最も多い。「広報紙」と答えた人の割合は、女性(33.8%)の方が男性(27.4%)より6.4ポイント多く、「音楽隊」についても、女性(33.3%)の方が男性(24.2%)より9.1ポイント多くなっている。



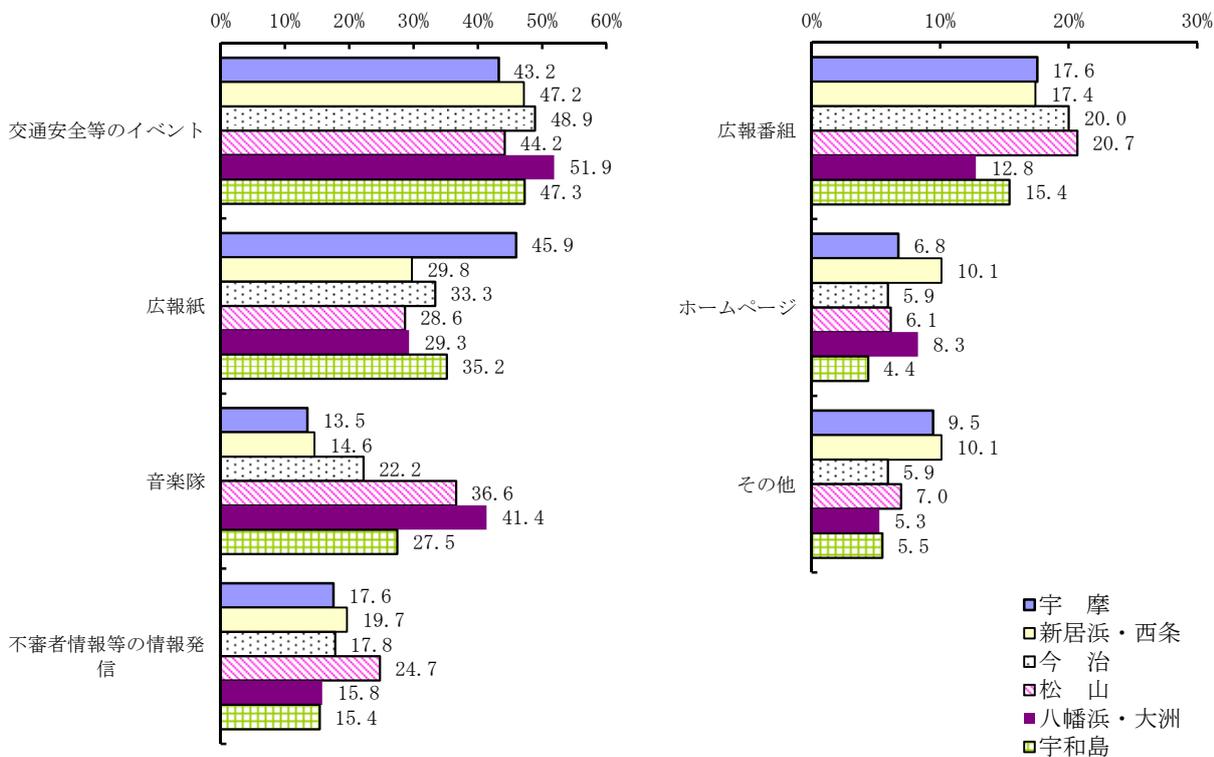
【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「交通安全等のイベント」と答えた人の割合が最も多い。
また、「広報紙」と答えた人の割合は、年齢が高くなるほど多く、「音楽隊」は、60歳代で41.7%と他の年齢層と比較して多くなっている。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、宇摩圏域を除く全ての圏域で「交通安全等のイベント」と答えた人の割合が最も多く、宇摩圏域では「広報紙」が45.9%で最も多い。松山圏域及び八幡浜・大洲圏域では「音楽隊」と答えた人の割合が他の圏域と比較して多くなっている。

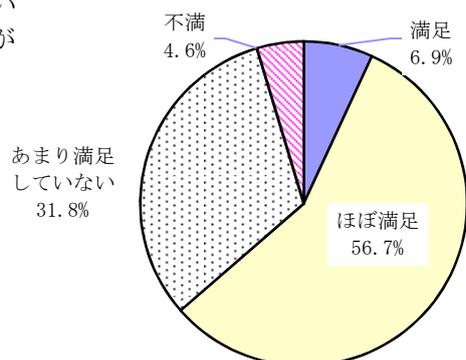


問38-1 警察の広報活動の満足度

警察の広報活動について、どのように感じていますか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

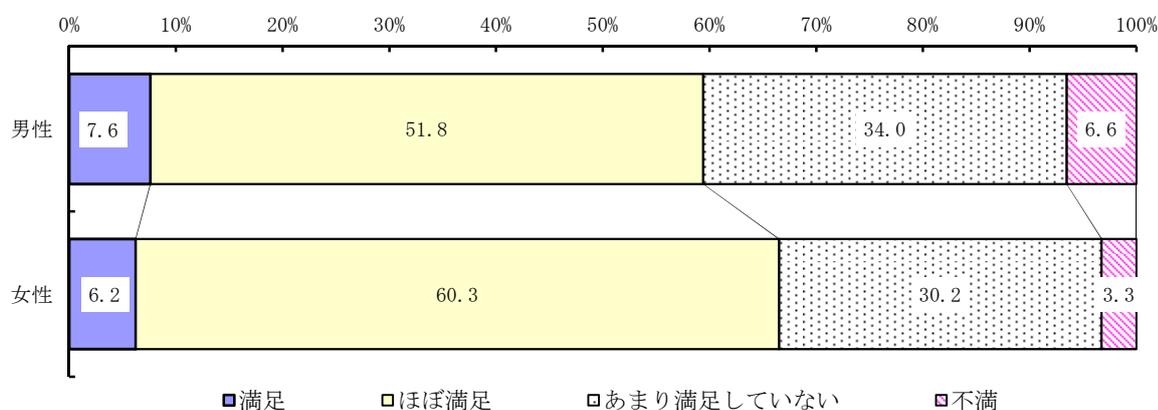
	(%)
1 満足	6.9
2 ほぼ満足	56.7
3 あまり満足していない	31.8
4 不満	4.6

警察の広報活動について、どのように感じているかを聞いたところ、「ほぼ満足」と答えた人の割合が56.7%と最も多く、以下「あまり満足していない」(31.8%)、「満足」(6.9%)、「不満」が(4.6%)の順となっている。



【性別】

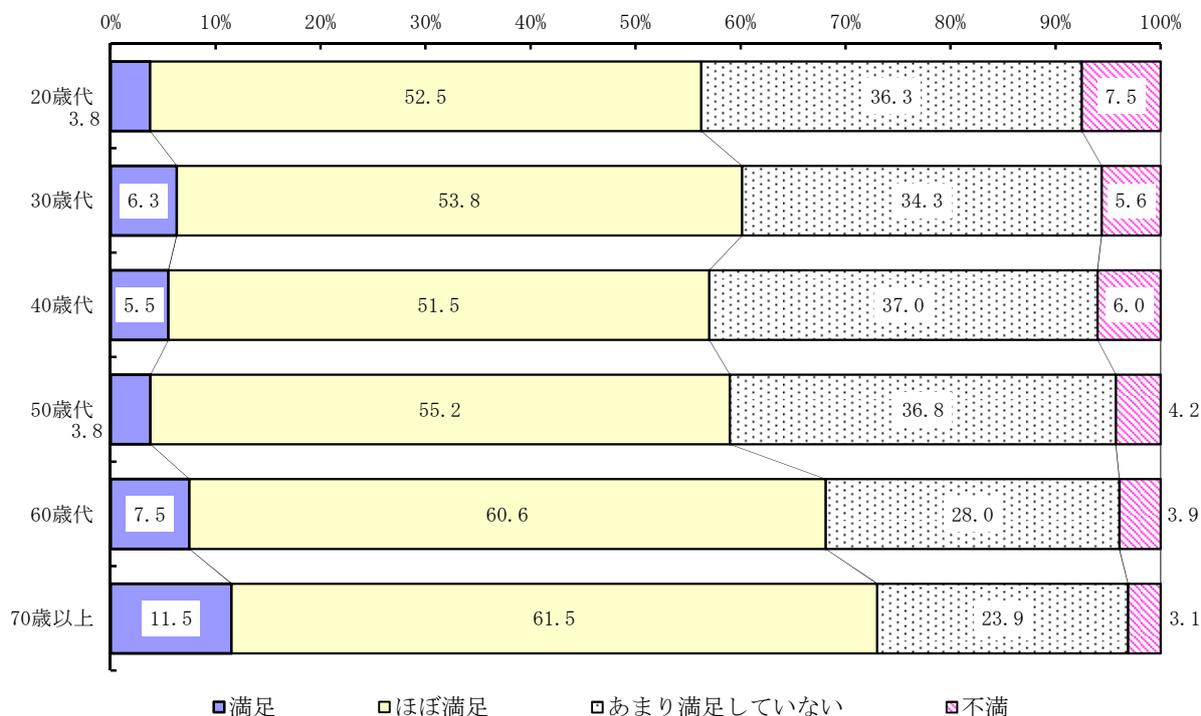
性別にみると、男女共に「ほぼ満足」と答えた人の割合が最も多く、「満足」と「ほぼ満足」と答えた人の割合の合計は、女性(66.5%)の方が男性(59.4%)より7.1ポイント多い。



【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「ほぼ満足」と答えた人の割合が多く、「満足」と「ほぼ満足」の割合の合計から、「あまり満足していない」と「不満」の合計を引くと、概ね年齢層が高い方が多くなっている。

また、70歳以上は「満足」と「ほぼ満足」と答えた人の割合の合計が73.0%と他の年齢層に比べて最も多くなっている。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、全ての圏域で「ほぼ満足」と答えた人の割合が多く、「満足」と「ほぼ満足」の割合の合計から、「あまり満足していない」と「不満」の合計を引くと、今治圏域で最も多くなっているが、宇摩圏域及び新居浜・西条圏域では他の圏域と比較して少なくなっている。

